

2025(令和7)年度 年間指導計画

学部学年： 高等部専攻科保健医療科 1 年
科 目： 科学的思考の基盤・人間と生活（表現方法論）
単 位 数： 2単位
総 時 数： 70時間
担 当 者：

【科目の目標】

- ①コミュニケーション技術を体系的・系統的に理解する。
- ②学んだスキルを医療面接に応用できる力を身につける。
- ③視覚障害者にとっての点字の意義を理解して合理的且つ創造的に習得する。
- ④地域や社会を支えるあん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゅう師として、豊かなコミュニケーションを育む態度を養う。

【評価の観点】

- ①学習したコミュニケーション技術の内容が理解できたか。
- ②医療従事者としてのコミュニケーションについて想像することができたか。
- ③点字について理解できたか。
- ④学んだ知識を適切に使えるか。

学期： 1 学期
月 ： 4 ～ 7 月
時間数： 26時間
单元名： 点字の基礎と応用
单元目標：

1. 視覚障害の文字の歴史を理解する。
2. 点字表記の法則性を理解する。
3. 点字の読み書きを習得する。

学習内容：

1. 視覚障害者の文字としての点字の意義と歴史。
2. 五十音・濁音・拗音・数字・アルファベット・特殊記号。
3. 点字の分かち書き
4. 点字競技会に向けた反復練習。

評価

学期： 2 学期
月 ： 9 ～ 12 月
時間数： 28時間
单元名： コミュニケーション概論（医療面接をめざして）
单元目標：

1. 言語的、準言語的、非言語的コミュニケーションについて理解する。
2. 聞き方（アクティブリスニング）を理解する。
3. 話し方（声の出し方・敬語・ストローク）を理解する。

学習内容

第1章 コミュニケーション概論

第1節 目的・分類（言語的、準言語的、非言語的）

第2章 聞き方

第1節 「聞く」とは

第2節 アクティブリスニング

1 アクティブリスニング技法の種類・各論

- 1 うなずき
- 2 あいづち 2
- 3 励まし
- 4 繰り返し（オウム返し）
- 5 言い換え
- 6 要約
- 7 質問技法
- 8 相手の観察・相手への興味

第3章 話し方

第1節 声の作り方（呼吸法、滑舌・発声）

第2節 敬語（丁寧語、尊敬語、謙譲語）

第3節 挨拶（お辞儀の種類）

第4節 ストローク

- 1 ストロークの種類（肯定的、否定的、ノンストローク）
- 2 肯定的ストロークの活用
 - 1 自己承認
 - 2 過程をほめる
 - 3 リフレーム
 - 4 「叱る」と「ほめる」
 - 5 ほめられた時の対応

学期：3学期

月：1～3月

時間数：16時間

単元名：コミュニケーション概論（医療面接をめざして）

単元目標：

1. 話し方の技法を理解する。
2. 臨床でのコミュニケーションを習得する。

学習内容

第3章 話し方

第5節 話し方の技法

- 1 余計な言葉を用いない
- 2 句読点で区切る
- 3 結論から伝える
- 4 話の予告・テーマ
- 5 内容の整理

第6節 対応の仕方

- 1 相手に違う意見を述べる
- 2 無理なお願いの仕方
- 3 マジックフレーズ（クッション言葉）
- 4 不快にさせない断り方
 - 1 丁寧に断る
 - 2 「規則なので」は後回し
 - 3 断る理由を明確に

第4章 臨床でのコミュニケーション

1 抱える不安

- 1 患者の抱える不安
- 2 施術者の抱える不安
- 3 不安から生じる空気
- 4 不安への対応

2025（令和7）年度 年間指導計画

学部学年： 高等部専攻科保健医療科 1 年
科 目： 科学的思考の基盤・人間と生活（社会福祉）
単 位 数： 1単位
総 時 数： 35時間
担 当 者：

【科目の目標】

- ①福祉制度や視覚障害者を取り巻く社会環境について体系的・多面的に理解する。
- ②障害の原因や学習・生活を支援するツールについて正しく理解し、自己理解に繋げ自らの課題解決に対応できる力を身につける。
- ③将来のあん摩マッサージ指圧師を想像し適切に目標を定め、より豊かな資質の自己実現に向けた活動を主体的に行える態度を養う。

【評価の観点】

- ①学習した内容を理解できたか
- ②記憶すべき知識を定着させたか
- ③学んだ知識を適切に使えるか
- ④視覚障害について理解が深まったか

学 期： 1 学期
月 ： 4～7 月
時 間 数： 13時間

単 元 名： 盲学校の沿革
時 数： 2 時間
単元目標： 盲学校創設・校可の歌詞に込められた先人の思いを知る。
学習内容： 1. 高橋福治先生のラジオ番組視聴
2. 中村文先生の創立記念日講演視聴
評 価：

単 元 名： 視覚障害支援
時 数： 11時間
単元目標： 視覚障害者の歩行・生活環境を知り、支援機器・社会資源を活用することで豊かに生活できることを理解する。
学習内容： 1. 視覚障害者の歩行（手引き歩行・白杖歩行）
2. 視覚障害者の A D L（日常生活上の配慮）
3. 視覚障害者の支援機器（ブレクストークの操作）
4. 視覚障害者の読書環境（視覚障害者情報総合ネットワーク「サピエ図書館」）
評 価：

学 期： 2 学期
月 ： 9～12月
時 間 数： 14時間

単 元 名： 視覚障害者の社会参加
時 数： 14時間
単元目標： 魅力的な生き方をしている視覚障害者の生活を通して、自らの将来に希望をもつ。
学習内容： 1. 中村文先生の番組視聴（沖縄テレビ「大切なことは目に見えない」）
2. ラジオ第2放送の「視覚障害ナビラジオ」の視聴
3. 視覚障害者を取り巻く福祉制度や関連する福祉サービス等について
評 価：

学 期： 3 学期
月 ： 1～3 月
時 間 数： 8 時間

単 元 名： 視覚障害の病理
時 数： 8 時間
単元目標： 眼の構造と機能・視覚障害の病理を知り、眼疾患との付き合い方・日常生活上の配慮

事項を理解する。

学習内容： 1. 眼の構造（眼球の外膜・中膜・内膜、通光装置）
2. 眼の機能（遠近調節、明るさの調節、視野と視力、眼球運動）
3. 眼の病理（白内障、緑内障、網膜剥離、網膜色素変性症）

評価：

2025(令和7)年度 年間指導計画

学部学年： 高等部専攻科保健医療科 1 年

科 目： 人体の構造と機能（解剖学）

単 位 数： 6単位

総 時 数： 210時間

担 当 者：

【科目の目標】

- ①自らの体をもとに、各单元について体系的・系統的に理解することが出来る。
- ②人体の系統別構造を標本や模型を活用し、主体的かつ協動的に取り組むことが出来る。
- ③人体の系統別構造に関する課題を発見し、身近な生命現象と関連付けながら合理的かつ創造的に解決することが出来る。

【評価の観点】

- ①学習した内容を理解できたか
- ②記憶すべき知識を定着させたか
- ③学んだ知識を適切に使えるか
- ④国家試験合格に向けた学習の手がかりをつかむことができたか

学 期： 1

月： 4～7

時 間 数： 78

単 元 名： 1 人体の構成

時 数： 14

単元目標：解剖学を学ぶに当たっての基礎的な事項を理解する。

学習内容： 1. 解剖学の意義と分類

- 1) 解剖学の意義
- 2) 解剖学の分類

2. 人体の構成

- 1) 細胞
- 2) 組織
- 3) 器官と器官系
- 4) 人体の発生

単 元 名： 2 骨格系

時 数： 45

単元目標：骨の一般、人体を構成する骨、それぞれの部位における骨の連結と動きを理解し、骨の突出部、隆起部、陥凹部など可能な部位においては、体表から主体的に観察できるようにする。

学習内容： 1. 総論

- 1) 骨の形状と構造
- 2) 骨の発生と成長
- 3) 骨の化学的成分
- 4) 骨の連結と運動

2. 骨格

- 1) 脊柱
- 2) 胸郭
- 3) 上肢の骨格
- 4) 下肢の骨格
- 5) 頭蓋骨

単 元 名： 3 筋系

時 数： 19

単元目標：筋の一般、人体を構成する筋の動きを理解し、筋や腱など可能な部位においては、体表から主体的に観察できるようにする。

学習内容： 1. 総論

- 1) 骨格筋の形状
- 2) 筋の分類
- 3) 関節運動の筋
- 4) 筋の補助装置

2. 人体各部の筋

- 1) 背部の筋
- 2) 胸部の筋
- 3) 腹部の筋
- 4) 上肢の筋
- 5) 下肢の筋
- 6) 頸部の筋
- 7) 頭部の筋

学 期 : 2
 月 : 9 ~ 12
 時 間 数 : 84

単 元 名 : 3 筋系
 時 数 : 18

単元目標 : 筋の一般、人体を構成する筋の動きを理解し、筋や腱など可能な部位においては、体表から主体的に観察できるようにする。

- 学習内容 : 1. 総論
- 1) 骨格筋の形状
 - 2) 筋の分類
 - 3) 関節運動の筋
 - 4) 筋の補助装置
2. 人体各部の筋
- 1) 背部の筋
 - 2) 胸部の筋
 - 3) 腹部の筋
 - 4) 上肢の筋
 - 5) 下肢の筋
 - 6) 頸部の筋
 - 7) 頭部の筋

単 元 名 : 4 運動学
 時 数 : 15

単元目標 : 人体を構成する骨の連結と筋の働きを理解した上で、各関節部の動きの仕組みを理解する。さらに、自らの体でその運動を主体的に観察することができるようにする。

- 学習内容 : 1. 脊柱の運動
- 1) 頭部
 - 2) 頸部
 - 3) 胸部
 - 4) 腰部
2. 上肢の運動
- 1) 肩関節の運動
 - 2) 肘関節の運動
 - 3) 上橈尺関節の運動
 - 4) 手関節の運動
 - 5) 手指の運動
3. 下肢の運動
- 1) 股関節の運動
 - 2) 膝関節の運動
 - 3) 足関節の運動
 - 4) 足趾の運動

単 元 名 : 5 消化器系
 時 数 : 30

単元目標 : 内臓の一般をはじめ、消化器の形態と構造及び体内の位置について理解し、触擦可能な部位においては、体表から主体的に観察できるようにする。

- 学習内容 : 1. 内臓の一般
- 1) 中空器官と実質器官
 - 2) 腺(外分泌腺と内分泌腺)
2. 消化器系の解剖
- 1) 消化器の一般と概要
 - 2) 口と口腔
 - 3) 咽頭
 - 4) 扁桃

- 5) 食道
- 6) 胃
- 7) 小腸
- 8) 大腸
- 9) 肝臓
- 10) 胆嚢
- 11) 膵臓

単元名：6 呼吸器系

時数：20

単元目標：内臓の一般をはじめ、呼吸器の形態と構造及び体内の位置について理解し、触擦可能な部位においては、体表から主体的に観察できるようにする。

学習内容：1. 呼吸器系の解剖

- 1) 鼻
- 2) 副鼻腔
- 3) 咽頭
- 4) 喉頭
- 5) 気管と気管支
- 6) 肺
- 7) 強膜
- 8) 縦隔

単元名：7 泌尿器系

時数：15

単元目標：内臓の一般をはじめ、泌尿器の形態と構造及び体内の位置について理解し、触擦可能な部位においては、体表から主体的に観察できるようにする。

学習内容：1. 泌尿器系の解剖

- 1) 腎臓
- 2) 尿管
- 3) 膀胱
- 4) 尿道

学期：3

月：1～3

時間数：48

単元名：7 泌尿器系

時数：20

単元目標：内臓の一般をはじめ、泌尿器の形態と構造及び体内の位置について理解し、触擦可能な部位においては、体表から主体的に観察できるようにする。

学習内容：1. 泌尿器系の解剖

- 1) 腎臓
- 2) 尿管
- 3) 膀胱
- 4) 尿道

単元名：8 生殖器系

時数：20

単元目標：内臓の一般をはじめ、生殖器の形態と構造及び体内の位置について理解し、模型等を使用しながら主体的に観察できるようにする。

学習内容：1. 生殖器系の解剖

- 1) 男性生殖器
- 2) 女性生殖器

単元名：9 内分泌系

時数：16

単元目標：内臓の一般をはじめ、呼吸器の形態と構造及び体内の位置について理解し、触擦可能な部位においては、体表から主体的に観察できるようにする。

1. 内分泌系

- 1) 下垂体
 - (1) 下垂体の前葉
 - (2) 下垂体の後葉と神経分泌
- 2) 松果体

- 3) 甲状腺
- 4) 上皮小体
- 5) 副腎
- 6) 脾臓のランゲルハンス島

2025(令和7)年度 年間指導計画

学部学年： 高等部専攻科保健医療科 1 年
科 目： 人体の構造と機能（体表解剖学）
単 位 数： 1単位
総 時 間： 35時間
担 当 者：

【科目の目標】

①施術を行うために必要な人体の構造と機能について、体表観察を通じて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。

②人体の構造と機能に関する課題を発見し、あん摩マッサージ指圧師としての職業倫理を踏まえて合理的かつ創造的に解決する力を養う。

③人体の構造と機能について、地域や社会を支えるあん摩マッサージ指圧師を目指して自ら学び、適切かつ合理的な施術に主体的かつ協同的に取り組む態度を養う。

【評価の観点】

①人体の構造と機能について基礎的な知識・触察技術が身についている。

②基礎的な知識・触察技術を活用し、個人差、姿勢の変化等を踏まえた応用的な思考・判断力が身についている。

③適切かつ合理的な施術に必要な体表観察について、主体的かつ協同的に取り組む態度が身についている。

学 期： 1
月： 4～7
時 間 数： 13

単 元 名： 浅背筋の体表解剖

時 数： 3時間

単元目標： 浅背筋の走行を理解し触察できる。

学習内容：

1. 僧帽筋
2. 広背筋
3. 菱形筋
4. 肩甲挙筋

評 価：

単 元 名： 深背筋（固有背筋）の体表解剖

時 数： 1時間

単元目標： 深背筋（固有背筋）の走行を理解し触察できる。

学習内容：

1. 板状筋
2. 脊柱起立筋

評 価：

単 元 名： 頸部の筋の体表解剖

時 数： 1時間

単元目標： 頸部の筋の走行を理解し触察できる。

学習内容：

1. 胸鎖乳突筋
2. 斜角筋
3. 顎二腹筋
4. 茎突舌骨筋
5. 顎舌骨筋
6. オトガイ舌骨筋
7. 後頭下筋群

評 価：

単 元 名： 胸腹部の筋の体表解剖

時 数： 1時間

単元目標： 胸腹部の筋の走行を理解し触察できる。

学習内容：

1. 大胸筋

2. 腹直筋
 3. 側腹筋群
 4. 腰方形筋
- 評 価：

単 元 名：上肢帯の筋の体表解剖
時 数：2 時間
単元目標：上肢帯の筋の走行を理解し触察できる。
学習内容：
1. 棘上筋
2. 棘下筋
3. 小円筋
4. 大円筋
5. 三角筋
評 価：

単 元 名：上腕の筋の体表解剖
時 数：1 時間
単元目標：上腕の筋の走行を理解し触察できる。
学習内容：
1. 烏口腕筋
2. 上腕二頭筋
3. 上腕筋
4. 上腕三頭筋
評 価：

単 元 名：前腕の筋の体表解剖
時 数：4 時間
単元目標：前腕の筋の走行を理解し触察できる。
学習内容：
1. 円回内筋
2. 橈側手根屈筋
3. 長掌筋
4. 浅指屈筋
5. 尺側手根屈筋
6. 長母指屈筋
7. 腕橈骨筋
8. 長・短橈側手根伸筋
9. 総指伸筋
10. 小指伸筋
11. 尺側手根伸筋
12. 回外筋
13. 長母指外転筋
14. 短母指伸筋
15. 長母指伸筋
16. 示指伸筋
評 価：

学 期：2
月：9～12
時 間 数：14

単 元 名：下肢帯の筋の体表解剖
時 数：4 時間
単元目標：下肢帯の筋の走行を理解し触察できる。
学習内容：
1. 腸骨筋
2. 大腰筋
3. 大殿筋
4. 中殿筋
5. 大腿筋膜張筋
6. 梨状筋
7. 大腿方形筋

8. 腸脛靱帯
評 価：

単 元 名：大腿の筋の体表解剖

時 数：5 時間

単元目標：大腿の筋の走行を理解し触察できる。

学習内容：

1. 縫工筋
2. 大腿四頭筋
3. 大腿二頭筋
4. 半腱様筋
5. 半膜様筋
6. 鼠径靱帯
7. 恥骨筋
8. 短内転筋
9. 長内転筋
10. 大内転筋
11. 薄筋

評 価：

単 元 名：下腿の筋の体表解剖

時 数：5 時間

単元目標：下腿の筋の走行を理解し触察できる。

学習内容：

1. 前脛骨筋
2. 長母指伸筋
3. 長指伸筋
4. 長腓骨筋
5. 短腓骨筋
6. 下腿三頭筋
7. 後脛骨筋
8. 長指屈筋
9. 長母指屈筋

評 価：

学 期：3

月 数：1～3

時 間 数：8

単 元 名：頭部の筋の体表解剖

時 数：1 時間

単元目標：頭部の筋の走行を理解し触察できる。

学習内容：

1. 後頭前頭筋
2. 眼輪筋
3. 皺眉筋
4. 口輪筋
5. 頬筋
6. 笑筋
7. 咬筋
8. 側頭筋

評 価：

単 元 名：手内筋の体表解剖

時 数：2 時間

単元目標：手内筋の走行を理解し触察できる。

学習内容：

1. 短母指外転筋
2. 母指対立筋
3. 短母指屈筋
4. 母指内転筋
5. 小指外転筋
6. 短小指屈筋

7. 小指対立筋

評価：

単元名：足筋の体表解剖

時数：2時間

単元目標：足筋の走行を理解し触察できる。

学習内容：

1. 短母指伸筋
2. 短指伸筋
3. 母指外転筋
4. 短母指屈筋
5. 母指内転筋
6. 小指外転筋
7. 短小指屈筋
8. 短指屈筋
9. 足底方形筋
10. 背側骨間筋
11. 底側骨間筋

評価：

単元名：人体の三角の体表解剖

時数：1時間

単元目標：人体の三角の構成を理解し触察できる。

学習内容：

1. 後頸三角
2. 頸動脈三角
3. 筋三角
4. 斜角筋隙
5. 大鎖骨上窩
6. 鎖骨胸筋三角
7. 四辺形間隙
8. タバコ窩
9. 聴診三角
10. 腰三角
11. スカルパ三角

評価：

単元名：動脈拍動部・神経の体表解剖

時数：2時間

単元目標：動脈拍動部・神経の走行を理解し触察できる。

学習内容：

1. 浅側頭動脈
2. 総頸動脈
3. 腋窩動脈
4. 上腕動脈
5. 橈骨動脈
6. 尺骨動脈
7. 大腿動脈
8. 膝窩動脈
9. 後脛骨動脈
10. 足背動脈
11. 橈骨神経
12. 尺骨神経
13. 正中神経

評価：

2025（令和7）年度 年間指導計画

学部学年：専攻科保健医療科 1 年
科目名：人体の構造と機能（生理学）
単位数：4単位
総時数：140時間
担当者：

【科目の目標】

①あん摩マッサージ指圧施術を行うために必要な人体の構造と機能について体系的・系統的に理解する。

②人体の構造と機能に関する課題を発見し、あん摩マッサージ指圧師としての備えるべき知識技能を応用することで合理的かつ創造的に課題を解決する力を養う。

③地域や社会を支えるあん摩マッサージ指圧師を目指して自ら学び、臨床分野の領域に発展させ、適切な施術に主体的に取り組む態度を養う。

【評価の観点】

①学習した内容を理解できたか。

②記憶すべき知識を定着させたか。

③学んだ知識を適切に使えるか。

④国家試験合格に向けた学習の手がかりをつかむことができたか。

学 期： 1 学期
月： 4～7 月
時間数： 52時間

単 元 名：総論
時 間 数：12時間
単元目標：生理学が人体の生命現象を対象とした学問であることを理解する。
学習内容：①生理学の意義
②生命現象（恒常性の維持）
③人体の構成（細胞・組織・器官・器官系）
④人体の化学的成分
⑤生体の物理・化学的性質
⑥生理学の特徴
⑦細胞の構造と働き
⑧物質代謝の仕組み
⑨体液の組成と働き
⑩物質の移動

評 価：

単 元 名：血液
時 間 数：12時間
単元目標：血液の成分、生理作用、リンパについて理解する。
学習内容：①血液の一般的性質
②血液の生理的作用
③血液の成分
④血液凝固
⑤血液型
⑥間質液およびリンパ

評 価：

単 元 名：循環
時 間 数：20時間
単元目標：循環が生命維持の上で最も重要な機能であることを理解する。
学習内容：①循環器系
②循環器系の生理
③心臓の働き
④心機能の調節
⑤循環の調節
⑥心機能の観測

評 価：

単 元 名：呼吸
時 間 数：8時間
単元目標：呼吸が生命維持の上で最も重要な機能であることを理解する。
学習内容：①呼吸器系の生理
②外呼吸と内呼吸
③呼吸運動
④換気
⑤血液のガス交換とガス運搬
⑥呼吸運動の調節

評 価：

学 期：2学期
月：9～12月
時間数：56時間

単 元 名：消化と吸収
時 間 数：24時間
単元目標：消化と吸収が順調に進行するために備わっている機序を理解する。
学習内容：①消化器系の生理
②口腔の消化作用
③胃の消化作用
④小腸の消化作用
⑤大腸の消化作用
⑥消化管ホルモン
⑦肝臓の働き

評 価：

単 元 名：栄養と代謝
時 間 数：10時間
単元目標：各栄養素の作用及び代謝を理解する。
学習内容：①栄養素とエネルギー代謝（栄養素、基礎代謝）
②三大栄養素の働きと代謝（糖質、脂質、蛋白質）
③ビタミン、無機質、水

評 価：

単 元 名：体温
時 間 数：10時間
単元目標：体温が一定に保たれている仕組みを理解する。
学習内容：①体温の部位差と変動（核心温度と外郭温度、体温の変動）
②体熱の産生と放散の仕組み
③体温調節の仕組み（中枢、調節反応）

評 価：

単 元 名：排泄
時 間 数：12時間
単元目標：体液の量や組成が一定に保たれる仕組みを理解する。
学習内容：①泌尿器系の生理
②尿の生成と腎臓の働き
③排尿

評 価：

学 期：3学期
月：1～3月
時間数：32時間

単 元 名：内分泌
時 間 数：20時間
単元目標：内分泌系の機能について理解する。またホルモンの過不足による病体についても理解する。
学習内容：①ホルモンの一般的性質（内分泌腺、作用機序、分泌調節）
②各内分泌腺の機能（下垂体、甲状腺、副甲状腺、膵臓、副腎、精巣、卵巣、その他

のホルモン)
評 価:

単 元 名: 生殖・生長

時 間 数: 12時間

単元目標: 男性及び女性の生殖器の機能を構造と関連付けて理解する。

学習内容: ①男性生殖器の構造と機能(精子形成、性反射)

②女性生殖器の構造と機能(卵子形成、性周期)

③妊娠(妊娠、胎児の発育、分娩、乳汁分泌)

評 価:

2025（令和7）年度 年間指導計画

学部学年： 高等部専攻科保健医療科 1 年
科 目： 基礎保健医療学（東洋医学一般）
単 位 数： 3単位
総 時 数： 105時間
担 当 者：

【科目の目標】

- ①伝承医学としての東洋医学の概念（陰陽五行論）を理解する。
- ②気・血・津液・臓腑・経絡の作用と病理を理解する。
- ③東洋医学的な診断・証の決定・治療のプロセスを理解する。

【評価の観点】

- ①学習した内容を理解できたか。
- ②記憶すべき知識を定着させたか。
- ③学んだ知識を適切に使えるか。
- ④習得した知識を応用させられるか。
- ⑤国家試験合格に向けた学習の手がかりをつかむことができたか。

学 期： 1 学期
月 ： 4～7 月
時 間 数： 39時間

単 元 名： 東洋医学の基礎
時 数： 9 時間
学習内容： 1. 東洋医学の意義
2. 陰陽論の概要
3. 五行論の概要（色体表）

評 価：

単 元 名： 気・血・津液の概要
時 数： 10 時間
学習内容： 1. 気（生成、機能、病理変化）
2. 血（生成、機能、病理変化）
3. 栄衛の概念
4. 津液（生成と退社、機能、病理変化）

評 価：

単 元 名： 六臓六腑
時 数： 20 時間
学習内容： 1. 六臓（形態と生理機能）
2. 六腑（形態と生理機能）

評 価：

学 期： 2 学期
月 ： 9～12 月
時 間 数： 42時間

単 元 名： 病因論
時 数： 10 時間
学習内容： 1. 内因（七情）
2. 外因（六氣と六淫、瘧氣）
3. 不内外因（飲食、疲労、房事）
4. 三毒説（血毒、水毒、食毒）

評 価：

単 元 名： 病証論
時 数： 20 時間
学習内容： 1. 八綱病証（陽証と陰証、表証と裏証、寒証と熱証、虚証と実証）
2. 気血津液病証（気虚、気滞、血虚、血）

- 3. 臓腑病証
- 4. 経脈（経絡）病証

評価:

単元名: 東洋医学的診察法

時数: 10時間

学習内容: 1. 四診（望診、聞診、問診、切診）

評価:

学期: 3学期

月: 1～3月

時間数: 24時間

単元名: 東洋医学的診察法

時数: 10時間

学習内容: 1. 四診（望診、聞診、問診、切診）

評価:

単元名: 治療法

時数: 1時間

学習内容: 1. 手技療法（あん摩、導引と呼吸法）

評価:

単元名: 演習

時数: 13時間

学習内容: 過去の国家試験の出題傾向を分析しながら、問題演習を中心に指導する。

評価:

2025(令和7)年度 年間指導計画

学部学年： 高等部専攻科保健医療科1年
科目： 基礎保健医療学（経絡経穴概論）
単位数： 2単位
総時数： 70時間
担当者：

【科目の目標】

- ①基礎保健医療について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- ②基礎保健医療に関する課題を発見し、あん摩マッサージ指圧師としての職業倫理を踏まえて合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- ③基礎保健医療について、地域や社会を支えるあん摩マッサージ指圧師を目指して自ら学び、適切かつ合理的な施術に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

【評価の観点】

- ①学習した内容の理解
- ②記憶すべき知識の定着
- ③学んだ知識の適切な使用
- ④修得した知識の応用

4月

時数 3

単元名 経絡の概要

目標

- ・経絡の意義を理解する。
- ・経絡の構成を理解する。
- ・経絡の分類を理解する。

内容

- 1 経絡の概要
- 2 正経十二経脈と奇経八脈と所属経穴を持つ十四経脈

評価

時数 3

単元名 経穴の概要

目標

- ・経穴の意義を理解する。
- ・要穴の意義を理解する。
- ・要穴の分類を理解する。
- ・取穴法の意義を理解する。
- ・取穴法の違いを理解する。

内容

- 1 経穴と奇穴
- 2 要穴
- 3 取穴法

評価

5月

時数 6

単元名 所属経穴を持つ経脈

目標

- ・経脈流注の意義を理解する。
- ・各経絡に属する経穴を理解する。
- ・経脈流注を解剖学的構造・経穴をもとに理解する。
- ・経穴の部位・要穴を理解する。

内容

- 1 十四経脈の流注と経穴の概要
- 2 経絡の流注と主要経穴の実際（督脈）

評価

6月

時数 8

単元名 所属経穴を持つ経脈

目標

- ・経脈流注を解剖学的構造・経穴をもとに理解する。
- ・経穴の部位・要穴を理解する。

内容

1 経絡の流注と主要経穴の実際（任脈）

評価

7月

時数 6

単元名 所属経穴を持つ経脈

目標

- ・経脈流注を解剖学的構造・経穴をもとに理解する。
- ・経穴の部位・要穴を理解する。

内容

1 経絡の流注と主要経穴の実際（肺経・大腸経・胃経・脾経）

評価

9月

時数 8

単元名 所属経穴を持つ経脈

目標

- ・経脈流注を解剖学的構造・経穴をもとに理解する。
- ・経穴の部位・要穴を理解する。

内容

1 経絡の流注と主要経穴の実際（心経・小腸経・膀胱経）

評価

10月

時数 6

単元名 所属経穴を持つ経脈

目標

- ・経脈流注を解剖学的構造・経穴をもとに理解する。
- ・経穴の部位・要穴を理解する。

内容

1 経絡の流注と主要経穴の実際（腎経・心包経）

評価

11月

時数 8

単元名 所属経穴を持つ経脈

目標

- ・経脈流注を解剖学的構造・経穴をもとに理解する。
- ・経穴の部位・要穴を理解する。

内容

1 経絡の流注と主要経穴の実際（三焦経・胆経）

評価

12月

時数 6

単元名 所属経穴を持つ経脈

目標

- ・経脈流注を解剖学的構造・経穴をもとに理解する。
- ・経穴の部位・要穴を理解する。

内容

1 経絡の流注と主要経穴の実際（肝経）

評価

1月

時数 6

単元名 経絡・経穴の現代医学的研究

目標

- ・主な経絡現象の研究を理解する。

- ・主な経穴現象の研究を理解する。
- ・主な反応帯を理解する。

内容

- 1 経絡の研究（循経感伝現象・皮膚電気抵抗低下現象・皮膚温分布・皮膚症状の分布・圧痛・硬結の分布など）
- 2 経穴の研究（経穴の形態学的研究・経穴現象の研究）
- 3 反応点、反応帯（内臓－体表反射・体表－内臓反射による反応帯）

評価

2月

時数 6

単元名 総合学習

目標

- ・国家試験の傾向を解説する

内容

- (1) 国家試験の出題方式の解説
- (2) 国家試験の出題傾向の解説

評価

3月

時数 4

単元名 総合学習

目標

- ・国家試験の傾向を解説する

内容

- (1) 国家試験の出題方式の解説
- (2) 国家試験の出題傾向の解説

評価

2025（令和7）年度 年間指導計画

学部学年： 高等部専攻科保健医療科 1 年
科 目： 保健医療基礎実習（あん摩実技）
単 位 数： 6単位
総 時 数： 210時間
担 当 者：

【科目の目標】

- ①あん摩マッサージ指圧の基本手技を確実に行えるようにする。
- ②適切に全身のあん摩を行う中で、保健医療の基礎実技について課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- ③地域や社会を支えるあん摩マッサージ指圧師を目指して自ら学び、効果的な施術に主体的に取り組む態度を養う。

【評価の観点】

- ①施術の強さ、位置、角度、リズム
- ②解剖学的構造の理解。
- ③医療従事者としての適切な態度、姿勢。
- ④授業への参加意欲。

学 期： 1 学期
月 月： 4～7 月
時 間 数： 78時間

単 元 名： あん摩施術への導入

時 数： 2

単元目標： あん摩実技を開始するに当たっての基本的な事項を理解する。

学習内容：

- ①施設・設備の管理の実際
- ②衛生上の管理と清潔保持の実際
- ③施術用具の管理と取扱いの実際
- ④施術に必要な消毒の実際
- ⑤施術に必要なリスク管理の実際と施術過誤の実態

評 価：

単 元 名： あん摩の基本練習と基本手技

時 数： 14

単元目標： 授業開始時に、関節を柔軟にする基本練習を行い、併せてあん摩の基本手技を実習する。

学習内容：

- ①基本練習＝手関節部の柔軟運動（ぐっばー ぶらぶら）
- ②基本手技＝軽擦法 揉捏法 圧迫法 振戦法 叩打法 曲手 運動法

評 価：

単 元 名： 座位でのあん摩術式

時 数： 62

単元目標： 座位での術式を系統順に実習する。

学習内容：

- ①肩上部（6時間）
- ②肩甲間部（6時間）
- ③背腰部（12時間）
- ④頭頸部（6時間）
- ⑤上肢（12時間）
- ⑥通しの練習（12時間）

評 価：

学 期： 2 学期
月 月： 9～12月
時 間 数： 84時間

単 元 名： 側臥位でのあん摩術式

時 数：54

単 元 目 標：側臥位での術式を系統順に実習する。

学 習 内 容：

- ①肩上部（6時間）
- ②肩甲間部（6時間）
- ③背腰部（12時間）
- ④頭頸部（6時間）
- ⑤上肢（12時間）
- ⑥下肢（12時間）

評 価：

単 元 名：腹臥位でのあん摩術式

時 数：24

単 元 目 標：施術全体の仕上げとして腹臥位の術式を実習する。

学 習 内 容：

- ①肩背腰部（12時間）
- ②下肢（12時間）

評 価：

単 元 名：仕上げのあん摩術式

時 数：6

単 元 目 標：全身あん摩の終了後、患者の体調を確認するために、座位で行う手技を実習する。

学 習 内 容：

- ①座位での頭頸部への軽い手技
- ②血圧や体調の確認

評 価：

学 期：3学期

月：1～3月

時 間 数：48時間

単 元 名：前進のあん摩施術

時 数：42

単 元 目 標：基本手技を組み合わせ、側臥位・腹臥位・座位での施術を決められた時間内で行えるようにする。

学 習 内 容：

- ①前進のあん摩施術
- ②手技のチェック

評 価：

単 元 名：古法あん摩（按腹）

時 数：6

単 元 目 標：江戸時代に考案された腹部への手技（古法あん摩）を実習する。

学 習 内 容：

- ①按腹の実際

評 価：

2025（令和7）年度 年間指導計画

学部学年： 高等部専攻科保健医療科 1 年
科 目： 保健医療基礎実習（マッサージ実技）
単 位 数： 3単位
総 時 数： 105時間
担 当 者：

【科目の目標】

- ① マッサージ施術の基本技術を身につける。
- ② 施術者としての基本的な態度・習慣を身に付ける。
- ③ 臨床実習への導入の段階として、代表的な症状や疾患に対する施術が、評価と理論に基づいて、応用療法とともに、適切に行うことができるようにする。

【評価の観点】

- ① 施術の強さ、位置、角度、リズム
- ② 解剖学的構造を理解しているか。
- ③ 医療従事者として適切な態度、姿勢。
- ④ 授業への参加意欲。

〈1 学期（13 週）〉

《4 月》

单元名： 施術室の管理と清潔保持の実際・マッサージの基本手技
時 間 数： 3 時間
单元目標： 施術室の管理と清潔保持の実際・マッサージの基本手技を理解する。
学習内容： 施術室の管理と清潔保持の実際・マッサージの基本手技
（軽擦・揉捏・圧迫・振顫・叩打・強擦法）の練習。
評価：

单元名： 施術室の管理と清潔保持・身体各部のマッサージ 1
時 間 数： 6 時間
单元目標： 施術室の管理と清潔保持の実際・身体各部のマッサージ施術が、
マッサージの術式に従って適切且つ効果的にこなえるようにする。
臨床実習で実際に施術できる能力を身に付ける。
学習内容： 施術室の管理と清潔保持の実際・マッサージの基本手技と身体各部の施術の実際（前腕部）
評価：

《5 月》

单元名： 施術室の管理と清潔保持・身体各部のマッサージ 1
時 間 数： 13 時間
单元目標： 施術室の管理と清潔保持の実際・身体各部のマッサージ施術が、
マッサージの術式に従って適切且つ効果的にこなえるようにする。
臨床実習で実際に施術できる能力を身に付ける。
学習内容： 施術室の管理と清潔保持の実際・マッサージの基本手技と身体各部の施術の実際
（前腕部・上腕部・手関節・手部）
評価：

《6 月》

单元名： 施術室の管理と清潔保持・身体各部のマッサージ 1
時間数： 13 時間
单元目標： 同上
学習内容： 同上
評 価：

《7月》
单元名：施術室の管理と清潔保持・身体各部のマッサージ1
時間数：6時間
单元目標：同上
学習内容：同上
評価：

〈2学期（14週）〉

《9月》
单元名：
マッサージの基本手技と身体各部の施術の実際2
時間数：10時間
单元目標：
身体各部のマッサージ施術が、マッサージの術式に従って適切且つ効果的に
おこなえるようにする。
学習内容：
マッサージの基本手技と身体各部の施術の実際（下腿部・肘関節・肩関節・腹部・胸部・背部）
評価：

《10月》
单元名：マッサージの基本手技と身体各部の施術の実際2
時間数：12時間
单元目標：同上
学習内容：同上
評価：

《11月》
单元名：マッサージの基本手技と身体各部の施術の実際2
時間数：12時間
单元目標：同上
学習内容：同上
評価：

《12月》
单元名：マッサージの基本手技と身体各部の施術の実際2
時間数：9時間
单元目標：同上
学習内容：同上
評価：

〈3学期（8週）〉

《1月》
单元名：
マッサージの基本手技と身体各部の施術の実際3（臨床応用）
時間数：9時間
单元目標：
身体各部のマッサージ施術が、マッサージの術式に従って適切且つ効果的に
おこなえるようにする。
臨床実習で実際に施術できる能力を身に付ける。
学習内容：
マッサージの基本手技と身体各部の施術の実際（頭部・頸部・顔面部の
マッサージの実際）
その他のマッサージ（関節可動域訓練の実際・筋力増強訓練の実際）
評価：

《2月》
单元名：マッサージの基本手技と身体各部の施術の実際3（臨床応用）
時間数：10時間
单元目標：同上
学習内容：同上
評価：

《3月》

単元名 マッサージの基本手技と身体各部の施術の実際3（臨床応用）

時間数：6時間

単元目標：同上

学習内容：同上

評価：

2025(令和7)年度 年間指導計画

学部学年： 高等部専攻科保健医療科 2 年
科 目： 科学的思考の基盤・人間と生活（生物）
単 位 数： 2単位
総 時 数： 70時間
担 当 者：

【科目の目標】

①施術を行うに必要な人体の構造や機能について理解するとともに、生体観察などの技術を身に付ける。

②人体の構造や機能をもとに、各疾患や症状についての診察法、検査法及び治療法と日常生活の関わりについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

③疾病と日常生活の関わりに関する課題を発見し、あん摩マッサージ指圧師としての職業倫理を踏まえて合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【評価の観点】

①学習した内容を理解できたか。

②記憶すべき知識を定着させたか。

③学んだ知識を適切に使えるか。

学期： 1

月： 4～7

時間数： 26

単元名： 臨床医学総論（診察学）

単元目標： 現代医学で行われている診察法や検査法、治療法の概要及び物理療法、臨床心理を取り扱う。診察内容とその解釈が的確にできるようにする。

指導内容： I. 臨床医学総論（診察学）の概要
1. 臨床医学総論（診察学）の意義と種類
2. POS（診察の記録法）
II. 主な診察法と検査法
1. 問診項目（主訴、現病歴、既往歴、家族歴、社会歴、生活歴）
2. 問診の注意事項
3. 視診
4. 触診
5. 打診
6. 聴診
III. バイタルサイン（生命徴候）
1. 体温
2. 脈拍
3. 呼吸
4. 血圧
IV. 体性・内臓反射による診察
1. 主な診察法
2. 主な圧診部位

評価：

学期： 2

月： 9～12

時間数： 28

単元名： 臨床医学総論（診察学）

単元目標： 現代医学で行われている診察法や検査法、治療法の概要及び物理療法、臨床心理を取り扱う。診察内容とその解釈が的確にできるようにする。

指導内容： V. 整形外科的検査法
1. 主な疾患に対する検査法
①頸肩腕症候群
②五十肩
③腰痛・下肢痛
④腱鞘炎（手根管・ドケルバン・テニス肘）
⑤仙腸関節
⑥股関節
⑦膝関節
⑧足関節

VI. 神経学的検査

1. 反射の一般
- ①反射検査の意義と方法
- ②深部反射
- ③表在反射
- ④自律神経反射
- ⑤病的反射

2. 知覚検査
3. 髄膜刺激症状
4. 高次脳機能検査

VII. 運動機能検査

1. 関節可動域検査 (ROM)
2. 徒手筋力検査 (MMT)
3. 協調運動検査
4. 日常生活動作 (ADL)

VIII. 身体計測

1. 計測の意義と実際
2. 四肢長四肢周径
3. 体重

評価：

学期：3

月：1～3

時間数：16

単元名：臨床医学総論（診察学）

単元目標：現代医学で行われている診察法や検査法、治療法の概要及び物理療法、臨床心理を取り扱う。診察内容とその解釈が的確にできるようにする。

指導内容：IX. 臨床検査

1. 意義と種類
2. 主な検査

X. 治療学の基礎と概要

1. 治療法の種類（分類）
2. 治療法の実際

XI. 主な症状の治療法

1. 肩こり
2. 腰痛
3. 頭痛
4. 関節痛
5. めまい
6. 耳鳴り・難聴

評価：

2025（令和7）年度 年間指導計画

学部学年： 高等部専攻科保健医療科2年
科目： 科学的思考の基盤・人間と生活（保健医療情報）
単位数： 2単位
総時数： 70時間
担当者：

【科目の目標】

- ①保健医療情報について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- ②保健医療情報に関する基本的な課題を発見し、あん摩マッサージ指圧師としての職業倫理を踏まえて合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- ③保健医療情報について、地域や社会を支えるあん摩マッサージ指圧師を目指して自ら学び、人々の健康の保持増進及び疾病の治療に関する課題解決に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

【評価の観点】

あん摩マッサージ指圧師となるのに必要な情報処理に関する知識を修得したかについて、以下の観点から評価する。

- ①学習した内容を理解できたか
- ②記憶すべき知識を定着させたか
- ③学んだ知識を適切に使えるか
- ④習得した知識を応用させられるか

学 期：1学期
月：4～7月
時間数：26時間

単 元 名：ITの意義とパソコン導入

時 間 数：3

単元目標：①情報化社会の現状と課題を理解する。
②IT機器を今後の生活、職業、コミュニケーションの面で活用できる力を身につける。

学習内容：①情報化時代とITについて理解する。
②視覚障害者にとってのパソコン活用を解説する。
③パソコン本体・ディスプレイ・キーボード・スピーカ・マウスを触れながら理解する。

評 価：

単 元 名：パソコンの基本操作と文字の入力

時 間 数：8

単元目標：スタートメニューの操作や文字入力（ローマ字・点字方式）を習得する。

学習内容：①1年次の表現方法内で行ったパソコン操作を確認する。
②キーボードの配列を周知する。
③パソコンの起動と終了を実践する。
④「スタートメニュー」について理解し、操作法を熟知する。
⑤ローマ字入力（フルキー入力）と点字入力の違いを確認し、入力に慣れる。
⑥パソコン上の文字入力の中で、半角モード（英数字等）と全角モード（日本語）があることを周知する。
⑦漢字変換を練習する。
⑧Myedit（音声対応簡易ワープロソフト）を使っての文書入力を行う。

評 価：

単 元 名：ワープロソフトの編集

単元目標：音声や拡大画面によって、漢字カナ交じり文の作成ができるようにする。

時 間 数：4

学習内容：①Myeditで書かれた文の誤字脱字を編集する。

- ②消去と追加
- ③空白の挿入と行分割・連結
- ④word上でのレイアウト調整
- ⑤wordを使って印刷

評 価：

単 元 名：電子カルテの確認
単元目標：電子カルテ操作の定着を図る。
時 間 数：8
学習内容：①電子カルテの仕組みを理解する。
②カルテの基本操作
③新規カルテ作成の確認
④既存カルテの確認
⑤カルテの編集
⑥カルテの保存
⑦カルテの印刷方法

評 価：

単 元 名：辞書検索
時 間 数：3
単元目標：パソコンを使用しての電子辞書検索ができるようになる。
学習内容：①パソコンを使った電子辞書データの意義・操作の流れ
②検索方法の基本から応用まで
③辞書の種類とそれぞれの内容の特徴
④文書作成と辞書検索

評 価：

学 期：2 学期
月：9 月～12 月
時数：2 8 時間

単 元 名：視覚障害者用ソフトウェアとハードウェア
単元目標：視覚障害を補う機器について、その使用方法を習得する。
時 間 数：6
学習内容：①視覚障害者のコンピュータ利用の歴史
②視覚障害者用ソフトウェアの紹介・実際
③視覚障害者用ハードウェアの紹介・実際

評 価：

単 元 名：インターネットの活用
単元目標：インターネットを活用した情報の収集、整理、発信が可能になる力を身につける。
時 間 数：8
学習内容：①インターネットの成り立ち・仕組み
②ホームページの構造と他のページへのリンク
③ホームページのURL（所在地）の意味
④インターネット閲覧ソフト（ブラウザソフト）の紹介
⑤ホームページリーダーの操作法
⑥お気に入りの使い方
⑦検索サイトを使用した興味があるページの検索
⑧ホームページ上のメールアドレスにメールを書く
⑨インターネット・エクスプローラーの使用法

評 価：

単 元 名：点字ファイルの活用
単元目標：ネット上にある点訳されたファイルを活用できるようにする。
時 間 数：8
学習内容：①点字文書の特徴
②点字ファイル編集ソフトの種類とファイルの形式
③Win-besの操作法
④自動点訳ソフトの紹介
⑤点字印刷
⑥インターネットから点字データを入手・閲覧

評 価：

単 元 名：情報の収集・整理
単元目標：情報機器を利用して、目的のデータを収集できる力を身につける。
時 間 数：6
学習内容：①情報をデータファイルとして保存

- ②USBの活用方法
- ③USB内にフォルダを設置してファイルを整理
- ④インターネットの検索サイトを利用した情報の収集
- ⑤OCR（文字読みとり装置）を使用したデータの収集

評価：

学期：3学期

月：1月～3月

時数：16時間

単元名：課題別パソコン指導

単元目標：1・2学期の内容を自力で行えるようにする。

時間数：6

学習内容：①パソコン操作の復習

②これまで行った内容の定着

評価：

2月（計6時間）

単元名：研究課題・レポート作成

単元目標：自らでテーマを定め、情報機器を活用したプレゼンテーションができる力を身につける。

時間数：6

学習内容：以下の項目から選び取り組む。レポートのテーマは自由。

①疾患について

②福祉制度について

③視覚障害支援機器について

④その他

評価：

3月（計4時間）

単元名：研究課題・レポート（続き）

単元目標：自らでテーマを定め、情報機器を活用したプレゼンテーションができる力を身につける。

時間数：4

学習内容：①前月の続き

②研究発表の報告

評価：

2025(令和7)年度 年間指導計画

学部学年： 高等部専攻科保健医療科 2 年

科 目： 人体の構造と機能（解剖学）

単 位 数： 3単位

総 時 数： 105時間

担 当 者：

【科目の目標】

- ①自らの体をもとに、各单元について体系的・系統的に理解することが出来る。
- ②人体の系統別構造を標本や模型を活用し、主体的かつ協動的に取り組むことが出来る。
- ③人体の系統別構造に関する課題を発見し、身近な生命現象と関連付けながら合理的かつ創造的に解決することが出来る。

【評価の観点】

- ①学習した内容を理解できたか。
- ②記憶すべき知識を定着させたか。
- ③学んだ知識を適切に使えるか。
- ④国家試験合格に向けた学習の手がかりをつかむことができたか。

学 期： 1

月 : 4 ~ 7

時 間 数： 39

単 元 名： 第 5 章 脈管系（循環器系）

時 数： 8

単元目標：循環器の形態と構造及び体内の位置について理解し、皮静脈、リンパ節など可能な部位においては、体表から拍動部位を観察できるようにする。

学習内容： 1. 血管系

1) 心臓

(1) 心房と心室

(2) 心臓壁の構造

(3) 刺激伝導系

(4) 心臓の血管

2) 肺循環と体循環

3) 動脈系

(1) 頭頸部の動脈

(2) 上皮の動脈

(3) 胸腹部の動脈

(4) 下肢と骨盤の動脈

4) 静脈系

(1) 上大静脈とその枝

(2) 奇静脈

(3) 下大静脈

(4) 門脈系

(5) 下肢と骨盤の静脈

5) 胎児循環

2. リンパ系

1) リンパ管

2) リンパ節

3) 脾臓

4) 胸腺

5) 血液と血球

(1) 赤血球

(2) 白血球

(3) 血小板

(4) 造血

単 元 名： 第 6 章 神経系

時 数： 18

単元目標：神経の形態と構造及び体内の位置について理解し、末梢神経が体表近くを走行する部位など可能な部位においては、体表から観察できるようにする。

学習内容： 1. 神経系の構成

- 2. 中枢神経系
 - 1) 脊髄
 - 2) 延髄と橋
 - 3) 小脳
 - 4) 中脳
 - 5) 間脳
 - 6) 大脳半球
 - 7) 脳室系
 - 8) 髄膜と脳脊髄液
 - (1) 硬膜
 - (2) くも膜
 - (3) 軟膜
 - 9) 脳の血管

評 価 :

学 期: 2
 月 : 9 ~ 12
 時 間 数: 42

単 元 名 : 第6章神経系

時 数 : 20

単元目標 : 神経の形態と構造及び体内の位置について理解し、末梢神経が体表近くを走行する部位など可能な部位においては、体表から観察できるようにする。

学習内容 : 3. 末梢神経系

- 1) 脳神経
- 2) 脊髄神経
 - (1) 頸神経叢
 - (2) 腕神経叢
 - (3) 腰仙骨神経叢
- 3) 自律神経
 - (1) 自律神経系の特徴
 - (2) 交感神経系
 - (3) 副交感神経
- 4. 伝導路
 - 1) 反射路
 - 2) 求心性（感覚性）伝導路
 - (1) 体性感覚の伝導路
 - (2) 視覚の伝導路
 - (3) 聴覚の伝導路
 - (4) 平衡覚の伝導路
 - (5) 味覚の伝導路
 - (6) 嗅覚の伝導路
 - 3) 遠心性（運動性）伝導路
 - (1) 錐体路
 - (2) 錐体外路

単 元 名 : 第7章感覚器系

時 数 : 8

単元目標 : 感覚器の形態と構造及び体内の位置について理解し、外耳、舌、眼球など可能な部位においては、体表から観察できるようにする。

学習内容 : 1. 視覚器

- (1) 眼球
- (2) 眼球の付属器

評 価 :

学 期: 3
 月 : 1 ~ 3
 時 間 数: 24

単 元 名 : 第7章感覚器系

時 数 : 16

単元目標 : 感覚器の形態と構造及び体内の位置について理解し、外耳、舌、眼球など可能な部位

においては、体表から観察できるようにする。

学習内容： 2. 平衡聴覚器

(1) 外耳

(2) 中耳

(3) 内耳

3. 味覚器

4. 嗅覚器

5. 皮膚

(1) 表皮

(2) 真皮

(3) 皮下組織

(4) 毛

(5) 爪

(6) 脂腺

(7) 汗腺

(8) 乳腺

評 価：

2025（令和7）年度 年間指導計画

学部学年： 高等部専攻科保健医療科2年

科目： 人体の構造と機能（生理学）

単位数： 2単位

総時数： 70時間

担当者：

【科目の目標】

- ①人体の系統別機能を体系的・系統的に理解することができる。
- ②人体の系統別機能に関する課題を発見し、主体的かつ協動的に解決することができる。
- ③人体の系統別機能について身近な生命現象と関連付けながら合理的かつ創造的に理解することができる。

【評価の観点】

- ①学習した内容を理解できたか。
- ②記憶すべき知識を定着させたか。
- ③学んだ知識を適切に使えるか。
- ④国家試験合格に向けた学習の手がかりをつかむことができたか。

学期： 1 学期

月： 4 ～ 7 月

時間数： 26時間

単元名： 神経系

時数： 15時間

単元目標： 生体の各器官の働きを調節する重要な機能をもつものであることを理解する。

- 学習内容：
1. 神経系とは（中枢神経系、末梢神経系）
 2. ニューロンの構造と機能
 3. 神経線維の興奮と伝導
 4. 興奮の伝達（シナプスの機能、神経伝達物質）
 5. 受容体
 6. 末梢神経系（分類、機能）

単元名： 中枢神経系

時数： 11時間

単元目標： 身体の種類々の機能の統合に重要な役割を果たすことを理解する。

- 学習内容：
1. 分類
 2. 統合機能（反射）
 3. 脊髄の機能（ベル・マジャンディーの法則、脊髄反射、伝導路、ブラウン・セカール症候群）
 4. 脳幹の機能（延髄、橋、中脳）
 5. 間脳の機能（視床、視床下部）
 6. 小脳の機能
 7. 大脳の機能（大脳基底核、大脳辺縁系、新皮質、連合野、脳波）
 8. 脳脊髄液

学期： 2 学期

月： 9 ～ 12 月

時間数： 28時間

単元名： 内臓の自律神経性調節

時数： 8時間

単元目標： 主として内蔵機能の調節に関わる自律神経について理解する。

- 学習内容：
1. 自律神経系の特徴（交感神経、副交感神経、調節、神経節）
 2. 神経伝達物質と受容体
 3. 自律神経系の中樞
 4. 自律神経反射

単元名： 筋の生理

時数： 10時間

単元目標： 筋の生理作用や特徴、働きのメカニズムについて理解する。

- 学習内容：
1. 筋の生理作用
 2. 筋の種類とその特徴

3. 筋の収縮
4. 筋疲労

单元名：身体の運動

時数：10時間

单元目標：身体の運動について理解する。

- 学習内容：
1. 骨格筋の神経支配
 2. 脊髄レベルの運動調節
 3. 脳幹の運動調節
 4. 錐体路と錐体外路

学期：3 学期

月：1～3 月

時間数：16時間

单元名：感覚器

時数：16時間

单元目標：各感覚器官に共通する基本的性質・働きについて理解する。

- 学習内容：
1. 感覚の一般（分類、性質、受容器と興奮伝達）
 2. 体性感覚（皮膚感覚、深部感覚）
 3. 内臓感覚（臓器感覚、内蔵痛覚）
 4. 痛覚（分類、内因性発痛物質、痛みの抑制系）
 5. 特殊感覚（味覚、嗅覚、聴覚、平衡感覚、視覚）

2025（令和7）年度 年間指導計画

学部学年： 高等部専攻科保健医療科2年
科目： 疾病の成り立ちと予防（衛生、公衆衛生）
単位数： 2単位
総時数： 70時間
担当者：

【科目の目標】

- ①あん摩マッサージ指圧施術を行うために必要な衛生学・公衆衛生学について体系的・系統的に理解できるようにする。
- ②衛生学・公衆衛生学に関する課題を発見し、あん摩マッサージ指圧師としての職業倫理を踏まえて合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- ③衛生学・公衆衛生学について、地域や社会を支えるあん摩マッサージ指圧師を目指して自ら学び、適切かつ合理的な施術に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

【評価の観点】

- ①学習した内容を理解できたか。
- ②記憶すべき知識を定着させたか。
- ③学んだ知識を適切に使えるか。
- ④国家試験合格に向けた手掛かりをつかむことができたか。

1学期（26時間）

4月

単元名：第1章 公衆衛生学の意義と歴史

時間数：4

単元目標：衛生学、公衆衛生学の目的と役割について学習する。個人の健康と公衆の衛生との関係について理解する。

内容：1公衆衛生学の意義
2公衆衛生学の歴史

評価：

4月～6月

単元名：第2章 健康の保持増進と生活

時間数：16

単元目標：WHOの健康の定義を取り上げ、健康の概念について、単に疾病にかかっていないというのではなく、さらに高度な健康について学習する。運動、休養、食事の重要性、特に食生活が健康の基盤であることを理解し、どのような生活が望ましいか考える。衛生行政の中心である保健所の役割を理解する。

内容：1食生活と栄養
2衛生行政
3食生活と健康
4食中毒
5飲食物と感染症

7月

単元名：第3章 生活環境と公害

時間数：6

単元目標：環境衛生の意義について学習する。
生活環境が健康に及ぼす影響について、具体例を通して理解する。
地球環境問題については、原因を理解し、対策について考える。

内容：1環境と健康
2物理的環境因子とその影響
3化学的環境因子とその影響
4生物学的環境因子とその影響
5社会的環境因子とその影響
6住居
7衣服
8地域の環境衛生
9公害
10地球環境問題（地球温暖化、オゾン層の破壊、酸性雨、森林伐採）

評価：

2学期（28時間）

9月

単元名：第4章 産業保健

時間数：6

単元目標：産業保健の意義について理解する。
労働衛生行政の仕組、役割について理解する。
医療施術者としてどのように貢献できるかを理解する。

内容：1産業保健
2労働衛生行政
3産業疲労とその対策
4産業災害とその対策
5職業病

評価：

10月

単元名：第5章 精神保健

時間数：4

単元目標：精神衛生の意義について理解する。

内容：1精神保健
2精神障害者（統合失調症、躁鬱病等）

評価：

単元名：第6章 母子保健

時間数：4

単元目標：母子衛生の意義について理解する。
母体の健康と乳幼児の健康の関係について学習する。

内容：1母子保健
2母子と健康
3母体保護法

評価：

11月

単元名：第7章 生活習慣病

時間数：6

単元目標：急増している生活習慣病の発症要因、生活習慣病の特質と予防対策について理解する。

内容：1生活習慣病

評価：

12月

単元名：第8章 感染症対策

時間数：8

単元目標：感染症の概念について学習する。
感染症の発生要因、予防対策について理解する。

内容：1感染症
2感染様式（染源、感染経路、感受性宿主）
3感染症の予防対策
4免疫評価

3学期（16時間）

1月

単元名：第9章 消毒

時間数：8

単元目標：消毒の重要性とその具体的方法を理解する。
医療臨床における消毒の意義と方法を理解する。

内容：1消毒と滅菌の定義
2消毒、滅菌の作用
3消毒、滅菌の種類と方法

評価：

2月

単元名：第10章 疫学

時間数：2

単元目標：疾病予防の観点から疫学調査の重要性、方法を理解する。
疫学の定義、疫学の対象、疫学の特徴、リスクの判定について理解する。

内容：1疫学の意義
2リスク

単元名：第11章 衛生統計

時間数：2

単元目標：衛生統計の意義、種類、その実際の概要を学習する

内容：1 主な衛生統計（人口統計、国勢調査、疾患統計、医療統計等）

3月

時数 4

単元名 総合学習

目標

・国家試験の傾向を解説する

内容

(1) 国家試験の出題方式の解説

(2) 国家試験の出題傾向の解説

評価

2025(令和7)年度 年間指導計画

学部学年： 高等部専攻科保健医療科2年
科目： 疾病の成り立ちと予防（病理学）
単位数： 2単位
総時数： 70時間
担当者：

【科目の目標】

- ①疾病の一般について体系的・系統的に理解することができる。
- ②各病変の特徴について自ら学び、主体的かつ協動的に取り組む事が出来る。
- ③各病変の大意に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決することができる。

【評価の観点】

- ①学習した内容を理解できたか。
- ②記憶すべき知識を定着させたか。
- ③学んだ知識を適切に使えるか。
- ④国家試験合格に向けた学習の手がかりをつかむことができたか。

学期： 1学期
月： 4～7月
時間数： 26時間

単元名： 1. 病理学の基礎
時数： 6
学習内容： ①病理学の意義と分類
②疾病の意義と分類
③病変と症候
④疾病の経過
⑤予後と転帰

評価：

単元名： 2. 病因（内因）
時数： 8
学習内容： ①主因と副因
②素因と体質
③遺伝と染色体以上
④内分泌障害
⑤遺伝と免疫異常
⑥心因性疾患

評価：

単元名： 2. 病因（外因）
時数： 12
学習内容： ①栄養素の供給障害
②物理的病因作用
③科学的病因作用
④生物学的病因作用
⑤加齢と老化

評価：

学期： 2学期
月： 9～12月
時間数： 28時間

単元名： 3. 循環障害
時間数： 8
学習内容： ①充血と鬱血
②貧血
③出血
④血栓症・塞栓症・梗塞
⑤側副循環
⑥水症

⑧脱水症

評 価：

単 元 名：3. 退行性病変

時 数：6

学習内容：①萎縮
②変性
③壊死・壊疽及び趾

評 価：

単 元 名：3. 進行性病変

時 数：7

学習内容：①肥大と増殖
②再生と化成
③移植
④搔傷の治癒
⑤異物の処理（排除、器質化、被包）

評 価：

単 元 名：3. 炎症

時 数：7

学習内容：①炎症の概念
②炎症の原因
③炎症の経過と転帰
④炎症の病変
⑤炎症の五大徴候と病変との関係
⑥炎症の全身への影響

評 価：

学 期：3 学期

月 数：1～3 月

時 間 数：16時間

単 元 名：3. 腫瘍

時 数：10

学習内容：①腫瘍の意義
②腫瘍の形態
③腫瘍の構造
④腫瘍の発育と転移
⑤腫瘍の発育段階
⑥腫瘍の診断
⑦腫瘍と宿主の相互作用
⑧腫瘍の原因
⑨腫瘍の再発
⑩腫瘍の分類（上皮性腫瘍、非上皮性腫瘍、造血リンパ組織腫瘍、神経性腫瘍）

評 価：

単 元 名：3. 免疫の異常

時 数：6

学習内容：①免疫の一般＝免疫の仕組み、抗原と抗体、免疫グロブリン、免疫応答の仕組み、
②免疫応答の異常＝アレルギー、免疫不全、事故免疫疾患

評 価：

2025(令和7)年度 年間指導計画

学部学年： 高等部専攻科保健医療科 2 年

科 目： 生活と疾病（臨床医学）

単 位 数： 4単位

総 時 数： 140時間

担 当 者：

【科目の目標】

①現代医学の立場から、各疾患や症状についての診察法、検査法及び治療法と日常生活の関わりについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

②疾病と日常生活の関わりに関する課題を発見し、あん摩マッサージ指圧師としての職業倫理を踏まえて合理的かつ創造的に解決する力を養う。

③地域や社会を支えるあん摩マッサージ指圧師を目指して自ら学び、適切かつ合理的な施術に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

【評価の観点】

①記憶すべき知識の定着

②体系的に内容を理解

③知識を主体的に活用

④習得した知識による課題解決

学期： 1

月： 4～7

時間数：52

単元名：運動器の臨床医学

単元目標：あん摩・マッサージ・指圧施術との関連性に留意し、身体運動器の構造・機能と各疾患の原因、主要症状及びその治療や、適応と禁忌、リスク管理について理解する。

指導内容： 1. 関節疾患

①関節の構造と症状（関節拘縮と関節強直）

②捻挫

③脱臼

④変形性膝関節症（OA）

⑤関節リウマチ（RA）

⑥痛風

⑦肩関節周囲炎（五十肩）

2. 脊柱の疾患

①変形性脊椎症

②椎間板ヘルニア

③脊椎分離すべり症

④脊柱管狭窄症

⑤脊柱側彎症

3. 骨疾患

①骨折

②骨粗鬆症（オステオポローシス）

③骨腫瘍

④発育性疾患

4. 形態異常

①先天性股関節脱臼（発育性股関節形成不全）

5. 筋疾患

①重症筋無力症

②進行性筋ジストロフィー症

③バネ指（手根管症候群）

④狭窄性腱鞘炎（ド・ケルバン病）

⑤上腕骨外側上顆炎（テニス肘）

⑥筋・筋膜性腰痛

6. 頸腕症候群

①頸椎部の障害

③胸郭出口症候群

④上肢の神経障害

評価：

単元名：スポーツの臨床医学

単元目標：あん摩・マッサージ・指圧施術との関連性に留意し、スポーツにおける身体運動と各疾患の原因、主要症状及びその治療や、適応と禁忌、リスク管理について理解する。

指導内容： 7. スポーツと外傷・障害

- ①大腿
- ②膝関節
- ③下腿
- ④足
- ⑤肩関節
- ⑥肘関節・前腕

評価：

学期：2

月：9～12

時間数：56

単元名：神経疾患の臨床医学

単元目標：あん摩・マッサージ・指圧施術との関連性に留意し、身体神経系の構造・機能と各疾患の原因、主要症状及びその治療や、適応と禁忌、リスク管理について理解する。

指導内容： 1. 主な神経症状

- ①意識障害
 - ②髄膜刺激症状
 - ③高次脳機能障害
 - ④運動麻痺
 - ⑤筋萎縮
 - ⑥痙直と固縮（または強剛）
 - ⑦運動失調
 - ⑧知覚の異常
2. 中枢神経疾患
- ①脳血管障害
 - ②感染性疾患
 - ③脱髄疾患
 - ④脳腫瘍
 - ⑤認知症（大脳変性疾患）
 - ⑥変性疾患
3. 末梢神経疾患
- ①神経炎
 - ②神経麻痺
 - ③神経痛

評価：

単元名：消化器疾患の臨床医学

単元目標：あん摩・マッサージ・指圧施術との関連性に留意し、各疾患の原因、主要症状及びその治療や、適応と禁忌、リスク管理について理解する。

指導内容： 1. 口腔・咽頭・食道疾患
2. 胃・十二指腸疾患
3. 小腸・大腸・直腸・肛門疾患
4. 肝臓・胆のう・すい臓疾患

評価：

単元名：呼吸器疾患の臨床医学

単元目標：あん摩・マッサージ・指圧施術との関連性に留意し、身体運動器の構造・機能と各疾患の原因、主要症状及びその治療や、適応と禁忌、リスク管理について理解する。

指導内容： 1. 喉頭・気管支疾患
2. 肺疾患

評価：

単元名：循環器・血液疾患の臨床医学

単元目標：あん摩・マッサージ・指圧施術との関連性に留意し、身体運動器の構造・機能と各疾患の原因、主要症状及びその治療や、適応と禁忌、リスク管理について理解する。

指導内容： 1. 心臓疾患
2. 血管疾患
3. 血液疾患
4. リンパ疾患

評価：

学期：3

月：1～3

時間数：32

単元名：泌尿・生殖器疾患の臨床医学

単元目標：あん摩・マッサージ・指圧施術との関連性に留意し、各疾患の原因、主要症状及びその治療や、適応と禁忌、リスク管理について理解する。

指導内容：1. 腎臓疾患
2. 膀胱疾患
3. 子宮・卵巣疾患
4. 乳房疾患
5. 前立腺疾患

評価：

単元名：内分泌疾患の臨床医学

単元目標：あん摩・マッサージ・指圧施術との関連性に留意し、身体運動器の構造・機能と各疾患の原因、主要症状及びその治療や、適応と禁忌、リスク管理について理解する。

指導内容：1. 視床下部・下垂体
2. 甲状腺・副甲状腺
3. 副腎皮質・髄質
4. 卵巣・精巣

評価：

単元名：代謝性疾患の臨床医学

単元目標：あん摩・マッサージ・指圧施術との関連性に留意し、身体運動器の構造・機能と各疾患の原因、主要症状及びその治療や、適応と禁忌、リスク管理について理解する。

指導内容：1. 糖尿病

評価：

単元名：アレルギー・膠原病疾患の臨床医学

単元目標：あん摩・マッサージ・指圧施術との関連性に留意し、身体運動器の構造・機能と各疾患の原因、主要症状及びその治療や、適応と禁忌、リスク管理について理解する。

指導内容：1. アレルギー疾患
2. 膠原病・膠原病周辺疾患

評価：

単元名：感染症疾患の臨床医学

単元目標：あん摩・マッサージ・指圧施術との関連性に留意し、身体運動器の構造・機能と各疾患の原因、主要症状及びその治療や、適応と禁忌、リスク管理について理解する。

指導内容：主な感染症疾患

評価：

単元名：その他の科の臨床医学

単元目標：あん摩・マッサージ・指圧施術との関連性に留意し、身体運動器の構造・機能と各疾患の原因、主要症状及びその治療や、適応と禁忌、リスク管理について理解する。

1. 眼科
2. 皮膚科
3. 小児科

評価：

2025(令和7)年度 年間指導計画

学部学年： 高等部専攻科保健医療科 2 年
科 目： 臨床保健医療学(臨床入門)
単 位 数： 3単位
総 時 数： 105時間
担 当 者：

【科目の目標】

- ①臨床の基礎について必要な知識を理解するとともに、関連する基礎的な技術を身に付けるようにする。
- ②学習を通して発見した課題に対しあはき師として合理的かつ創造的に解決する力を養うようにする。
- ③臨床実習を通し地域や社会を支えるあはき師を目指して自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

【評価の観点】

あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師となるのに必要な臨床入門に関する知識を修得したかについて、以下の観点から評価する。

- ①学習した内容を理解できたか。
- ②記憶すべき知識を定着できたか。
- ③習得した知識を応用できるか。
- ④適宜臨床実習で活用できるか。

学期： 1 学期
月： 4 ～ 7 月
時間数： 39時間

単 元 名： バイタルサイン測定の実際

時 間 数： 3

目 標： バイタルサインの正常値を学習し、患者のリスク管理に努める。

学習内容： (1)バイタルサインの意義

- ①脈拍 ②呼吸 ③体温 ④血圧

評 価：

科目の目標

- ①臨床の基礎について必要な知識を理解するとともに、関連する基礎的な技術を身に付けるようにする。
- ②学習を通して発見した課題に対しあはき師として合理的かつ創造的に解決する力を養うようにする。
- ③臨床実習を通し地域や社会を支えるあはき師を目指して自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

【評価と観点】

あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師となるのに必要な臨床入門に関する知識を修得したかについて、以下の観点から評価する。

- ① 学習した内容を理解できたか。
- ② 記憶すべき知識を定着できたか。
- ③ 習得した知識を応用できるか。
- ④ 適宜臨床実習で活用できるか。

評 価：

学期： 2 学期
月： 9 ～ 1 2 月
時間数： 42時間

単 元 名： 徒手による整形外科的検査の実際

時 間 数： 22

目 標： (1) 徒手による整形外科的検査の目的について学習し理解する。
(2) 各検査の意義や判定、留意事項について学習し修得する

学習内容： (1) 頸肩腕症候群に対する検査
(2) 胸郭出口症候群に対する検査

- (3) 腰下肢痛に対する検査
- (4) 主な関節の痛みに対する理学的検査

評 価：

単 元 名：生体観察

時 間 数：15

目 標：この4月から各単元で学習した知識を組み合わせ、測定器具等を用いて観察し、臨床で応用できるようにする。

学習内容：(1) バイタル
(2) 関節可動域測定
(3) 理学的検査
(4) 徒手筋力検査
(5) ROM訓練

評 価：

単 元 名：施術に応用できる物理療法の実際

時 間 数：5

目 標：温熱療法・牽引療法を中心に適応症と機器の操作方法、留意事項について理解する。

学習内容：(1) ホットパック
(2) マイクロウェーブ
(3) 赤外線
(4) パラフィン浴
(5) 牽引機

評 価：

学期：3学期

月：1～3月

時間数：24時間

単 元 名：目指すべきあん摩マッサージ指圧師、はり師、灸師について

時 間 数：6

目 標：外来臨床での実習が始まった時期に合わせて、患者から求められるあはき師としての資質についてケーススタディーを通して理解する。

学習内容：(1) 期待される施術者像
(2) 施術者のモラル
(3) 施術者のマナー

評 価：

単 元 名：リスク管理について

時 間 数：6

目 標：施術中に起こりうる事故について理解し、その未然防止・事故への対応・実際の過誤について理解する。

学習内容：(1) 事故を防止するために日頃実践する基本事項
(2) 事故対応マニュアルの内容
(3) 物理的・環境的リスク要因
(4) 主な施術過誤とその予防対策

評 価：

単 元 名：医療面接の実際

時 間 数：6

目 標：施術中に起こりうる事故について理解し、その未然防止・事故への対応・実際の過誤について理解する。

学習内容：(1) 医療面接の意義と目的及びあん摩マッサージ指圧、鍼、灸施術における医療面接の意義
(2) 面接に必要な態度と技法
(3) 質問法
(4) 医療面接の実際

評 価：

単 元 名：緊急蘇生法

時 間 数：6

目 標：事故発生から、意識障害、バイタルサイン、出血の確認、蘇生術、救急隊、医療機関に引き継ぐまでの課程を理解する。

学習内容：(1) 緊急蘇生法の意義

(2) 心肺蘇生法の実際・人工呼吸の方法、心臓マッサージ、人工呼吸と心臓マッサージの組み合わせ、異物が詰まっている時の対処法、止血法の実際

評価：

2025(令和7)年度 年間指導計画

学部学年： 高等部専攻科保健医療科2年
科目： 保健医療基礎実習（あん摩実技）
単位数： 2単位
総時数： 70時間
担当者：

【科目の目標】

- ①施術者としての基本的な態度・習慣を身に付けるとともに、あん摩実技の基本を確実に身に付ける。
- ②代表的な症状や疾患を発見し、施術者としての職業倫理を踏まえて解決する力を養う。
- ③応用実習や総合実習を通してあん摩実技の基礎的な技術の習熟を図るとともに、地域や社会を支える施術者を目指して自ら学ぶ態度を養う。

【評価の観点】

- ①施術の強さ、位置、角度、リズム等が適切か。
- ②ツボをきちんととらえているか。
- ③医療従事者としての適切な態度・姿勢を身につけることができたか。
- ④授業への参加意欲はどうか。

学 期： 1 学期
月： 4～7 月
時 間 数： 26時間

単 元 名： 身体各部位の施術
時 数： 4 時間
単元目標： 肩背腰部・腹部を中心としたあん摩の術式を理解し、実践できるようにする。
学習内容： 肩背腰部・按腹の手技
評 価：

単 元 名： 身体各部位の施術
時 数： 18時間
単元目標： 基本手技を組み合わせ、座位・側臥位・腹臥位・背臥位での施術を決められた時間内で行えるようにする。
学習内容： 全身あん摩（①施術実践）
評 価：

学 期： 2 学期
月： 9～12 月
時 間 数： 28時間

単 元 名： 臨床実習（①）
時 数： 28時間
単元目標： 臨床の場での患者への対応について学ぶ
学習内容： 1. 模擬患者に対し、実際の患者への声かけ、指示、施術の際の触診について繰り返し行う。
2. 産業教育フェア参加
評 価：

学 期： 3 学期
月： 1～3 月
時 間 数： 16時間

単 元 名： 外来臨床実習
時 数： 16時間
単元目標： 実際の患者に対し、診察から施術までが適切に遂行できるようにする。
学習内容： 外来治療室にて臨床（あん摩術）を実践する。
評 価：

2025（令和7）年度 年間指導計画

学部学年： 高等部専攻科保健医療科2年
科目： 保健医療基礎実習（マッサージ実技）
単位数： 2単位
総時数： 70時間
担当者：

【科目の目標】

- ①施術に必要な衛生・安全管理及びマッサージの基礎的な実技について理解し、関連する技術を身につける。
- ②マッサージの基礎的な実技についての課題を発見し、臨床で求められる技術の習熟度と関連付け、職業倫理を踏まえて合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- ③マッサージの基礎的な実技について自ら学び、臨床で求められる基礎実技の習熟を目指して主体的・協働的に取り組む態度を養う。

【評価の観点】

- ①マッサージ施術の基礎的な知識・技術が身についている。
- ②解剖学、生理学と関連付けて身体の構造、機能を理解している。
- ③マッサージ施術の適否の判断及び目的に応じた手技の選択ができる。
- ④医療従事者として適切な態度が身についている。
- ⑤積極的、協働的な授業態度で臨んでいる。

学 期： 1学期
月： 4～7月
時 間 数： 26時間

単 元 名： マッサージの基本手技

時 数： 6時間

単元目標： 第1学年時に学習した基本手技を復習し、知識、技術を定着、向上する。

学習内容： 1. 軽擦法
2. 揉捏法
3. 圧迫法
4. 振せん法
5. 強擦法
6. 叩打法

評 価：

単 元 名： 身体各部のマッサージ

時 数： 20時間

単元目標： 第1学年時ににおいて未修得の身体各部のマッサージを学習し、知識、技術を身につける。

学習内容： 1. 臀部
2. 背腰部
3. 胸部
4. 腹部
5. 頸部
6. 頭部

評 価：

学 期： 2学期
月： 9～12月
時 間 数： 28時間

単 元 名： 関節のマッサージ

時 数： 12時間

単元目標： 各関節のマッサージの知識、技術を身につける。

学習内容： 1. 手関節
2. 肘関節
3. 肩関節
4. 足関節
5. 膝関節

6. 股関節

評 価 :

単 元 名 : オイルマッサージ

時 数 : 6時間

単元目標 : オイルマッサージの知識、技術を身につける。

学習内容 : 1. 基本手技

2. 術式

評 価 :

単 元 名 : 結合組織マッサージ

時 数 : 6時間

単元目標 : 結合組織マッサージの知識、技術を身につける。

学習内容 : 1. 基本手技

2. 応用手技

評 価 :

単 元 名 : 骨膜マッサージ

時 数 : 2時間

単元目標 : 骨膜マッサージの知識、技術を身につける。

学習内容 : 基本手技

評 価 :

単 元 名 : リンパマッサージ

時 数 : 2時間

単元目標 : リンパマッサージの知識、技術を身につける。

学習内容 : 基本手技

評 価 :

学 期 : 3学期

月 : 1～3月

時 間 数 : 16時間

単 元 名 : 臨床応用

時 数 : 16時間

単元目標 : 各疾患に対して適切なマッサージを判断し施術する。医療従事者として適切な態度、姿勢を身につける。

学習内容 : 臨床実習

評 価 :

2025(令和7)年度 年間指導計画

学部学年： 高等部専攻科保健医療科2年
科目： 保健医療基礎実習（指圧実技）
単位数： 2単位
総時数： 70時間
担当者：

【科目の目標】

- ①施術者としての基本的な態度・習慣を身に付けるとともに、指圧実技の基本を確実に身に付ける。
- ②代表的な症状や疾患を発見し、施術者としての職業倫理を踏まえて解決する力を養う。
- ③応用実習や総合実習を通して指圧実技の基礎的な技術の習熟を図るとともに、地域や社会を支える施術者を目指して自ら学ぶ態度を養う。

【評価の観点】

- ①指圧の基本である圧の加え方・基本的手技等を身につけることができたか。
- ②施術の強さ、位置、角度、リズム等が適切か。
- ③ツボをきちんととらえているか。
- ④医療従事者としての適切な態度・姿勢を身につけることができたか。
- ⑤授業への参加意欲はどうか。

学 期： 1 学期
月： 4～7 月
時 間 数： 26時間

単 元 名： 指圧の基本原則、基本手技

- 学習内容： 1. 指圧の三原則と母指圧における正しい母指の関節角度での母指の鍛錬と基本原則について
2. 押圧操作の種類と背腰部の施術母指の鍛錬と基本姿勢
3. 臀部・下肢前側の指圧母指の鍛錬と基本姿勢
4. 前頸部・後頭部・肩上部の指圧母指の鍛錬と基本姿勢

評 価：

学 期： 2 学期
月： 9～12 月
時 間 数： 28時間

単 元 名： 指圧の基本手技

- 学習内容： 1. 頭部の指圧母指の鍛錬と基本姿勢
2. 顔面部の指圧母指の鍛錬と基本姿勢
3. 上肢・腹部の指圧法母指の鍛錬と基本姿勢
4. 前胸部の指圧法母指の鍛錬と基本姿勢

評 価：

学 期： 3 学期
月： 1～3 月
時 間 数： 18時間

単 元 名： 指圧の基本手技とその応用（臨床実習を通して）

- 学習内容： 1. 側臥位・座位での指圧法母指の鍛錬と基本姿勢
2. 側臥位・座位での指圧法母指の鍛錬と基本姿勢

評 価：

2025（令和7）年度 年間指導計画

学部学年： 高等部専攻科保健理療科2年
科目： 保健理療基礎実習（総合実技）
単位数： 4単位
総時数： 140時間
担当者：

【科目の目標】

- ①あん摩マッサージ指圧に必要な臨床保健理療の知識を体系的・系統的に理解するとともに、臨床の対象者に対して効果的な保健理療施術を適切に行えるようにする
- ②理論に基づいた診察を適切に行うことで臨床保健理療の課題を発見し、適応の判断や治療の有効性・有用性と関連付けながら合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- ③地域や社会を支えるあん摩マッサージ指圧師を目指して自ら学び、効果的な施術に主体的に取り組む態度を養う。

【評価の観点】

- ①施術の強さ、位置、角度、リズム等が適切か。
- ②経絡・経穴をきちんととらえているか。
- ③患者の状態に応じた診察・施術が適切に行えるか。
- ④医療従事者としての適切な態度・姿勢を身につけることができたか。
- ⑤授業への参加意欲はどうか。

学 期： 1 学期
月： 4～7 月
時 間 数： 52時間

単 元 名： 全身あん摩施術
時 数： 18時間
単元目標： 全身あん摩施術を決められた時間内で行えるようにする。
学習内容： 全身あん摩（側臥位・伏臥位・座位のあん摩）
評 価：

単 元 名： 全身あん摩施術
時 数： 34時間
単元目標： 代表的な症状や疾患に対する施術を行えるようにする。
学習内容： 全身あん摩（主訴を踏まえた全身あん摩）
評 価：

学 期： 2 学期
月： 9～12月
時 間 数： 56時間

単 元 名： 施術所における臨床実習前施術（実技試験等）
時 数： 36時間
単元目標： 臨床実習を想定して、施術室の準備や患者の体調管理などが円滑に行えるようにする。また、一定の評価基準に基づき、生徒の外来臨床実習への参加時期を決定する。

学習内容：
1. 施術室の管理
2. 患者の体調管理
3. 全身のあま指施術
4. 模擬患者に対するあん摩施術
評 価：

単 元 名： 臨床実践
時 数： 20時間
単元目標： 評価基準の評価に基づき、生徒個々の状況に配慮しながら臨床実践が円滑に行えるようにする。

学習内容：
1. 施術準備・後片付け
2. 患者へのあん摩施術
3. 患者接遇

4. カルテ記入
5. 臨床室清掃

評 価：

学 期： 3 学期
月： 1 ～ 3 月

単 元 名： 臨床実践

時 数： 32時間

単元目標： 評価基準の評価に基づき、生徒個々の状況に配慮しながら臨床実践が円滑に行えるようにする。

学習内容：

1. 施術準備・後片付け
2. 患者へのあん摩施術
3. 患者接遇
4. カルテ記入
5. 臨床室清掃

評 価：

2025(令和7)年度 年間指導計画

学部学年： 高等部専攻科保健医療科3年
科 目： 医療と社会（医療と社会）
単 位 数： 2単位
総 時 数： 70時間
担 当 者：

【科目の目標】

- ①医療の歴史を背景として現代社会における保健医療の位置付け及び医療とのかかわりを明らかにし保健医療の在り方を考える。
- ②どのような倫理観をもって保健医療臨床に当たらなければならないかを理解する。
- ③あん摩マッサージ指圧師にかかわる法律と医療の法体系の概要を理解し、業務が適切に実施できるようにする。
- ④医療にまつわるいろいろなトピックスをインターネットなどのITを活用して、情報の収集・知識の整理を図る。

【評価の観点】

- ①学習した内容を理解できたか
- ②記憶すべき知識を定着させたか
- ③学んだ知識を適切に使えるか
- ④習得した知識を応用させられるか

学 期： 1 学期
時 間 数： 26時間

月 ： 4 月
時 数： 6 時間
単 元 名： (1) 医学、医療及び保健医療の歴史
ア 西洋における医学、医療
イ 日本、中国等における医学、医療

単元目標及び学習内容： 西洋や日本、中国、インド等における医学、医療の歴史を取り扱い、保健医療とのかかわりを理解する。
評 価：

月 ： 5 月
時 数： 8 時間
単 元 名： (2) 医療制度の現状と課題
ア 医学の分野
イ 医療と社会

単元目標及び学習内容： 基礎医学、臨床医学、社会医学の事項を取り扱い、現代社会が抱えている医療関連の課題とその背景を取り扱う。
評 価：

月 ： 6 月
時 数： 8 時間
単 元 名： (2) 医療制度の現状と課題
ウ 医療従事者
エ 医療機関
オ 医療行政

単元目標及び学習内容： 以下の事項を中心に扱う
医師と歯科医師、看護職員、その他の医療従事者、病院及び診療所、施術所及び助産所、介護老人保健施設及び介護老人福祉施設、国及び地方自治体の衛生行政、医療保険制度の概要、介護サービス行政の概要
評 価：

月 ： 7 月
時 数： 4 時間
単 元 名： (3) 保健医療の現状と課題
ア 現代の東洋医学
イ 保健医療の概念
ウ 保健医療の課題

単元目標及び学習内容： あん摩・マッサージ・指圧、欧米における徒手による施術、湯液などに

ついて取り扱う。そしてあん摩・マッサージ・指圧と理療の関係について取り扱う。
また徒手による施術に対する世界の期待、我が国のあん摩・マッサージ・指圧が当面している問題と対応策について取り扱う。

学 期：2 学期
時 間 数：28時間

月 : 9 月
時 数：8 時間
単 元 名：(4) 保健理療従事者の倫理
ア 医療と倫理
イ 保健理療と倫理

単元目標及び学習内容：国民の健康の保持増進及び疾病の治療に寄与する観点から、保健理療従事者の心構え等について、十分理解する。その際、「地域保健理療と保健理療経営」との関連を考慮して学習する。

月 : 10 月
時 数：8 時間
単 元 名：(5) あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師等に関する法律
ア 法令の沿革
イ 法令の主な内容

単元目標及び学習内容：あん摩マッサージ指圧師として必要な「あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師等に関する法律」の基本的事項を具体的事例を取り上げながら重点的に学習する。

月 : 11 月
時 数：6 時間
単 元 名：(6) 関係法規の概要
ア 医事関係法規

単元目標及び学習内容：以下の事項を中心にできるだけ簡略に学習する。
医療法の概要、医師法の概要、理学療法士及び作業療法士法の概要、柔

道整復師法の概要
評 価：

月 : 12 月
時 数：6 時間
単 元 名：(6) 関係法規の概要
イ その他の関係法規

単元目標及び学習内容：薬事法規、一般衛生法規などの概要を学習する。

学 期：3 学期
時 間 数：16時間

月 : 1 月
時 数：6 時間
単 元 名：あん摩マッサージ指圧師国家試験直前補習

単元目標及び学習内容：国家試験の傾向を踏まえ、過去出題問題を中心にドリル形式で多くの問題を解いていく。

月 : 2 月
時 数：6 時間
単 元 名：あん摩マッサージ指圧師国家試験直前補習

単元目標及び学習内容：国家試験の傾向を踏まえ、過去出題問題を中心にドリル形式で多くの問題を解いていく。

月 : 3 月
時 数：6 時間

単 元 名：あん摩マッサージ指圧師国家試験直前補習

単元目標及び学習内容：国家試験の傾向を踏まえ、過去出題問題を中心にドリル形式で多くの問題を解いていく。

評 価：

2025(令和7)年度 年間指導計画

学部学年： 高等部専攻科保健医療科3年
科目： 生活と疾病（リハビリテーション医学）
単位数： 3単位
総時数： 105時間
担当者：

【科目の目標】

- ①障害と社会復帰に導くリハビリテーションの関わりについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。
- ②リハビリテーションに関する課題を発見し、あん摩マッサージ指圧師としての職業倫理を踏まえて合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- ③リハビリテーション・チームの一員として地域や社会を支えるあん摩マッサージ指圧師を目指して自ら学び、適切な施術に主体的に取り組む態度を養う。

【評価の観点】

- ①学習した内容を理解できたか。
- ②記憶すべき知識を定着できたか
- ③学んだ知識を適切に使えるか。
- ④国家試験の出題傾向を理解し適切に解答できるか。

学 期： 1学期
月： 4～7月
時間数： 39時間

単 元 名： リハビリテーションの概要

時 数： 10時間

単元目標： リハビリテーションの定義・歴史・概要・障害の概念について理解する。

- 学習内容：
1. 理念（語源、歴史、定義、ノーマライゼーションとIL運動）
 2. リハビリテーションの概要（身体障害者の動向など）
 3. 健康・疾病・障害の概念（分類）
 4. リハビリテーションの分類
 5. 地域リハビリテーション
 6. リハビリテーションの諸段階
 7. リハビリテーションチーム
 8. 医学的リハビリテーションの流れ

評 価：

単 元 名： 障害の評価

時 数： 10時間

単元目標： 医学的リハビリテーションの評価の目的やICFの各分類での評価法（検査法）の意義や方法について理解する。

- 学習内容：
1. 評価の目的
 2. 心身機能・身体構造の評価（ROM・MMT・アシュワース・協調性検査・感覚検査・高次脳機能検査）
 3. 活動の評価（ADL）
 4. 参加および環境因子の評価（住居・家族・地域・職場）

評 価：

単 元 名： リハビリテーション治療

時 数： 19時間

単元目標： 各療法の内容を理解する。

- 学習内容：
1. 理学療法（定義、運動療法、物理療法、日常生活訓練）
 2. 作業療法（目的、領域）
 3. 言語療法（定義、対象）
 4. 義肢・装具・車いす・自助具（義手と義足、装具、自助具の定義と種類）
 5. リハビリテーション看護

評 価：

学 期： 2学期
月： 9～12月

時間数： 42時間

単 元 名： 脳血管障害のリハビリテーション

時 数： 15時間

単元目標： 脳血管障害の医学的管理とリスク管理、理学療法について理解する。

学習内容： 1. 概念（分類、症状、合併症）
2. 評価
3. 急性期のリハビリテーション
4. 回復期のリハビリテーション
5. リスク管理

評 価：

単 元 名： 脊髄損傷のリハビリテーション

時 数： 6時間

単元目標： 脊髄損傷の医学的管理とリスク管理、理学療法について理解する。

学習内容： 1. 概念（原因・病型、損傷レベル）
2. 症状
3. 合併症
4. 急性期のリハビリテーション
5. 回復期のリハビリテーション
6. リスク管理

評 価：

単 元 名： 脳性麻痺のリハビリテーション

時 数： 6時間

単元目標： 脳性麻痺の医学的管理、理学療法について理解する。

学習内容： 1. 概念（定義、分類）
2. 評価
3. 合併症
4. 理学療法（ボバース法）

評 価：

単 元 名： 切断のリハビリテーション

時 数： 3時間

単元目標： 切断の医学的管理、理学療法について理解する。

学習内容： 1. 概念（原因、切断術）
2. リハビリテーション

評 価：

単 元 名： 呼吸器疾患のリハビリテーション

時 数： 2時間

単元目標： 呼吸器疾患の医学的管理、理学療法について理解する。

学習内容： 1. 概念（分類、症状）
2. リハビリテーション

評 価：

単 元 名： 骨関節疾患のリハビリテーション

時 数： 3時間

単元目標： 主な対象疾患、医学的管理、理学療法について理解する。

学習内容： 1. 肩関節周囲炎
2. 腰痛
3. 変形性関節症
4. 大腿骨頸部骨折
5. 末梢神経麻痺

評 価：

単 元 名： 関節リウマチのリハビリテーション

時 数： 2時間

単元目標： 関節リウマチの医学的管理とリスク管理、理学療法について理解する。

学習内容： 1. 概念（診断基準、進行度・機能障害の分類、症状、リスク管理）
2. リハビリテーション

評 価：

単 元 名： 神経疾患のリハビリテーション

時 数： 2時間
単元目標： 主な対象疾患、医学的管理、理学療法について理解する。
学習内容： 1. パーキンソン病
2. 脊髄小脳変性症
評 価：

単 元 名： 心疾患のリハビリテーション
時 数： 3時間
単元目標： 主な対象疾患、医学的管理、理学療法について理解する。
学習内容： 1. 心疾患の概念（評価）
2. リハビリテーション
評 価：

学 期： 3学期
月： 1～3月
時間数： 24時間

単 元 名： 運動学の基礎
時 数： 2時間
単元目標： 体の運動の基本的な仕組みについて理解する。
学習内容： 1. 力と仕事の原理（力学、仕事、エネルギー）
2. 単一機械構造（槌子、滑車）
評 価：

単 元 名： 人体の構造と機能
時 数： 2時間
単元目標： 関節の種類、各関節の可動域、筋収縮の様式について理解する。
学習内容： 1. 関節の機能（種類、運動、可動域）
2. 筋の機能（筋収縮の種類）
評 価：

単 元 名： 姿勢と運動のコントロール
時 数： 2時間
単元目標： 姿勢の安定性に影響する因子について理解する。
学習内容： 1. 重心の位置と重心線
2. 姿勢の保持
評 価：

単 元 名： 上肢の運動
時 数： 1時間
単元目標： 上肢の構造・運動・機能について理解する。
学習内容： 1. 上肢帯（関節、肩甲上腕リズム）
2. 肘関節と前腕（関節）
3. 手指（関節、手のアーチ、変形）
評 価：

単 元 名： 脊柱の運動
時 数： 1時間
単元目標： 脊柱の構造・運動・機能について理解する。
学習内容： 1. 脊柱（彎曲、連結）
2. 骨盤（腰椎骨盤リズム）
評 価：

単 元 名： 下肢の運動
時 数： 2時間
単元目標： 下肢の構造・運動・機能について理解する。
学習内容： 1. 股関節（構造、動き）
2. 膝関節（構造、動き）
3. 足関節及び足部（構造、足のアーチ、変形）
評 価：

単 元 名： 正常歩行と異常歩行
時 数： 6時間

単元目標：歩行の基本動作（身体各部の動き）とその異常について理解する。

学習内容：1. 正常歩行（歩行周期、重心の移動、身体各部の動き）
2. 異常歩行（構造上、疼痛、神経・筋系による異常）

評 価：

単 元 名：リハビリテーション医学の総まとめ

時 数：8時間

単元目標：あん摩マッサージ指圧師国家試験の出題傾向を理解する。

学習内容：1. 一問一答式問題集を活用し、重要ポイントを確認する。
2. 過去の国家試験より、出題傾向を症候別に理解する。
3. 過去の理教連模擬試験より、出題傾向を症候別に理解する。

評 価：

2025（令和7）年度 年間指導計画

学部学年： 高等部専攻科保健医療科3年
科目： 基礎保健医療学（保健医療理論）
単位数： 3単位
総時数： 105時間
担当者：

【科目の目標】

- ①保健医療理論（あん摩マッサージ指圧理論）について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- ②保健医療理論に関する課題を発見し、あん摩マッサージ指圧師としての職業倫理を踏まえて合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- ③保健医療理論について、地域や社会を支えるあん摩マッサージ指圧師を目指して自ら学び、適切かつ合理的な施術に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

【評価の観点】

- ①学習した内容を理解できたか
- ②記憶すべき知識を定着させたか
- ③習得した知識を応用させられるか
- ④理論に基づいた課題解決ができるか

学 期： 1 学期
月： 4～7 月
時 間 数： 39時間

単 元 名： あん摩、マッサージ、指圧の意義と沿革

時 間 数： 33時間

単元目標： あん摩、マッサージ、指圧の定義・歴史・特徴・違い・基本手技とその生理的作用について理解し、臨床に応用できる能力を養う。

学習内容： ① あん摩の意義と沿革
② マッサージの意義と沿革
③ 指圧の意義と沿革
④ 基本手技
⑤ 生体に対する作用

評 価：

単 元 名： その他の関連する治療法

時 間 数： 6時間

単元目標： あん摩、マッサージ、指圧の定義・歴史・特徴・違い・基本手技とその生理的作用について理解し、臨床に応用できる能力を養う。

学習内容： ① カイロプラクティック
② オステオパシー
③ スポンデロセラピー
④ 足の反射区（帯）療法
⑤ 推拿
⑥ 関節モビリゼーション

評 価：

学 期： 2 学期
月： 9～12 月
時 間 数： 42時間

単 元 名： あん摩マッサージ指圧の臨床応用、リスク監理

時 間 数： 12時間

単元目標： 刺激量・過誤と副作用・適応症、不適応症、禁忌症について学習し、安全で効果的な施術が出来る能力を養う。

学習内容： ① 刺激量
② 適応症、不適応症、禁忌症及び禁忌部位
③ リスク

評 価：

単 元 名： あん摩マッサージ指圧の基礎理論

時 間 数：12時間

単元目標：刺激の種類、受容器、感覚神経の伝導経路、あん摩マッサージ指圧の治療について理解する。

学習内容：① 1 感覚の受容器
② 各感覚の伝導経路
③ 関連痛
④ 自律神経系の関与する反射
⑤ 治療的作用

評 価：

単 元 名：関連学説

時 間 数：9時間

単元目標：保健理療施術に関連のある学説について学習し、そのメカニズムを理解する。効果的な治療をするためにはどのような施術がよいか化学的に考えられるようにし、臨床に応用出来るような能力を養う。

学習内容：① 恒常性保持機能
② 緊急反応
③ サイバネティックス
④ ストレス学説
⑤ レイリー現象
⑥ 圧自律神経反射の学説

評 価：

単 元 名：あん摩マッサージ指圧の治効理論

時 間 数：9時間

単元目標：研究等からあん摩マッサージ指圧の筋・神経・体液等に及ぼす影響を学習し、効果的な保健理療施術が出来る能力を養う。

学習内容：① 身体組織に及ぼす影響
② 2 血液に及ぼす影響
③ 3 自律神経に及ぼす影響

評 価：

学 期：3学期

月：1～3月

時 間 数：24時間

単 元 名：保健理療理論の総まとめ

時 間 数：24時間

単元目標：あん摩マッサージ指圧師国家試験の出題傾向をつかむ。

学習内容：① 過去の国家試験より単元ごとにまとめ、要点を理解する。

評 価：

2025(令和7)年度 年間指導計画

学部学年: 高等部専攻科保健理療科3年
科目: 臨床保健理療学(保健理療臨床論)
単位数: 4単位
総時数: 140時間
担当者:

【科目の目標】

- ①現代医学と東洋医学に関する技術を身に付け、効果的な理療施術を適切に行うことができるようにする。
- ②理療施術の適応の判断や治療の有効性と関連付けながら合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- ③地域や社会を支えるあはき師を目指して自ら学び、適切な施術に主体的に取り組む態度を養う。

【評価の観点】

- ①学習した内容は理解できた
- ②記憶すべき知識は定着した
- ③学んだ知識は適切に使える
- ④習得した知識を応用できる

学期: 1
月: 4~7
時数: 52

単元名: 総論

時数: 18時間

単元目標: 理療臨床論が東洋医学と現代医学を関連づけた科目であることを理解する。

学習内容: ①理療施術の意義とその対象
②診察の基本
③治療計画の概要

評価:

単元名: 運動器系の主な症状

時数: 34時間

単元目標: 各疾患の病態・診察・治療法・リスク管理等を理解する。

学習内容: ①頸肩腕痛(頸椎症・胸郭出口症候群・絞扼神経障害等)
②肩こり
③腰下肢痛(腰椎椎間板ヘルニア・筋筋膜性腰痛・変形性腰椎症等)
④関節痛(肩関節周囲炎・変形性膝関節症等)
⑤筋肉痛・腱痛・筋疲労
⑥運動麻痺(脳血管障害後遺症・単神経麻痺等)

評価:

学期: 2
月: 9~12
時数: 56

単元名: 神経系の主な症状

時数: 12時間

単元目標: 各疾患の病態・診察・治療法・リスク管理等を理解する。

学習内容: ①頭痛
②神経痛
③不眠症
④自律神経失調症

評価:

単元名: 主なスポーツ障害

時数: 10時間

単元目標: 各疾患の病態・診察・治療法・リスク管理等を理解する。

学習内容: ①肩のスポーツ障害
②肘のスポーツ障害

- ③腰部のスポーツ障害
- ④膝や大腿部のスポーツ障害
- ⑤下腿部や足関節のスポーツ障害

評 価:

単 元 名: 高齢者に多くみられる主な疾患の特徴

時 数: 10時間

単元目標: 各疾患の病態・診察・治療法・リスク管理等を理解する。

- 学習内容:
- ①骨粗鬆症
 - ②パーキンソン病
 - ③老年痴呆

評 価:

単 元 名: 消化器系の主な症状

時 数: 7時間

単元目標: 各疾患の病態・診察・治療法・リスク管理等を理解する。

- 学習内容:
- ①食欲不振
 - ②便秘
 - ③下痢
 - ④悪心・嘔吐
 - ⑤腹痛

評 価:

単 元 名: 呼吸・循環器系の主な症状

時 数: 3時間

単元目標: 各疾患の病態・診察・治療法・リスク管理等を理解する。

- 学習内容:
- ①せき（咳嗽）とたん
 - ②動悸（心悸亢進）と息切れ（呼吸困難）
 - ③胸痛
 - ④高血圧
 - ⑤低血圧

評 価:

単 元 名: 泌尿器・婦人科系の主な症状

時 数: 6時間

単元目標: 各疾患の病態・診察・治療法・リスク管理等を理解する。

- 学習内容:
- ①排尿異常
 - ②インポテンス
 - ③月経異常

評 価:

単 元 名: 主な生活習慣病

時 数: 4時間

単元目標: 各疾患の病態・診察・治療法・リスク管理等を理解する。

- 学習内容:
- ①糖尿病
 - ②肥満
 - ③高脂血症
 - ④高血圧
 - ⑤痛風

評 価:

単 元 名: 耳鼻科・眼科・歯科疾患の主な症状

時 数: 4時間

単元目標: 各疾患の病態・診察・治療法・リスク管理等を理解する。

- 学習内容:
- ①鼻閉・鼻漏
 - ②眩暈
 - ③耳鳴と難聴
 - ④顔面麻痺
 - ⑤眼精疲労
 - ⑥歯痛

評 価:

学 期: 3

月 : 1~3

時 数：32

単 元 名：理療臨床論の総まとめ

時 数：32時間

単元目標：あん摩マッサージ指圧師・鍼師・灸師国家試験の出題傾向をつかむ。

学習内容：①過去の国家試験より、症候別に問題を分け理解する。

②過去の理教連模擬試験より、症候別に問題を分け理解する。

評 価：

2025(令和7)年度 年間指導計画

学部学年： 高等部専攻科保健理療科3年
科目： 地域保健理療と保健理療経営（地域理療と理療経営）
単位数： 2単位
総時数： 70時間
担当者：

【科目の目標】

- ①超高齢化を伴いながら人口減少が進む日本社会の課題と社会保障制度の動向について理解を深める。
- ②地域における多職種との連携・協働やチーム医療の大切さを学ぶとともに、地域包括ケアシステムにおける保健理療業務の意義と役割を自覚する。
- ③施術所の現代的経営の在り方を考える能力を養う。
- ④実態に応じて、模擬試験等を通し国家試験主要科目の習熟度を把握しながら適宜国家試験対策授業を行う。

【評価の観点】

- ①学習した内容を理解できたか。
 - ②記憶すべき知識を定着できたか。
 - ③学んだ知識を適切に使えるか。
 - ④習得した知識を応用させられるか。
- 行う。

【1学期】

月： 4月

単元名：地域社会と理療

時数： 6時間

単元目標： 1. 地域の中での理療（あはき）の役割について考察する。

2. 地域保健・医療について理解する。

3. プライマリケアの思想や代替医療について理解する。

学習内容： 1. 今の社会生活におけるあはき師に対するニーズをディスカッションする。

2. 社会保障としての地域保健・医療について、その考え方と現状を捕らえ、その課題について把握する。

3. 理療の果たす役割について考える。

4. 西洋医学ありきの地域保健・医療体制から、理療、伝承医学等の代替医療も含める体制に移行していることを理解する。

評価：

月： 5月

単元名：少子高齢化社会の現状と課題

単元目標： 1. 少子化・高齢化とはどのようなものか特徴や要因について理解する。

2. 少子高齢社会と介護問題について理解する。

時数： 6時間

学習内容： 1. 統計資料などをもとにわが国の人口推移を把握し現状の課題点について考える。

2. 少子高齢社会と介護について学習し、その現状と問題点について考える。

評価：

月： 6月～7月

単元名：社会保健制度の体系

単元目標： 1. 社会保障制度の成立と発展について学習する。

2. 医療保険制度について理解し学習する。

時数： 14時間

学習内容： 1. 医療保険の種類とその区分について学習し理解する。

2. あはき受領委任制度について資料や必要様式等を用いて学習する。

評価：

【2学期】

月： 9月

単元名：日本の社会保障

単元目標： 高齢社会の状況と現代社会の動向、日本の社会保険制度を理解する。

時数： 8時間

学習内容： 1. 日本における高齢化社会

2. 変化する日本の医療制度
3. 日本における人々の健康観、疾病観について、今求められていることを様々な情報から捕らえる
4. 日本の社会保障、社会保険制度の種類・仕組み

評価:

月 : 10月

単元名: 社会保険制度

単元目標: 医療保険と介護保険制度の仕組みを理解する。

時数: 10時間

学習内容: 1. 医療保険等の仕組みを熟知し、あはき施術と医療保険の関係について具体的なケースを考える。
2. 介護保険制度の仕組みについて、ケアマネジメント・ケアプラン・ケアマネージャー・居宅介護支援事業所・介護支援サービスを中心に整理する。

評価:

月 : 10月～11月

単元名: 介護保険制度と理療

単元目標: 1. 日本の医療制度の現状と課題を理解する。

2. 介護保険制度下でのあはき師の役割と今後の発展について考える力を身につける。

時数: 6時間

学習内容: 1. 医療費増大等の問題点について考える。
2. 介護保険制度の中でのあはきの適応、機能訓練指導員としての役割等についてまとめる。

評価:

月 : 12月

単元名: あはき師の業務

単元目標: あはき師の職場や施術所開設について理解する。

時数: 6時間

学習内容: 1. あはき師の業務や行動範囲、就職場所等について、自らの進路も踏まえた上で考察する。
2. 地域での治療院開業を想定し、個々が考える理想と課題について論議し理解する。

評価:

【3学期】

月 : 1月

単元名: 理療経営の基礎

単元目標: 経営の一般的事項を理解する。

時数: 8時間

学習内容: 1. 経営の一般
2. 運営資金
3. 接客サービス
4. 広告
5. 他との連携の必要性等について理解する。
6. 借り入れ金・機械器具の貸与
7. 障害者雇用に関する各種助成金

学習内容: 1.

評価:

月 : 2月

単元名: 施術所経営の実際

単元目標: 理療経営の現状の分析・考察を行い、施術所開業の経営を計画できる力を身につける。

時数: 8時間

学習内容: 1. 将来の施術所開設に関して設置場所や規模、業務内容、インテリア、各種の補助資金等について整理する。
2. 将来の施術所開業を構想し、計画書を作成する。

評価:

2025(令和7)年度 年間指導計画

学部学年： 高等部専攻科保健医療科3年
科目： 臨床保健医療学（臨床概論）
単位数： 2単位
総時数： 70時間
担当者：

【科目の目標】

この科目では、患者との対応から実技まで、臨床実習に関わる様々な学習を交えて進める。学習教材は保健医療臨床論を用いる。

- ①臨床実習について必要な知識を理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- ②学習を通して発見した課題に対しあん摩マッサージ指圧師として合理的かつ創造的に解決する力を養うようにする。
- ③臨床実習を通し地域や社会を支えるあん摩マッサージ指圧師を目指して自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

【評価の観点】

- ①学習した内容を理解できたか
- ②知識を定着できたか
- ③知識を適切に使用できたか
- ④知識を応用できたか

学 期： 1 学期

月： 4～7月

時 間 数： 26時間

単 元 名： 臨床の基礎と臨床実習に向けての事前指導

単元目標： ① あん摩・マッサージ・指圧師として必要な基本的な清潔保持、態度を身につける。

② あん摩・マッサージ・指圧師として、臨床実習通し、適切な対応について知識と技術を身につける。

学習内容： ①衛生面について手指の消毒や身だしなみ等について熟知する。

②校外臨床実習の事前指導として、あん摩・マッサージ・指圧師としての心得、適切な対応について学習し、理解を深める。

③あん摩・マッサージ・指圧師に関する技術の再確認をし、必用に応じて指導する。

評 価：

学 期： 2 学期

月： 9～12月

時 間 数： 28時間

単 元 名： 臨床の基礎と校外臨床実習

単元目標： ① あん摩・マッサージ・指圧師として必要な基本的な清潔保持、態度を身につける。

②校外臨床実習に向けて、高齢者やヘルスキーパーとしての役割を理解し、適切な技術と知識を身につける。

③校外臨床実習に向けて、ヘルスキーパーとして適切なあん摩・マッサージ・指圧施術や対応について知識と技術を身に着ける。

学習内容： ①衛生面について手指の消毒や適切な身だしなみ等について熟知する。

②事前指導としてヘルスキーパーの役割りについて学習し、校外臨床実習に向けて、ヘルスキーパーへの理解を深め、適切な施術が行えるようにする。

③各症候に対する対処法について学習し、あはき師に関する技術の再確認をし、必用に応じて指導する。

評 価：

学 期： 3 学期

月： 1～3月

時 間 数： 16時間

単 元 名： あん摩・マッサージ・指圧師国家試験対策

時 間 数： 16時間

単元目標： あん摩・マッサージ・指圧師の国家試験に向けて重要な事柄について理解を深める。

学習内容： 模擬試験・国試試験過去問題・練習問題等を用いて解答・解説する。

評 価：

2025(令和7)年度 年間指導計画

学部学年： 高等部専攻科保健理療科3年

科目： 課題研究（課題研究）

単位数： 2単位

総時数： 70時間

担当者：

【科目の目標】

①臨床実習における症例研究、国家試験対策授業を通して、保健理療についての専門的な知識、技術などを深化・総合化する。

②保健理療に関する課題を発見し、あん摩マッサージ指圧師として解決策を探求し、科学的根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。

③カンファレンス、研究発表会を通して、課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、適切かつ合理的な施術に主体的かつ協同的に取り組む態度を養う。

【評価の観点】

①保健理療についての専門的で深い知識・技術が総合的に身についている。

②課題に対し科学的根拠に基づいて解決できる。

③自ら新しい知識を取り入れる態度が身についている。

④チームで協同的に課題を解決する態度が身についている。

学 期： 1

月： 4～7

時 間 数： 26

単 元 名： 症例研究

単元目標： カンファレンス等を通して協同的に科学的根拠に基づいた治療を組み立てることができる。

学習内容：

1. POSに基づく臨床実習
2. POMR、SOAPを用いたカルテの記録法
3. 疾患、治療法等について調べ学習
4. カンファレンス
5. 症例報告書の作成準備

評 価：

学 期： 2

月： 9～12

時 間 数： 28

単 元 名： 症例報告会の計画と実施

時 数： 16

単元目標： 症例研究の内容をまとめ、症例報告会で発表し、討議・意見交換ができる。

学習内容：

1. 症例報告書の作成
2. 症例報告会に向けた討議・意見交換
3. 症例報告会の計画・実施
4. 症例報告会の振り返り

評 価：

単 元 名： 国家試験対策

時 数： 12

単元目標： あん摩マッサージ指圧師の国家資格取得に向け、練習問題を用いて必須となる知識の定着度を確認する中で、自らの課題を発見し主体的に解決できる力を養う。

学習内容

1. 国家試験の出題基準、傾向、重要事項確認
2. 国家試験過去問により課題発見
3. 復習

評 価：

学 期 : 3
月 : 1 ~ 3
時 間 数 : 16

単 元 名 : 国家試験対策

時 数 : 16

単元目標 : あん摩マッサージ指圧師の国家資格取得に向け、練習問題を用いて必須となる知識の定着度を確認する中で、自らの課題を発見し主体的に解決できる力を養う。

学習内容

1. 国家試験の出題基準、傾向、重要事項確認
 2. 国家試験過去問により課題発見
 3. 復習
- 評 価 :

2025（令和7）年度 年間指導計画

学部学年： 高等部専攻科保健理療科3年
科 目： 理療臨床実習（理療臨床実習）
単 位 数： 12単位
総 時 数： 420時間
担 当 者：

【科目の目標】

- ①臨床に必要な知識・技術を身につける。
- ②臨床上の課題を発見し、職業倫理を踏まえて合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- ③臨床実習を通して、地域や社会を支えるあん摩マッサージ指圧師を目指して自ら学び、適切かつ合理的な施術に主体的かつ協同的に取り組む態度を養う。

【評価の観点】

- ①衛生
- ②安全
- ③接遇
- ④報告
- ⑤病体把握
- ⑥知識・技術
- ⑦記録（カルテ）

【備考】

臨床実習当日は、上記担当教員のうち2名で指導に当たる。

学 期： 1学期
月 ： 4月～7月
時 間 数： 156時間

単 元 名：臨床実習の実際
単元目標：

- ①臨床上の基本的な知識・技術を実践する。
- ②臨床上の課題を発見し、基本的な知識・技術を活用し、合理的に解決する力を養う。
- ③臨床実習に主体的かつ協同的に取り組む。

学習内容：

- ①治療室の衛生管理の実践
- ②治療器具の管理の実践
- ③カルテを活用した継続的治療の実践
- ④患者情報の共有の実践
- ⑤患者への接遇の実践
- ⑥基本的な病体把握、治療方針の組み立て
- ⑦教員の指導の下施術補助
- ⑧カルテ記入
- ⑨教員および生徒同士振り返り
- ⑩校外臨床実習

評 価

学 期： 2学期
月 ： 9月～12月
単 元 名：臨床実習の実際
時 間 数： 168時間

単元目標：

- ①臨床上の応用的な知識・技術を実践する。
- ②臨床上の課題を発見し、応用的な知識・技術を活用し、合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- ③地域や社会を支えるあん摩マッサージ指圧師を目指して自ら学び続ける態度を養う。

学習内容：

- ①治療室の衛生管理の実践
- ②治療器具の管理の実践
- ③カルテを活用した継続的治療の実践
- ④患者情報の共有の実践
- ⑤患者への接遇の実践
- ⑥具体的な病体把握、応用的な治療方針の組み立て
- ⑦教員の指導の下施術補助
- ⑧カルテ記入
- ⑨教員および生徒同士振り返り
- ⑩治療方法の自己学習
- ⑪校外臨床実習

評 価

学 期： 3 学期
月 ： 1 月～ 3 月
時 間 数： 96時間

単 元 名：国家試験対策
単元目標：国家試験に合格する知識を身につける。
学習内容：国家試験過去問による傾向と対策

評 価

2025（令和7）年度 年間指導計画

学部学年： 高等部専攻科理療科 1 年
科 目： 科学的思考の基盤・人間と生活（社会福祉）
単 位 数： 1単位
総 時 数： 35時間
担 当 者：

【科目の目標】

- ①福祉制度や視覚障害者を取り巻く社会環境について体系的・多面的に理解する。
- ②障害の原因や学習・生活を支援するツールについて正しく理解し、自己理解に繋げ自らの課題解決に対応できる力を身につける。
- ③将来のあん摩マッサージ指圧師を想像し適切に目標を定め、より豊かな資質の自己実現に向けた活動を主体的に行える態度を養う。

【評価の観点】

- ①学習した内容を理解できたか。
- ②記憶すべき知識を定着させたか。
- ③学んだ知識を適切に使えるか。
- ④視覚障害について理解が深まったか。

学 期： 1 学期
月 ： 4～7 月
時 間 数： 13時間

単 元 名： 盲学校の沿革
時 数： 2 時間
単元目標： 盲学校創設・校可の歌詞に込められた先人の思いを知る。
学習内容： 1. 高橋福治先生のラジオ番組視聴
2. 中村文先生の創立記念日講演視聴
評 価：

単 元 名： 視覚障害支援
時 数： 11時間
単元目標： 視覚障害者の歩行・生活環境を知り、支援機器・社会資源を活用することで豊かに生活できることを理解する。
学習内容： 1. 視覚障害者の歩行（手引き歩行・白杖歩行）
2. 視覚障害者の A D L（日常生活上の配慮）
3. 視覚障害者の支援機器（ブレイクストークの操作）
4. 視覚障害者の読書環境（視覚障害者情報総合ネットワーク「サピエ図書館」）
評 価：

学 期： 2 学期
月 ： 9～12 月
時 間 数： 14時間

単 元 名： 視覚障害者の社会参加
時 数： 14時間
単元目標： 魅力的な生き方をしている視覚障害者の生活を通して、自らの将来に希望をもつ。
学習内容： 1. 中村文先生の番組視聴（沖縄テレビ「大切なことは目に見えない」）
2. ラジオ第2放送の「視覚障害ナビラジオ」の視聴
3. 視覚障害者を取り巻く福祉制度や関連する福祉サービス等について
評 価：

学 期： 3 学期
月 ： 1～3 月
時 間 数： 8 時間

単 元 名： 視覚障害の病理
時 数： 8 時間
単元目標： 眼の構造と機能・視覚障害の病理を知り、眼疾患との付き合い方・日常生活上の配慮

事項を理解する。

学習内容： 1. 眼の構造（眼球の外膜・中膜・内膜、通光装置）
2. 眼の機能（遠近調節、明るさの調節、視野と視力、眼球運動）
3. 眼の病理（白内障、緑内障、網膜剥離、網膜色素変性症）

評 価：

2025(令和7)年度 年間指導計画

学部学年： 高等部専攻科理療科 1 年
科 目： 科学的思考の基盤・人間と生活（表現方法論）
単 位 数： 2単位
総 時 数： 70時間
担 当 者：

【科目の目標】

- ①コミュニケーション技術を体系的・系統的に理解する。
- ②学んだスキルを医療面接に応用できる力を身につける。
- ③視覚障害者にとっての点字の意義を理解して合理的且つ創造的に習得する。
- ④地域や社会を支えるあん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゅう師として、豊かなコミュニケーションを育む態度を養う。

【評価の観点】

- ①学習したコミュニケーション技術の内容が理解できたか。
- ②医療従事者としてのコミュニケーションについて想像することができたか。
- ③点字について理解できたか。
- ④学んだ知識を適切に使えるか。

学 期： 1 学期

月： 4～7 月

時 間 数： 26時間

単 元 名： 点字の基礎と応用

単元目標： 1. 視覚障害の文字の歴史を理解する。

2. 点字表記の法則性を理解する。

3. 点字の読み書きを習得する。

学習内容： 1. 視覚障害者の文字としての点字の意義と歴史。

2. 五十音・濁音・拗音・数字・アルファベット・特殊記号。

3. 点字の分かち書き

4. 点字競技会に向けた反復練習。

評 価：

学 期： 2 学期

月： 9～12 月

時 間 数： 28時間

単 元 名： コミュニケーション概論（医療面接をめざして）

単元目標： 1. 言語的、準言語的、非言語的コミュニケーションについて理解する。

2. 聞き方（アクティブリスニング）を理解する。

3. 話し方（声の出し方・敬語・ストローク）を理解する。

学習内容： 1. コミュニケーションの概論

2. 聞き方

3. 話し方

評 価：

学 期： 3 学期

月： 1～3 月

時 間 数： 16時間

単 元 名： コミュニケーション概論（医療面接をめざして）

単元目標： 1. 話し方の技法を理解する。

2. 臨床でのコミュニケーションを習得する。

学習内容： 3. 話し方（続き）

4. 臨床でのコミュニケーション

評 価：

2025(令和7)年度 年間指導計画

学部学年： 高等部専攻科理療科 1 年
科 目： 人体の構造と機能（解剖学）
単 位 数： 6単位
総時数： 210時間
担 当 者：

【科目の目標】

- ①自らの体をもとに、各单元について体系的・系統的に理解することが出来る。
- ②人体の系統別構造を標本や模型を活用し、主体的かつ協動的に取り組むことが出来る。
- ③人体の系統別構造に関する課題を発見し、身近な生命現象と関連付けながら合理的かつ創造的に解決することが出来る。

【評価の観点】

- ①学習した内容を理解できたか
- ②記憶すべき知識を定着させたか
- ③学んだ知識を適切に使えるか
- ④国家試験合格に向けた学習の手がかりをつかむことができたか

学 期： 1
月 ： 4～7
時 間 数： 78
単 元 名： 第1章 解剖学基礎
時 数： 6
単元目標： 解剖学を学ぶに当たっての基礎的な事項を理解する。
学習内容：

1. 解剖学
 - 1) 解剖学の意義
 - 2) 解剖学の分類
2. 人体の構成
 - 1) 人体構成の概要
 - 2) 細胞
 - 3) 組織
 - 4) 器官と器官系
 - 5) 人体の発生
3. 解剖学的用語
 - 1) 人体の区分
 - 2) 人体の方向と位置を示す用語

単 元 名： 第2章 骨格系
時 数： 34
単元目標： 骨の一般、人体を構成する骨、それぞれの部位における骨の連結を理解し、骨の突出部、隆起部、陥凹部など可能な部位においては、体表から観察できるようにする。
学習内容：

1. 骨の一般
 - 1) 骨の役割
 - 2) 骨の数
 - 3) 骨の形状
 - 4) 骨の構造と化学的性状
 - 5) 骨の発生と成長
2. 人体各部の骨格
 - 1) 頭蓋
 - 2) 脊柱
 - 3) 胸郭
 - 4) 上肢の骨
 - 5) 下肢の骨
 - 6) 骨盤
3. 骨の連結
 - 1) 連結の種類
 - 2) 関節の構造
 - 3) 関節の分類
 - 4) 関節の運動
 - 5) 人体各部の主要関節

単 元 名：第3章 筋系

時 数：25

単元目標：筋の一般、人体を構成する筋を理解し、筋や腱など可能な部位においては体表から観察できるようにする。

学習内容：1. 筋の生理作用
2. 筋の分類
3. 筋の名称
4. 筋の補助装置
5. 筋の作用
6. 筋の神経
7. 人体各部の筋
1) 頭部の筋
2) 頸筋
3) 胸筋
4) 腹筋
5) 背筋
6) 上肢の筋
7) 下肢の筋

単 元 名：運動学の基礎

時 数：13

単元目標：体の運動の基本的な仕組み・関節の種類、各関節の可動域、筋収縮の様式について理解する。

学習内容：1. 上肢の運動
1) 上肢帯
2) 肩関節
3) 肘関節と前腕
4) 手関節と手指
2. 下肢の運動
1) 下肢帯（仙腸関節）
2) 股関節
3) 膝関節
4) 足関節と足趾
3. 脊柱と胸郭の運動

評 価：

学 期：2

月 月：9～12

時 間 数：84

単 元 名：第4章 内臓系

時 数：44

単元目標：内臓の一般をはじめ、消化器・呼吸器・泌尿器・生殖器・内分泌の形態と構造及び体内の位置について理解し、顎下腺、甲状軟骨、甲状腺など可能な部位においては、体表から観察できるようにする。

学習内容：1. 内臓の一般構造
1) 中空性臓器
2) 実質性臓器
2. 消化器系
1) 口腔
2) 咽頭
3) 食道
4) 胃
5) 小腸
6) 大腸
7) 肝臓
8) 胆嚢
9) 膵臓
3. 呼吸器系
1) 鼻腔
2) 副鼻腔
3) 咽頭
4) 喉頭
5) 気管と気管支

- 6) 肺
- 4. 泌尿器系
 - 1) 腎臓
 - 2) 尿管
 - 3) 膀胱
 - 4) 尿道
- 5. 生殖器系
 - 1) 男性生殖器
 - 2) 女性生殖器
- 6. 内分泌系
 - 1) 下垂体
 - 2) 松果体
 - 3) 甲状腺
 - 4) 上皮小体
 - 5) 副腎
 - 6) 脾臓のランゲルハンス島

単 元 名： 第5章 脈管系

時 数： 2 6

単元目標：循環器の形態と構造及び体内の位置について理解し、皮静脈、リンパ節など可能な部位においては、体表から拍動部位を観察できるようにする。

- 学習内容：
- 1. 血管系
 - 1) 心臓
 - 2) 肺循環と体循環
 - 3) 動脈系
 - 4) 静脈系
 - 5) 胎児循環
 - 2. リンパ系
 - 1) リンパ管
 - 2) リンパ節
 - 3) 脾臓
 - 4) 胸腺
 - 5) 血液と血球

単 元 名： 第6章 神経系

時 数： 1 4

単元目標：神経の形態と構造及び体内の位置について理解し、末梢神経が体表近くを走行する部位など可能な部位においては、体表から観察できるようにする。

- 学習内容：
- 1. 神経系の構成
 - 2. 中枢神経系
 - 1) 脊髄
 - 2) 延髄と橋
 - 3) 小脳
 - 4) 中脳
 - 5) 間脳
 - 6) 大脳半球
 - 7) 脳室系
 - 8) 髄膜と脳脊髄液
 - 9) 脳の血管

評 価：

学 期： 3

月 数： 1～3

時 間 数： 4 8

単 元 名： 第6章 神経系（続き）

時 数： 2 8

単元目標：神経の形態と構造及び体内の位置について理解し、末梢神経が体表近くを走行する部位など可能な部位においては、体表から観察できるようにする。

- 学習内容：
- 3. 末梢神経系
 - 1) 脳神経
 - 2) 脊髄神経
 - 3) 自律神経
 - 4. 伝導路

- 1) 反射路
- 2) 求心性 (感覚性) 伝導路
- 3) 遠心性 (運動性) 伝導路

単 元 名: 第7章 感覚器系

時 数: 20

単元目標: 感覚器の形態と構造及び体内の位置について理解し、外耳、舌、眼球など可能な部位においては、体表から観察できるようにする。

学習内容: 1. 視覚器
2. 平衡聴覚器
3. 味覚器
4. 嗅覚器
5. 皮膚

評 価:

2025(令和7)年度 年間指導計画

学部学年： 高等部専攻科理療科 1 年
科 目： 人体の構造と機能（体表解剖学）
単 位 数： 1単位
総 時 数： 35時間
担 当 者：

【科目の目標】

- ①あん摩マッサージ指圧師に必要な人体の構造と機能について体表観察を通じて興味を持たせ、学習意欲を促進させる。
- ②人体の構造と機能について、地域や社会を支えるあん摩マッサージ指圧師を目指して自ら学び、適切かつ合理的な施術に主体的かつ協同的に取り組む態度を養う。

【評価の観点】

- ①人体の構造と機能について基礎的な知識・触察技術が身についている。
- ②基礎的な知識・触察技術を活用し、個人差、姿勢の変化等を踏まえた応用的な思考・判断力が身についている。
- ③適切かつ合理的な施術に必要な体表観察について、主体的かつ協同的に取り組む態度が身についている。

学 期： 1
月 月： 4～7
時 間 数： 13
単 元 名： 筋の観察
時 間 数： 13
単元目標： 人体を構成する筋を理解し、骨格を手がかりに筋や腱など可能な部位においては体表から観察できるようにする。
学習内容： ①浅背筋（僧帽筋）
②浅背筋（広背筋）
③腹臥位で触知できる筋（僧帽筋、広背筋、三角筋）
④腹臥位で触知できる筋（臀部筋（大殿筋、中殿筋、大腿二頭筋）
⑤腹臥位で触知できる筋（半腱半膜様筋、下腿三頭筋）
⑥腹臥位で触知できる筋（上腕三頭筋、前腕伸筋群）
⑦頸部の筋（斜角筋、胸鎖乳突筋）
⑧動脈拍動部（側頭動脈、顔面動脈、総頸動脈、腋窩動脈、上腕動脈、
橈骨動脈、大腿動脈、膝下動脈、後脛骨動脈、足背動脈）
⑨仰臥位で触知できる筋（大胸筋、小胸筋）
⑩仰臥位で触知できる筋（腹直筋、外腹斜筋、前鋸筋）
⑪仰臥位で触知できる筋（大腿四頭筋、内転筋）
⑫仰臥位で触知できる筋（前脛骨筋、後脛骨筋、腓骨筋）
⑬仰臥位で触知できる筋（上腕二頭筋、腕橈骨筋、前腕屈筋群）

評 価：

学 期： 2
月 月： 9～12
時 間 数： 14
単 元 名： 運動学の基礎
時 間 数： 14
単元目標： 体の運動の基本的な仕組み・関節の種類、各関節の可動域、筋収縮の様式について理解する。
学習内容： 1. 上肢の運動
①上肢帯
②肩関節
③肘関節と前腕
④手関節と手指
2. 下肢の運動
①下肢帯（仙腸関節）
②股関節
③膝関節
④足関節と足趾
3. 脊柱と胸郭の運動

評 価：

学 期： 3
月： 1～3

時 間 数： 8

単 元 名： 施術における筋の触察

時 数： 8

単元目標： 筋の一般、人体を構成する筋を理解し、筋や腱など可能な部位においては体表から観察できるようにする。

学習内容： ①施術で必要な頸部の筋 (後頭下筋群、板状筋)
②施術で必要な肩上部筋 (棘上筋、棘下筋、肩甲挙筋)
③施術で必要な背中の筋 (脊柱起立筋)
④施術で必要な背中の筋② (菱形筋、大円筋、小円筋)
⑤施術で必要な腰の筋 (多裂筋、腰方形筋)
⑥施術で必要な腹部の筋 (大腰筋、腸骨筋)
⑦施術で必要な下肢の筋 (薄筋、縫工筋)
⑧施術で必要な手の筋 (母指外転筋、橈骨手根屈筋、尺側手根屈筋)

評 価：

2025（令和7）年度 年間指導計画

学部学年： 高等部専攻科理療科 1 年
科 目： 人体の構造と機能（生理学）
単 位 数： 5単位
総 時 数： 175時間
担 当 者：

【科目の目標】

- ①施術を行うために必要な人体の構造と機能について体系的・系統的に理解する。
- ②人体の構造と機能に関する課題を発見し、あはき師としての職業倫理を踏まえて合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- ③地域や社会を支えるあはき師を目指して自ら学び、適切な施術に主体的に取り組む態度を養う。

【評価の観点】

- ①学習した内容を理解できたか。
- ②記憶すべき知識を定着させたか。
- ③学んだ知識を適切に使えるか。
- ④国家試験合格に向けた学習の手がかりをつかむことができたか。

学 期： 1 学期
月 ： 4～7 月
時 間 数： 65時間

単 元 名： 生理学の基礎
時 数： 10時間
単元目標： 生理学が人体の生命現象を対象とした人体生理学であることを理解する。

学習内容： ① 生理学の特徴
② 細胞の構造と働き
③ 物質代謝の仕組み
④ 体液の組成と働き
⑤ 物質の移動

評 価：

単 元 名： 血液
時 数： 10時間
単元目標： 血液の各成分とその作用について理解する。
学習内容： ① 組成と働き（赤血球、白血球、血小板、血漿）
② 血液凝固の仕組み
③ 血液型（ＡＢＯ式、ＲＨ式）

評 価：

単 元 名： 循環
時 数： 20時間
単元目標： 循環が生命維持の上で最も重要な機能であることを理解する。
学習内容： ① 心臓血管系（体循環と肺循環）
② 心臓（構造、心筋、刺激伝導系、心機能の調節、心電図）
③ 血管系の構造と働き（動脈、毛細血管、静脈、血流）
④ 血圧（測定、最高・最低血圧、血圧上昇の因子）
⑤ 循環の調節（仕組み、中枢、反射性調節）
⑥ 特殊な部位の循環（冠状、肺、肝、脾、脳、皮膚）
⑦ リンパ系（機能、組成、輸送）

評 価：

単 元 名： 呼吸
時 数： 8 時間
単元目標： 呼吸が生命維持の上で最も重要な機能であることを理解する。
学習内容： ① 呼吸器系の構造と働き（気道、肺胞、胸郭）
② 呼吸運動（吸息、呼息、胸腔内圧）
③ 肺機能（肺気量、呼吸数、肺胞換気量）
④ ガス交換と運搬（肺・組織のガス交換、血液のガス運搬）
⑤ 呼吸運動の調節（中枢、反射性調節）

評 価:

単 元 名: 消化と吸収

時 数: 17時間

単元目標: 消化と吸収が順調に進行するために備わっている機序を理解する。

学習内容: ① 消化器系の構造と機能 (消化管、付属器官)
② 口腔内の消化 (咀嚼、嚥下、唾液)
③ 胃内の消化 (胃運動、胃液)
④ 小腸内の消化 (小腸運動、膵液、胆汁、腸液、吸収)
⑤ 大腸内の消化 (大腸運動、分泌機能、腸内細菌)
⑥ 直腸・肛門と排便
⑦ 消化管ホルモン
⑧ 肝臓の機能

評 価:

学 期: 2 学期

月 : 9~12月

時 間 数: 70時間

単 元 名: 栄養と代謝

時 数: 6 時間

単元目標: 各栄養素の作用及び代謝を理解する。

学習内容: ① 栄養素とエネルギー代謝 (栄養素、基礎代謝)
② 三大栄養素の働きと代謝 (糖質、脂質、蛋白質)
③ ビタミン、無機質、水

評 価:

単 元 名: 体温

時 数: 6 時間

単元目標: 体温が一定に保たれている仕組みを理解する。

学習内容: ① 体温の部位差と変動 (核心温度と外郭温度、体温の変動)
② 体熱の産生と放散の仕組み
③ 体温調節の仕組み (中枢、調節反応)

評 価:

単 元 名: 排泄

時 数: 6 時間

単元目標: 体液の量や組成が一定に保たれる仕組みを理解する。

学習内容: ① 腎臓の構造と機能 (腎循環、糸球体、尿細管、腎機能測定)
② 尿の組成
③ 蓄尿と排尿 (尿管、膀胱、神経支配、蓄尿と排尿)

評 価:

単 元 名: 内分泌

時 数: 10時間

単元目標: 生体の各器官の機能を協調的に調節する機構を理解する。

学習内容: ① ホルモンの一般的性質 (内分泌腺、作用機序、分泌調節)
② 各内分泌腺の機能 (下垂体、甲状腺、副甲状腺、膵臓、副腎、精巣、卵巣、その他のホルモン)

評 価:

単 元 名: 生殖・生長

時 数: 6 時間

単元目標: 男性及び女性の生殖器の機能を構造と関連付けて理解する。

学習内容: ① 男性生殖器の構造と機能 (精子形成、性反射)
② 女性生殖器の構造と機能 (卵子形成、性周期)
③ 妊娠 (妊娠、胎児の発育、分娩、乳汁分泌)

評 価:

単 元 名: 神経

時 数: 15時間

単元目標: 生体の各器官の働きを調節する重要な機能をもつものであることを理解する。

学習内容: ① 神経系とは (中枢神経系、末梢神経系)
② ニューロンの構造と機能

- ③ 神経線維の興奮と伝導
- ④ 興奮の伝達（シナプスの機能、神経伝達物質）
- ⑤ 受容体
- ⑥ 末梢神経系（分類、機能）

評 価:

単 元 名: 中枢神経系

時 数: 13時間

単元目標: 身体の種々の機能の統合に重要な役割を果たすことを理解する。

- 学習内容:
- ① 分類
 - ② 統合機能（反射）
 - ③ 脊髄の機能（ベル・マジャンディーの法則、脊髄反射、伝導路、ブラウン・セカール症候群）
 - ④ 脳幹の機能（延髄、橋、中脳）
 - ⑤ 間脳の機能（視床、視床下部）
 - ⑥ 小脳の機能
 - ⑦ 大脳の機能（大脳基底核、大脳辺縁系、新皮質、連合野、脳波）
 - ⑧ 脳脊髄液

評 価:

単 元 名: 内臓の自律神経性調節

時 数: 8時間

単元目標: 主として内蔵機能の調節に関わる自律神経について理解する。

- 学習内容:
- ① 自律神経系の特徴（交感神経、副交感神経、調節、神経節）
 - ② 神経伝達物質と受容体
 - ③ 自律神経系の中樞
 - ④ 自律神経反射

評 価:

学 期: 3 学期

月 : 1～3 月

時 間 数: 40時間

単 元 名: 筋

時 数: 8時間

単元目標: 生体のすべての動きが筋の収縮を基本としていることを理解する。

- 学習内容:
- ① 骨格筋の構造と機能（作用、筋繊維、筋原線維、微細構造）
 - ② 筋収縮の仕組み（興奮収縮連関、等張性収縮と等尺性収縮、単収縮と強縮）
 - ③ エネルギー供給の仕組み（エネルギー代謝、熱産生）
 - ④ 心筋と平滑筋の構造と機能

評 価:

単 元 名: 運動

時 数: 13時間

単元目標: 身体の運動の調節の仕組みについて理解する。

- 学習内容:
- ① 骨格筋の神経支配（運動単位、神経筋接合部、筋紡錘と腱受容器、 γ 運動ニューロン）
 - ② 運動の調節（脊髄・脳幹・小脳・大脳基底核・大脳皮質による調節、錐体路系と錐体外路系）

評 価:

単 元 名: 感覚

時 数: 13時間

単元目標: 各感覚器官に共通する基本的性質・働きについて理解する。

- 学習内容:
- ① 感覚の一般（分類、性質、受容器と興奮伝達）
 - ② 体性感覚（皮膚感覚、深部感覚）
 - ③ 内臓感覚（臓器感覚、内蔵痛覚）
 - ④ 痛覚（分類、内因性発痛物質、痛みの抑制系）
 - ⑤ 特殊感覚（味覚、嗅覚、聴覚、平衡感覚、視覚）

評 価:

単 元 名: 生体の防御機構

時 数: 6時間

単元目標： 生体の防御機構について、免疫に関する基礎的事項を理解する。
学習内容： ① 生体の防御機構（非特異的・特異的防御機構、白血球、液性免疫）
② 免疫反応（炎症、アレルギー）
評 価：

2025（令和7）年度 年間指導計画

学部学年： 高等部専攻科理療科 1 年
科 目： 基礎理療学（東洋医学概論）
単 位 数： 3単位
総 時 数： 105時間
担 当 者：

【目標】

この科目は、理療施術の背景となっている長い伝統と経験から成り立っている東洋医学の概念、東洋医学を用いた理療施術の意義及び治効理論について理解し、施術を効果的に行う能力と態度を育てることを目指している。

【評価の観点】

- ①学習した内容の理解
- ②記憶すべき知識の定着
- ③学んだ知識の適切な使用
- ④修得した知識の応用

月 数： 4 月
時 数： 6 時間
単 元 名： 東洋医学の基礎理論
単元目標： ①東洋と西洋の概念の違いを踏まえて特徴を理解する。
②陰陽の概念（互根、可分など）を理解する
③五行の概念（相生、相剋、色体など）を理解する。
学習内容： ①東洋医学の意義と特徴
②陰陽論（相互の関係、陰陽対照）
③五行論（生剋関係・五行色体）
評 価：

月 数： 5 月
時 数： 12 時間
単 元 名： 東洋医学の基礎理論、東洋医学の生理観
単元目標： ①気、血、津液、精、神の作用を理解する。
②臓腑経絡の作用を理解する。
学習内容： ①気、血、津液、精、神
②臓腑
③経絡経穴
評 価：

月 数： 6 月
時 数： 12 時間
単 元 名： 東洋医学の疾病観
単元目標： ①疾病の原因の分類を理解する。
②基本となる証（症状）の分類を理解する。
③気血津液病証の症状の特徴を理解する。
学習内容： ①内因・外因・不内外因
②八綱病証
③気血津液病証
評 価：

月 数： 7 月
時 数： 6 時間
単 元 名： 東洋医学の疾病観
単元目標： ①六臓六腑の症状の特徴を理解する。
学習内容： ①臓腑病証
評 価：

月 数： 9 月
時 数： 12 時間
単 元 名： 東洋医学の疾病観
単元目標： ①十二経絡の症状の特徴を理解する。
②奇経八脈の症状の特徴を理解する。

学習内容: ③六経病証の症状の特徴を理解する。
①正経病証
②奇経病証
③六経病証

評価:

月 : 10月
時数: 12時間

単元名: 四診法 (望聞問切)

単元目標: ①東洋医学における診察法の分類を理解する。
②望診の特徴と項目を色体表と関連させて理解する。
③聞診の特徴と項目を色体表と関連させて理解する。
④問診の特徴と項目を色体表と関連させて理解する。

学習内容: ①望診 (五色)
②聞診 (五音、五声、五香)
③問診 (五味、痺)

評価:

月 : 11月
時数: 12時間

単元名: 四診法

単元目標: ①切診の分類 (脈診、腹診、候背診、切経) と特徴を理解する。
②脈診の分類 (脈状、七表、八裏など) と部位や方法を理解する

学習内容: ①切診 (脈診)

評価:

月 : 12月
時数: 6時間

単元名: 四診法

単元目標: ①腹診の意義と分類を理解する。
②候背診の意義と分類を理解する。
③切経の意義と分類を理解する。

学習内容: ①腹診
②候背診
③切経)

評価:

月 : 1月
時数: 9時間

単元名: 治療論

単元目標: ①東洋医学の証の建て方を理解する。
②治療の概要 (標本同治、補虚瀉実など) を理解する。
③鍼による補瀉の手技を理解する。
④灸による補瀉の手技を理解する。

学習内容: ①治療の概要 (標本同治、補虚瀉実、先表後裏、人・時・地に対応など)
②鍼治療の補瀉
③灸治療の補瀉

評価:

月 : 2月
時数: 12時間

単元名: 治療論

単元目標: ①難経六十九難の補瀉の考え方、経穴の選択を理解する。
②難経六十九難と五行穴の関連を理解する。
③古代九鍼の特徴と分類と現在の鍼との共通性を理解する。
④古代刺法のそれぞれの特徴と古代九鍼や色体表との関連を理解する。

学習内容: ①難経六十九難による治療 (補虚瀉実)
②古代九鍼
③古代刺法 (九変、十二節、五臓)

評価:

月 : 3月
時数: 6時間

単元名: 学習のまとめ

単元目標：①国家試験の傾向を解説する
学習内容：①国家試験の出題方式の解説
②国家試験の出題傾向の解説
評 価：

2025（令和7）年度 年間指導計画

学部学年： 高等部専攻科理療科1年
科 目： 基礎理療学（経絡経穴概論）
単 位 数： 3単位
総 時 数： 105時間
担 当 者：

【科目の目標】

①経絡経穴の基礎について体系的・系統的に理解するとともに、関連する基礎的な技術を身につけるようにする。

②経絡経穴に関する課題を発見し、あん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゅう師としての職業倫理を踏まえて合理的かつ創造的に解決する力を養う。

③経絡経穴について、地域や社会を支えるあん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゅう師を目指して自ら学び、適切かつ効果的な施術に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

【評価の観点】

①経絡経穴の基礎的な知識・技術が身についている。

②解剖学と関連付けて身体構造を理解している。

③個人差に応じた経穴部位が判断できる。

④経絡経穴について東洋医学、現代科学の両面から学び、効果的な施術に取り組む態度が身についている。

学 期： 1学期
月 月： 4～7月
時 間 数： 39時間

単 元 名： 経絡・経穴の基礎
時 数： 9時間

単元目標： 1. 東洋医学の概要、経絡・経穴の役割を理解する。
2. 取穴の考え方と、その際に用いられる解剖学的用語を理解する。

学習内容： 1. 経絡・経穴の誕生
2. 臓腑の概要
3. 経絡の概要
4. 経穴の概要

評 価：

単 元 名： 経脈・経穴

時 数： 6時間

単元目標： 経脈の流注、所属経穴の部位、取り方、解剖を理解し、取穴できる。

学習内容： 督脈28穴

評 価：

単 元 名： 経脈・経穴

時 数： 6時間

単元目標： 経脈の流注、所属経穴の部位、取り方、解剖を理解し、取穴できる。

学習内容： 任脈24穴

評 価：

単 元 名： 経脈・経穴

時 数： 3時間

単元目標： 経脈の流注、所属経穴の部位、取り方、解剖を理解し、取穴できる。

学習内容： 手の太陰肺経11穴

評 価：

単 元 名： 経脈・経穴

時 数： 5時間

単元目標： 経脈の流注、所属経穴の部位、取り方、解剖を理解し、取穴できる。

学習内容： 手の陽明大腸経20穴

評 価：

単 元 名： 経脈・経穴

時 数： 10時間

単元目標：経脈の流注、所属経穴の部位、取り方、解剖を理解し、取穴できる。
学習内容：足の陽明胃経45穴
評価：

学 期：2学期
月：9～12月
時間数：42時間

単元名：経脈・経穴
時 数：5時間
単元目標：経脈の流注、所属経穴の部位、取り方、解剖を理解し、取穴できる。
学習内容：足の太陰脾経21穴
評価：

単元名：経脈・経穴
時 数：2時間
単元目標：経脈の流注、所属経穴の部位、取り方、解剖を理解し、取穴できる。
学習内容：手の少陰心経9穴
評価：

単元名：経脈・経穴
時 数：5時間
単元目標：経脈の流注、所属経穴の部位、取り方、解剖を理解し、取穴できる。
学習内容：手の太陽小腸経19穴
評価：

単元名：経脈・経穴
時 数：12時間
単元目標：経脈の流注、所属経穴の部位、取り方、解剖を理解し、取穴できる。
学習内容：足の太陽膀胱経67穴
評価：

単元名：経脈・経穴
時 数：6時間
単元目標：経脈の流注、所属経穴の部位、取り方、解剖を理解し、取穴できる。
学習内容：足の少陰腎経27穴
評価：

単元名：経脈・経穴
時 数：2時間
単元目標：経脈の流注、所属経穴の部位、取り方、解剖を理解し、取穴できる。
学習内容：手の厥陰心包経9穴
評価：

単元名：経脈・経穴
時 数：5時間
単元目標：経脈の流注、所属経穴の部位、取り方、解剖を理解し、取穴できる。
学習内容：手の少陽三焦経23穴
評価：

単元名：経脈・経穴
時 数：5時間
単元目標：経脈の流注、所属経穴の部位、取り方、解剖を理解し、取穴できる。
学習内容：足の少陽胆経44穴（前半）
評価：

学 期：3学期
月：1～3月
時間数：24時間

単元名：経脈・経穴
時 数：5時間

単元目標：経脈の流注、所属経穴の部位、取り方、解剖を理解し、取穴できる。
学習内容：足の少陽胆経44穴（後半）
評価：

単元名：経脈・経穴
時数：4時間
単元目標：経脈の流注、所属経穴の部位、取り方、解剖を理解し、取穴できる。
学習内容：足の厥陰肝経14穴
評価：

単元名：奇経八脈
時数：3時間
単元目標：経脈の流注、関連する経穴、?穴、八脈交会穴を理解する。
学習内容：1. 衝脈
2. 帶脈
3. 陽?脈
4. 陰?脈
5. 陽維脈
6. 陰維脈
評価：

単元名：奇穴・よく知られている経穴の組み合わせ
時数：9時間
単元目標：取り方、主治を理解し、取穴できる。
学習内容：奇穴32穴、よく知られている経穴の組み合わせ4例
評価：

単元名：経絡・経穴の現代的研究
時数：3時間
単元目標：経絡や経穴に関する科学的研究の現状を理解する。
学習内容：1. 経絡現象
2. 経穴の概念と現代科学的研究
評価：

2025（令和7）年度 年間指導計画

学部学年： 高等部専攻科理療科1年
科 目： 理療基礎実習（あん摩実技）
単 位 数： 4単位
総 時 数： 140時間
担 当 者：

【科目の目標】

- ①施術に必要な衛生・安全管理及びあん摩の基礎的な実技についてに理解し、関連する技術を身につける。
- ②あん摩の基礎的な実技についての課題を発見し、臨床で求められる技術の習熟度と関連付け、職業倫理を踏まえて合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- ③あん摩の基礎的な実技について自ら学び、臨床で求められる基礎実技の習熟を目指して主体的・協働的に取り組む態度を養う。

【評価の観点】

- ①あん摩施術の基礎的な知識・技術が身についている。
- ②解剖学と関連付けて身体の構造を理解している。
- ③個人の体格、感受性に応じた手技の選択ができる。
- ④医療従事者として適切な態度が身についている。
- ⑤積極的、協働的な授業態度で臨んでいる。

学 期： 1学期
月 月： 4～8月
時 間 数： 52時間

単 元 名： あん摩施術への導入

時 数： 2時間

単元目標： あん摩施術の意義、役割、施術上の注意を理解する。

学習内容： 1. 施設・設備の管理の実際
2. 衛生上の管理と清潔保持の実際（手洗い、消毒方法等）
3. 施術用具の管理と取扱いの実際
4. 施術に必要なリスク管理の実際と施術過誤の実態

評 価：

単 元 名： あん摩の基本練習

時 数： 8時間

単元目標： あん摩施術における基本的な身体の使い方を理解し、身につける。

学習内容： 基本練習（ベッド及び被施術者との距離感覚、指立て、重心移動）

評 価：

単 元 名： あん摩の基本手技

時 数： 10時間

単元目標： あん摩の基本手技を理解し、身につける。

学習内容： 基本手技（軽擦法、圧迫法、揉捏法、叩打法、曲手、振せん法、運動法）

評 価：

単 元 名： 身体各部位の施術

時 数： 16時間

単元目標： 施術部位を理解し、術式を身につける。

学習内容： 施術部位の触察、左側臥位でのあん摩（肩上部、上肢部）

評 価：

単 元 名： 身体各部位の施術

時 数： 16時間

単元目標： 施術部位を理解し、術式を身につける。

学習内容： 施術部位の触察、左側臥位でのあん摩（頭頸部、背腰部）

評 価：

学 期： 2学期
月 月： 9～12月

時 間 数 : 56時間

単 元 名 : 身体各部位の施術

時 間 数 : 16時間

単元目標 : 施術部位を理解し、術式を身につける。

学習内容 : 施術部位の触察、左側臥位でのあん摩（殿部、下肢部）

評 価 :

単 元 名 : 身体各部位の施術

時 間 数 : 16時間

単元目標 : 施術部位を理解し、術式を身につける。

学習内容 : 施術部位の触察、右側臥位でのあん摩（全身）

評 価 :

単 元 名 : 身体各部位の施術

時 間 数 : 8時間

単元目標 : 施術部位を理解し、術式を身につける。

学習内容 : 伏臥位でのあん摩（肩上部、頭頸部、背腰部）

評 価 :

単 元 名 : 身体各部位の施術

時 間 数 : 8時間

単元目標 : 施術部位を理解し、術式を身につける。

学習内容 : 施術部位の触察、伏臥位でのあん摩（殿部、下肢部）

評 価 :

単 元 名 : 身体各部位の施術

時 間 数 : 8時間

単元目標 : 施術部位を理解し、術式を身につける。

学習内容 : 施術部位の触察、伏臥位でのあん摩（全身）

評 価 :

学 期 : 3学期

月 : 1～3月

時 間 数 : 32時間

単 元 名 : 身体各部位の施術

時 間 数 : 4時間

単元目標 : 施術部位を理解し、術式を身につける。

学習内容 : 施術部位の触察、按腹

評 価 :

単 元 名 : 身体各部位の施術

時 間 数 : 8時間

単元目標 : 施術部位を理解し、術式を身につける。

学習内容 : 施術部位の触察、坐位でのあん摩（肩上部、背腰部）

評 価 :

単 元 名 : 身体各部位の施術

時 間 数 : 8時間

単元目標 : 施術部位を理解し、術式を身につける。

学習内容 : 施術部位の触察、坐位でのあん摩（頭頸部、上肢部）

評 価 :

単 元 名 : 身体各部位の施術

時 間 数 : 12時間

単元目標 : 施術部位を理解し、術式を身につける。

学習内容 : 施術部位の触察、坐位でのあん摩（上半身全部）

評 価 :

2025（令和7）年度 年間指導計画

学部学年： 高等部専攻科理療科1年
科 目： 理療基礎実習（はり実技）
単 位 数： 4単位
総 時 数： 140時間
担 当 者：

【科目の目的】

理療に関する実地的な知識と基礎的な技術を習得させ、施術を適切かつ効果的に行う能力と態度を育てる。この科目は、理療施術の導入として、施術者としての基本的な態度・習慣を身に付けることと、はりの実技の基本を確実に身に付けることを目指している。また、臨床実習への導入の段階では、代表的な症状や疾患に対する施術が、評価と理論に基づいて、応用療法とともに、適切に行うことができるようにするための基礎的・基本的技能の育成を目指している。

【評価の観点】

- ①施術の強さ、位置、角度、リズム
- ②ツボをきちんととらえているか
- ③医療従事者として適切な態度、姿勢
- ④授業への参加意欲

4 月

単元名 施術室の管理と清潔保持の実際
時間数 1 2

単元の目標

はりの施術を行う上で基本となる施術室の管理と清潔保持の態度及び施術上注意すべき事項について学ぶ。また、施術者としての心構え、患者等に対する接し方の基本についても学習する。

学習内容

以下の事項を中心に学ぶ。

- ①施設・設備の管理の実際
- ②衛生上の管理と清潔保持の実際
- ③施術用具の管理と取扱いの実際

評価

5 月

単元名 施術上の注意
時間数 1 6

単元の目標

はりの施術を行う上で基本となる施術室の管理と清潔保持の態度及び施術上注意すべき事項について学ぶ。また、施術者としての心構え、患者等に対する接し方の基本についても学習する。

学習内容

以下の事項を中心に取り扱う。

- ①施術に必要な消毒及び滅菌の実際
- ②施術に必要なリスク管理の実際と施術過誤の実態

評価

6～7 月

単元名 刺鍼の方法
時間数 2 4

単元の目標

はりの基礎的・基本的事項から刺鍼の応用実技までを幅広く学ぶが、特に、刺鍼の実際においては、銀鍼を使用した指導に重点を置く。取穴を指示した実習では、身体各部の構造的特徴と刺鍼によるリスクを踏まえ、安全で効果的な刺鍼が確実にできるよう、刺入の深さ、方向及び刺激量について学習する。また、不拔鍼、折鍼などの施術過誤への対策についても、その防止策とともに、処置の方法について学ぶ。

学習内容

以下の事項を中心に扱う。

- ①鍼具の取扱いと管理
- ②刺鍼前後における消毒の実際
- ③前揉法と後揉法の実際
- ④押し手と刺し手の実際、
- ⑥管鍼法の実際
- ⑦撚鍼法の実際

⑤両手挿管法と片手挿管法の実際

評価

9～12月

単元名 刺鍼の手技

時間数 56

単元の目標

多様な刺鍼の手技を身につける。

学習内容

以下の事項を中心に学ぶ。

- ①単刺術
- ②雀啄術
- ③旋撚術
- ④置鍼術
- ⑤回旋術
- ⑥間欠術
- ⑦屋漏術
- ⑧振戦術
- ⑨刺鍼転向法
- ⑩その他の刺鍼手技
- ⑪治療点への正しい刺鍼
- ⑫刺鍼に伴うリスクの管理

評価

1～2月

単元名 特殊な鍼法

時間数 28

単元の目標

応用的な特殊鍼法について身に着ける。

学習内容

以下の事項を中心に、リスクを含めて学ぶ。

- ①小児鍼法（皮膚鍼法）
- ②皮内鍼法
- ③散鍼（浅表多鍼術）
- ④低周波鍼通電療法

評価

3月

単元名 1年間の復習

時間数 4

単元の目標

はり実技の復習。

学習内容

今まで学んだ内容の復習を行なう。

評価

2025（令和7）年度 年間指導計画

学部学年： 高等部専攻科理療科 1年
科目： 理療基礎実習（きゅう実技）
単位数： 1単位
総時数： 35時間
担当者：

【科目の目標】

- ①灸施術の基礎について体系的・系統的に理解するとともに、関連する基礎的な技術を身につけられるようにする。
- ②灸施術の基礎に関する課題を発見し、きゅう師としての職業倫理を踏まえて合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- ③灸施術の基礎について、地域や社会を支えるきゅう師を目指して自ら学び、適切かつ効果的な施術に主体的かつ協同的に取り組む態度を養う。

【評価の観点】

- ①灸施術の基礎的な知識・技術が身についている。
- ②灸施術の適否の判断及び目的に応じた施灸法の選択ができる。
- ③様々な灸法を学び、自ら積極的に治療に取り入れる態度が身についている。

学 期： 1 学期
月： 4～8 月
時 間 数： 13時間

単 元 名： 灸施術の基礎
時 数： 3 時間
単元目標： 灸施術の定義、適用、リスク管理、艾の品質及び種類と施灸用途を理解する。

学習内容：

1. 灸施術とは
2. 灸施術の適用、リスク管理
3. 艾作り体験
4. 艾の品質、種類
5. 直接灸、間接灸

評 価：

単 元 名： 透熱灸の基礎
時 数： 10時間
単元目標： 透熱灸を行うことができる。

学習内容：

1. 灸用具の使用法
2. 艾炷形成
3. 板上施灸
4. 灸の補・寫
5. 人体への透熱灸施術
6. 電気温灸器を用いた施術

評 価：

学 期： 2 学期
月： 9～12 月
時 間 数： 14時間

単 元 名： 各種施灸法の実践
時 数： 14時間
単元目標： 各種施灸法を行うことができる。

学習内容：

1. 知熱灸
2. 棒灸
3. 押し灸
4. 箱灸
5. 隔物灸
6. 温筒灸

7. 各種温灸器
評 価：

学 期：3 学期
月 ：1 ～ 3 月
時 間 数：8 時間

単 元 名：経穴部位への施灸
時 数：8 時間
単元目標：経穴の効能を理解し施灸することができる。
学習内容：
1. 名灸穴への施灸
評 価：

2025（令和7）年度 年間指導計画

学部学年： 高等部専攻科理療科2年
科目： 科学的思考の基盤・人間と生活（生物）
単位数： 2単位
総時数： 70時間
担当者：

【科目の目標】

- ①生物学の中でも理療との関連性の高い分野である遺伝子学、微生物学、生化学を取り上げ、最新の知見や関連する話題を提供することで、より幅広い知識に裏打ちされたあはき師の育成を目指す。
- ②臨床医学各論で学ぶ各疾患との関連性を理解する。

【評価の観点】

- ①遺伝子学、微生物学、生化学の知識が身に付いている。
- ②各疾患との関連性を思考する力が身についている。
- ③現代医学の進歩に応じて自ら新しい知識を取り入れる態度が身に付いている。

学 期： 1 学期
月： 4～7 月
時 間 数： 26時間

単 元 名： 微生物学、感染症、免疫

時 間 数： 26時間

単元目標： 人類と感染症の関わりを俯瞰し、その予防と対策を理解する。

学習内容：

1. 感染症の基礎知識（人類と感染症、新興感染症と再興感染症、耐性菌の発生）
2. 免疫
3. 感染経路、予防と対策

評 価：

学 期： 2 学期
月： 9～12 月

時 間 数： 28時間

単 元 名： 人類進化と遺伝病

時 間 数： 28時間

単元目標： 人類と遺伝病の関わりについて、進化と気候変動がどのように影響を与えたかを理解する。

学習内容：

1. 人類が選択した遺伝病
2. 気候に適応するための進化
3. 突然変異と進化
4. 老化のプログラミング

評 価：

学 期： 3 学期
月： 1～3 月

時 間 数： 16時間

単 元 名： 微生物学、生化学

時 間 数： 16時間

単元目標： 人類がどのように微生物と共生を図ってきたかについて理解する。

学習内容：

1. 腐敗と発酵
2. 発酵と醸造
3. 抗生物質
4. 食中毒と微生物
5. ミトコンドリア

評 価：

2025（令和7）年度 年間指導計画

学部学年： 高等部専攻科理療科 2 年
科 目： 科学的思考の基盤・人間と生活（情報活用）
単 位 数： 2 単位
総 時 数： 70 時間
担 当 者：

【科目の目標】

- ①理療情報について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- ②理療情報に関する基本的な課題を発見し、あん摩マッサージ指圧師としての職業倫理を踏まえて合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- ③理療情報について、地域や社会を支えるあん摩マッサージ指圧師を目指して自ら学び、人々の健康の保持増進及び疾病の治療に関する課題解決に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

【評価の観点】

- あん摩マッサージ指圧師となるのに必要な情報処理に関する知識を修得したかについて、以下の観点から評価する。
- ①学習した内容を理解できたか
 - ②記憶すべき知識を定着させたか
 - ③学んだ知識を適切に使えるか
 - ④習得した知識を応用させられるか

学 期：1 学期
月：4～7 月
時間数：13 週 26 時間

単 元 名：IT の意義とパソコン導入
時 間 数：3

- 単元目標：①情報化社会の現状と課題を理解する。
②IT 機器を今後の生活、職業、コミュニケーションの面で活用できる力を身につける。
- 学習内容：①情報化時代と IT について理解する。
②視覚障害者にとってのパソコン活用を解説する。
③パソコン本体・ディスプレイ・キーボード・スピーカ・マウスを触れながら理解する。

評 価：

単 元 名：パソコンの基本操作と文字の入力
時 間 数：8

- 単元目標：スタートメニューの操作や文字入力（ローマ字・点字方式）を習得する。
- 学習内容：①1 年次の表現方法内で行ったパソコン操作を確認する。
②キーボードの配列を周知する。
③パソコンの起動と終了を実践する。
④「スタートメニュー」について理解し、操作法を熟知する。
⑤ローマ字入力（フルキー入力）と点字入力の違いを確認し、入力に慣れる。
⑥パソコン上の文字入力の中で、半角モード（英数字等）と全角モード（日本語）があることを周知する。
⑦漢字変換を練習する。
⑧Myedit（音声対応簡易ワープロソフト）を使っての文書入力を行う。

評 価：

単 元 名：ワープロソフトの編集

- 単元目標：音声や拡大画面によって、漢字カナ交じり文の作成ができるようにする。
- 時 間 数：4
- 学習内容：①Myedit で書かれた文の誤字脱字を編集する。
②消去と追加
③空白の挿入と行分割・連結
④word 上でのレイアウト調整
⑤word を使って印刷

評 価：

単 元 名：電子カルテの確認
単元目標：電子カルテ操作の定着を図る。
時 間 数：8

学習内容：①電子カルテの仕組みを理解する。
②カルテの基本操作
③新規カルテ作成の確認
④既存カルテの確認
⑤カルテの編集
⑥カルテの保存
⑦カルテの印刷方法

評 価：

単 元 名：辞書検索

時 間 数：3

単元目標：パソコンを使用しての電子辞書検索ができるようになる。

学習内容：①パソコンを使った電子辞書データの意義・操作の流れ
②検索方法の基本から応用まで
③辞書の種類とそれぞれの内容の特徴
④文書作成と辞書検索

評 価：

学 期：2 学期

月：9 月～12 月

時数：1 4 週 2 8 時間

単 元 名：視覚障害者用ソフトウェアとハードウェア

単元目標：視覚障害を補う機器について、その使用方法を習得する。

時 間 数：6

学習内容：①視覚障害者のコンピュータ利用の歴史
②視覚障害者用ソフトウェアの紹介・実際
③視覚障害者用ハードウェアの紹介・実際

評 価：

単 元 名：インターネットの活用

単元目標：インターネットを活用した情報の収集、整理、発信が可能になる力を身につける。

時 間 数：8

学習内容：①インターネットの成り立ち・仕組み
②ホームページの構造と他のページへのリンク
③ホームページのURL（所在地）の意味
④インターネット閲覧ソフト（ブラウザソフト）の紹介
⑤ホームページリーダーの操作法
⑥お気に入りの使い方
⑦検索サイトを使用した興味があるページの検索
⑧ホームページ上のメールアドレスにメールを書く
⑨インターネット・エクスプローラーの使用法

評 価：

単 元 名：点字ファイルの活用

単元目標：ネット上にある点訳されたファイルを活用できるようにする。

時 間 数：8

学習内容：①点字文書の特徴
②点字ファイル編集ソフトの種類とファイルの形式
③Win-besの操作法
④自動点訳ソフトの紹介
⑤点字印刷
⑥インターネットから点字データを入手・閲覧

評 価：

単 元 名：情報の収集・整理

単元目標：情報機器を利用して、目的のデータを収集できる力を身につける。

時 間 数：6

学習内容：①情報をデータファイルとして保存
②USBの活用方法
③USB内にフォルダを設置してファイルを整理

- ④インターネットの検索サイトを利用した情報の収集
- ⑤OCR（文字読みとり装置）を使用したデータの収集

評価：

学期：3学期

月：1月～3月

時数：8週16時間

単元名：課題別パソコン指導

単元目標：1・2学期の内容を自力で行えるようにする。

時間数：6

学習内容：①パソコン操作の復習

②これまで行った内容の定着

評価：

2月（計6時間）

単元名：研究課題・レポート作成

単元目標：自らでテーマを定め、情報機器を活用したプレゼンテーションができる力を身につける。

時間数：6

学習内容：以下の項目から選び取り組む。レポートのテーマは自由。

①疾患について

②福祉制度について

③視覚障害支援機器について

④その他

評価：

3月（計4時間）

単元名：研究課題・レポート（続き）

単元目標：自らでテーマを定め、情報機器を活用したプレゼンテーションができる力を身につける。

時間数：4

学習内容：①前月の続き

②研究発表の報告

評価：

2025（令和7）年度 年間指導計画

学部学年： 高等部専攻科理療科2年
科 目： 疾病の成り立ちと予防（衛生、公衆衛生）
単 位 数： 2単位
総 時 数： 70時間
担 当 者：

【科目の目標】

- ①あん摩マッサージ指圧施術を行うために必要な衛生学・公衆衛生学について体系的・系統的に理解できるようにする。
- ②衛生学・公衆衛生学に関する課題を発見し、あん摩マッサージ指圧師としての職業倫理を踏まえて合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- ③衛生学・公衆衛生学について、地域や社会を支えるあん摩マッサージ指圧師を目指して自ら学び、適切かつ合理的な施術に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

【評価の観点】

- ①学習した内容を理解できたか
- ②記憶すべき知識を定着させたか
- ③学んだ知識を適切に使えるか
- ④国家試験合格に向けた手掛かりをつかむことができたか

1学期（26時間）

4月

単元名：第1章 公衆衛生学の意義と歴史

時間数：4

単元目標：衛生学、公衆衛生学の目的と役割について学習する。個人の健康と公衆の衛生との関係について理解する。

内容：1公衆衛生学の意義
2公衆衛生学の歴史

評価：

4月～6月

単元名：第2章 健康の保持増進と生活

時間数：16

単元目標：WHOの健康の定義を取り上げ、健康の概念について、単に疾病にかかっていないというのではなく、さらに高度な健康について学習する。運動、休養、食事の重要性、特に食生活が健康の基盤であることを理解し、どのような生活が望ましいか考える。衛生行政の中心である保健所の役割を理解する。

内容：1食生活と栄養
2衛生行政
3食生活と健康
4食中毒
5飲食物と感染症

7月

単元名：第3章 生活環境と公害

時間数：6

単元目標：環境衛生の意義について学習する。

生活環境が健康に及ぼす影響について、具体例を通して理解する。

地球環境問題については、原因を理解し、対策について考える。

内容：1環境と健康

- 2物理的環境因子とその影響
- 3化学的環境因子とその影響
- 4生物学的環境因子とその影響
- 5社会的環境因子とその影響
- 6住居
- 7衣服
- 8地域の環境衛生
- 9公害
- 10地球環境問題（地球温暖化、オゾン層の破壊、酸性雨、森林伐採）

評価：

2学期（28時間）

9月

単元名：第4章 産業保健

時間数：6

単元目標：産業保健の意義について理解する。
労働衛生行政の仕組、役割について理解する。
理療施術者としてどのように貢献できるかを理解する。

内容：1産業保健
2労働衛生行政
3産業疲労とその対策
4産業災害とその対策
5職業病

評価：

10月

単元名：第5章 精神保健

時間数：4

単元目標：精神衛生の意義について理解する。

内容：1精神保健
2精神障害者（統合失調症、躁鬱病等）

評価：

単元名：第6章 母子保健

時間数：4

単元目標：母子衛生の意義について理解する。
母体の健康と乳幼児の健康の関係について学習する。

内容：1母子保健
2母子と健康
3母体保護法

評価：

11月

単元名：第7章 生活習慣病

時間数：6

単元目標：急増している生活習慣病の発症要因、生活習慣病の特質と予防対策について理解する。

内容：1生活習慣病

評価：

12月

単元名：第8章 感染症対策

時間数：8

単元目標：感染症の概念について学習する。
感染症の発生要因、予防対策について理解する。

内容：1感染症
2感染様式（染源、感染経路、感受性宿主）
3感染症の予防対策
4免疫評価

3学期（16時間）

1月

単元名：第9章 消毒

時間数：8

単元目標：消毒の重要性とその具体的方法を理解する。
理療臨床における消毒の意義と方法を理解する。

内容：1消毒と滅菌の定義
2消毒、滅菌の作用
3消毒、滅菌の種類と方法

評価：

2月

単元名：第10章 疫学

時間数：2

単元目標：疾病予防の観点から疫学調査の重要性、方法を理解する。

疫学の定義、疫学の対象、疫学の特徴、リスクの判定について理解する。

内容：1 疫学の意義
2 リスク

単元名：第11章 衛生統計

時間数：2

単元目標：衛生統計の意義、種類、その実際の概要を学習する

内容：1 主な衛生統計（人口統計、国勢調査、疾患統計、医療統計等）

3 月

時数 4

単元名 総合学習

目標

・国家試験の傾向を解説する

内容

(1) 国家試験の出題方式の解説

(2) 国家試験の出題傾向の解説

評価

2025(令和7)年度 年間指導計画

学部学年： 高等部専攻科理療科 2 年
科 目： 疾病の成り立ちと予防（病理学）
単 位 数： 2単位
総 時 数： 70時間
担 当 者：

【科目の目標】

- ①疾病の一般について体系的・系統的に理解することができる。
- ②各病変の特徴について自ら学び、主体的かつ協動的に取り組む事が出来る。
- ③各病変の大意に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決することができる。

【評価の観点】

- ①学習した内容を理解できたか。
- ②記憶すべき知識を定着させたか。
- ③学んだ知識を適切に使えるか。
- ④国家試験合格に向けた学習の手がかりをつかむことができたか。

学 期： 1 学期
月 月： 4～7 月
時 間 数： 26時間

単 元 名： 1. 病理学の基礎
時 数： 6
学習内容： ①病理学の意義と分類
②疾病の意義と分類
③病変と症候
④疾病の経過
⑤予後と転帰

評 価：

単 元 名： 2. 病因（内因）
時 数： 8
学習内容： ①主因と副因
②素因と体質
③遺伝と染色体以上
④内分泌障害
⑤遺伝と免疫異常
⑥心因性疾患

評 価：

単 元 名： 2. 病因（外因）
時 数： 12
学習内容： ①栄養素の供給障害
②物理的病因作用
③科学的病院作用
④生物学的病院作用
⑤加齢と老化

評 価：

学 期： 2 学期
月 月： 9～12月
時 間 数： 28時間

単 元 名： 3. 循環障害
時間数： 8
学習内容： ①充血と鬱血
②貧血
③出血
⑤血栓症・塞栓症・梗塞
⑥側副循環
⑦水症

⑧脱水症

評 価 :

単 元 名 : 3. 退行性病変

時 数 : 6

学習内容: ①萎縮
②変性
③壊死・壊疽及び趾

評 価 :

単 元 名 : 3. 進行性病変

時 数 : 7

学習内容: ①肥大と増殖
②再生と化成
③移植
④搔傷の治癒
⑤異物の処理(排除、器質化、被包)

評 価 :

単 元 名 : 3. 炎症

時 数 : 7

学習内容: ①炎症の概念
②炎症の原因
③炎症の経過と転帰
④炎症の病変
⑤炎症の五大徴候と病変との関係
⑥炎症の全身への影響

評 価 :

学 期 : 3 学期

月 : 1 ~ 3 月

時 間 数 : 16時間

単 元 名 : 3. 腫瘍

時 数 : 10

学習内容: ①腫瘍の意義
②腫瘍の形態
③腫瘍の構造
④腫瘍の発育と転移
⑤腫瘍の発育段階
⑥腫瘍の診断
⑦腫瘍と宿主の相互作用
⑧腫瘍の原因
⑨腫瘍の再発
⑩腫瘍の分類(上皮性腫瘍、非上皮性腫瘍、造血リンパ組織腫瘍、神経性腫瘍)

評 価 :

単 元 名 : 3. 免疫の異常

時 数 : 6

学習内容: ①免疫の一般=免疫の仕組み、抗原と抗体、免疫グロブリン、免疫応答の仕組み、
②免疫応答の異常=アレルギー、免疫不全、事故免疫疾患

評 価 :

2025(令和7)年度 年間指導計画

学部学年： 高等部専攻科理療科2年
科 目： 生活と疾病Ⅱ（臨床医学総論）
単 位 数： 2単位
総 時 数： 70時間
担 当 者：

【科目の目標】

- ①現代医学の立場からの診察法や治療法について体系的・系統的に理解するとともに、
連する技術を身に付ける。 関
②疾病に対する理療の適応や有効性を判断し、あん摩マッサージ指圧師、はり師及びき
う師としての職業倫理を踏まえて合理的かつ創造的に解決する力を養う。 ゆ
③他の医療職種との連携を図り、地域や社会を支えるあん摩マッサージ指圧師、はり師 及
びきう師を目指して自ら学び、適切な施術に主体的に取り組む態度を養う。

【評価の観点】

- ①学習した内容を理解できたか。
②記憶すべき知識を定着させたか。
③学んだ知識を適切に使えるか。
④国家試験合格に向けた学習の手がかりをつかむことができたか。

【1学期】

月 数： 4～5月
時 間 数： 26時間
単 元 名： 診察の概要
時 数： 8時間
単 元 目 標： 診察の基本となる考え方や心得、新たな用語について理解する。
学 習 内 容：

- ①診察の意義
②診察の一般的心得＝身だしなみ 言葉遣い プライバシーへの配慮 インフォームド コ
ンセント
③関連用語の理解＝予後 転帰 自覚症状 他覚症状
④診察の種類＝医療面接 視診 打診 聴診 徒手検査 計測
⑤診察の順序
⑥記録の目的と内容
⑦POS

評 価：

単 元 名： 診察の方法
時 数： 18時間
単 元 目 標： 診察の方法を具体的に理解する。
学 習 内 容：

- ①医療面接＝主訴 現病歴 既往歴 家族歴 社会歴・生活歴
②視診＝全身の観察 局所の観察
③打診＝打診音の種類 胸部の打診 腹部の打診
④聴診＝聴診音の種類 呼吸音の聴診 腹部の聴診 心音の聴診
⑤触診＝各部の触診法
⑥測定法＝身体計測 四肢長と周径 バイタルサイン

【2学期】

月 数： 9～12月
時 間 数： 28時間
単 元 名： 身体機能の診察
時 数： 16時間
単 元 目 標： 神経機能、運動機能の診察の意義と疾病との関連を理解する。
学 習 内 容：

- ①脳神経の診察＝第Ⅰ～Ⅻ 脳神経
②知覚検査＝表在感覚（触圧覚、痛覚、温度覚、複合感覚） 深部感覚（運動覚、位置覚、振
動覚、深部痛各）
③反射検査＝表在反射 深部反射 病的反射
④運動機能の診察＝筋緊張 筋萎縮 筋攣縮 運動麻痺 姿勢・歩行 不随意運動 運動失調

⑤自律神経機能検査＝体位変換試験 皮膚紋画症 寒冷昇圧試験 その他

⑦髄膜刺激症状＝ケルニッヒ徴候 項部硬直 ブルジンスキー徴候

⑧その他の身体機能の診察＝理学検査 関節可動域の測定 徒手筋力検査法 日常生活動作の検査

評価 価：

単 元 名：臨床検査

時 数：10時間

単元目標：血液検査、尿検査、糞便検査、髄液検査、生理学的検査の意義と疾病との関連を理解する。

学習内容：

①一般検査＝尿検査 糞便検査 血液検査 髄液検査 細菌学的検査

②生化学的検査＝タンパク質 窒素化合物 脂質 糖 酵素 血清膠質反応 色素排泄 試験 血清電解質 血清カルシウム 血清無機リン 血清鉄 血液ガス分析 腫瘍マーカー

免疫血清学的検査 血液型検査 凝固因子検査

評価 価：

学 期：3学期

月：1～3月

時 間 数：16時間

単 元 名：臨床検査（続き）

時 数：6時間

単元目標：血液検査、尿検査、糞便検査、髄液検査、生理学的検査の意義と疾病との関連を理解する。

学習内容：

③生理学的検査＝心電図検査 脳波検査 筋電図検査 神経伝導速度 呼吸機能検査 画像診

断 サーマグラフィ

評価 価：

単 元 名：治療法

時 数：6時間

単元目標：西洋医学的治療の種類と意義を理解する。

学習内容：

①治療法の種類

②薬物療法

③食事療法

④理学療法

⑤その他の療法

評価 価：

単 元 名：臨床心理

時 数：4時間

単元目標：臨床心理の基礎と検査法の意義と方法を理解する。

学習内容：

①患者心理

②心理学的検査＝知能検査 性格検査

③心理療法＝精神分析療法 来談者中心療法 自律訓練法

評価 価：

2025（令和7）年度 年間指導計画

学部学年： 高等部専攻科理療科2年
科 目： 生活と疾病Ⅲ（臨床医学各論）
単 位 数： 4単位
総 時 数： 140時間
担 当 者：

【科目の目標】

①現代医学の立場からの各疾患や症状に対する診察法、検査法、治療法について体系的・系統的に理解する。

②各疾患や症状に対する理療の適応や有効性を判断し、あん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゅう師としての職業倫理を踏まえて合理的かつ創造的に解決する力を養う。

③他の医療職種との連携を図り、地域や社会を支えるあん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゅう師を目指して自ら学び、適切な施術に主体的に取り組む態度を養う。

【評価の観点】

①現代医学における各疾患の基礎的な知識が身についている。

②解剖学、生理学、病理学、リハビリテーション医学等と関連付けて各疾患を理解している。

③各疾患や症状に対する理療の適応や有効性を判断できる。

④現代医学の進歩に応じて自ら新しい知識を取り入れる態度が身についている。

⑤患者にとって最良の治療を目指し、他の医療職種と連携を図る態度が身についている。

学 期： 1学期
月： 4～7月
時 間 数： 52時間

単 元 名： 感染症
時 数： 6時間

単元目標： 各領域の疾患について、概要、症状、検査、治療を系統的に理解する。

学習内容：

1. 感染症総論
2. 細菌感染症
3. ウイルス感染症
4. 性感染症
5. 真菌感染症
6. 寄生虫感染症
7. 性感染症

評 価：

単 元 名： 消化器疾患・口腔疾患

時 数： 14時間

単元目標： 各領域の疾患について、概要、症状、検査、治療を系統的に理解する。

学習内容：

1. 口腔疾患
2. 食道疾患
3. 胃十二指腸疾患
4. 腸疾患
5. 肝臓疾患
6. 胆道疾患
7. 膵臓疾患

単 元 名： 呼吸器疾患

時 数： 6時間

単元目標： 各領域の疾患について、概要、症状、検査、治療を系統的に理解する。

学習内容：

1. 呼吸器感染症
2. 閉塞性肺疾患
3. 間質性肺疾患
4. 呼吸器系の悪性腫瘍
5. 肺循環障害
6. 胸膜疾患
7. 換気異常

8. その他の呼吸器疾患

評価：

単元名：循環器疾患

時数：8時間

単元目標：各領域の疾患について、概要、症状、検査、治療を系統的に理解する。

学習内容：

1. 血圧異常
2. 動脈硬化
3. 不整脈
4. 心不全
5. 弁膜疾患
6. 虚血性心疾患
7. 心筋・心膜疾患
8. 先天性心疾患
9. 血管・リンパ管系疾患

評価：

単元名：腎・泌尿器疾患

時数：6時間

単元目標：各領域の疾患について、概要、症状、検査、治療を系統的に理解する。

学習内容：

1. 腎不全、急性腎障害、慢性腎臓病
2. 糸球体疾患
3. 尿路感染症
4. 腫瘍性疾患
5. 結石症、尿路閉塞疾患
6. 排尿機能障害
7. 全身疾患に伴う腎障害

評価：

単元名：男性生殖器疾患

時数：2時間

単元目標：各領域の疾患について、概要、症状、検査、治療を系統的に理解する。

学習内容：

1. 前立腺疾患
2. 男性生殖障害

評価：

単元名：内分泌疾患

時数：6時間

単元目標：各領域の疾患について、概要、症状、検査、治療を系統的に理解する。

学習内容：

1. 下垂体疾患
2. 甲状腺疾患
3. 副甲状腺疾患
4. 副腎疾患
5. 膵神経内分泌腫瘍

評価：

単元名：婦人科疾患

時数：4時間

単元目標：各領域の疾患について、概要、症状、検査、治療を系統的に理解する。

学習内容：

1. 月経異常
2. 更年期障害
3. 腫瘍、類腫瘍性疾患
4. 乳房の疾患

評価：

学期：2学期

月：9～12月

時間数：56時間

単 元 名：運動器疾患

時 数：28時間

単元目標：各領域の疾患について、概要、症状、検査、治療を系統的に理解する。

学習内容：

1. 関節疾患
2. 骨代謝性疾患
3. 骨腫瘍
4. 筋・腱疾患
5. 形態異常
6. 脊椎疾患
7. 外傷
8. スポーツ外傷・障害
9. その他の整形外科疾患

評 価：

単 元 名：神経疾患

時 数：28時間

単元目標：各領域の疾患について、概要、症状、検査、治療を系統的に理解する。

学習内容：

1. 脳血管疾患
2. 感染性疾患
3. 脳・脊髄腫瘍
4. 基底核変性疾患
5. その他の神経変性疾患、脱髄疾患
6. 認知症
7. 筋疾患
8. 運動ニューロン疾患
9. 末梢神経障害（ニューロパチー）
10. 神経痛
11. 機能性疾患

評 価：

学 期：3学期

月 数：1～3月

時 間 数：32時間

単 元 名：代謝と栄養障害

時 数：6時間

単元目標：各領域の疾患について、概要、症状、検査、治療を系統的に理解する。

学習内容：

1. 糖代謝異常
2. 脂質代謝異常
3. 尿酸代謝異常
4. 金属代謝異常
5. ビタミン欠乏症

評 価：

単 元 名：アレルギー・免疫異常

時 数：6時間

単元目標：各領域の疾患について、概要、症状、検査、治療を系統的に理解する。

学習内容：

1. アレルギー性疾患
2. 膠原病、類縁疾患
3. 免疫不全

評 価：

単 元 名：血液・造血器疾患

時 数：6時間

単元目標：各領域の疾患について、概要、症状、検査、治療を系統的に理解する。

学習内容：

1. 赤血球系疾患
2. 造血器腫瘍

3. 出血性素因

評 価：

単 元 名：救急医学

時 数：2時間

単元目標：各領域の疾患について、概要、症状、検査、治療を系統的に理解する。

学習内容：

1. 救急医学総論
2. 救急医学で遭遇する病態

評 価：

単 元 名：麻酔科学

時 数：2時間

単元目標：各領域の疾患について、概要、症状、検査、治療を系統的に理解する。

学習内容：

1. 麻酔科学総論
2. 全身麻酔
3. 局所麻酔
4. ペインクリニック

評 価：

単 元 名：皮膚科疾患

時 数：2時間

単元目標：各領域の疾患について、概要、症状、検査、治療を系統的に理解する。

学習内容：

1. 掻痒を伴う炎症性疾患
2. 温熱・寒冷刺激による皮膚障害
3. 感染性疾患
4. 皮膚悪性腫瘍
5. 皮膚付属器の疾患

評 価：

単 元 名：眼科疾患

時 数：3時間

単元目標：各領域の疾患について、概要、症状、検査、治療を系統的に理解する。

学習内容：

1. 結膜炎
2. 角膜炎
3. ぶどう膜炎
4. 白内障
5. 緑内障
6. 網膜疾患
7. 涙器の疾患
6. その他の疾患

評 価：

単 元 名：耳鼻咽喉科疾患

時 数：2時間

単元目標：各領域の疾患について、概要、症状、検査、治療を系統的に理解する。

学習内容：

1. 耳疾患
2. 鼻疾患
3. 咽喉頭疾患

評 価：

単 元 名：精神科疾患

時 数：3時間

単元目標：各領域の疾患について、概要、症状、検査、治療を系統的に理解する。

学習内容：

1. 心身症
2. 神経症性障害
3. 気分症
4. 統合失調症
5. 摂食障害

6. 物質使用障害
 7. 睡眠覚醒障害
 8. 排泄症
 9. 自閉スペクトラム症
 10. 器質性・症状性精神障害
- 評価：

2025（令和7）年度 年間指導計画

学部学年： 高等部専攻科理療科2年
科目： 生活と疾病（リハビリテーション医学）
単位数： 3単位
総時数： 105時間
担当者：

【科目の目標】

- ①障害と社会復帰に導くリハビリテーションの関わりについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。
- ②リハビリテーションに関する課題を発見し、あん摩マッサージ指圧師としての職業倫理を踏まえて合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- ③リハビリテーション・チームの一員として地域や社会を支えるあん摩マッサージ指圧師を目指して自ら学び、適切な施術に主体的に取り組む態度を養う。

【評価の観点】

- ①学習した内容を理解できたか。
- ②記憶すべき知識を定着できたか
- ③学んだ知識を適切に使えるか。
- ④国家試験の出題傾向を理解し適切に解答できるか。

学 期： 1学期
月： 4～7月
時間数： 39時間

単 元 名： リハビリテーションの概要

時 数： 10時間

単元目標： リハビリテーションの定義・歴史・概要・障害の概念について理解する。

- 学習内容：
1. 理念（語源、歴史、定義、ノーマライゼーションとIL運動）
 2. リハビリテーションの概要（身体障害者の動向など）
 3. 健康・疾病・障害の概念（分類）
 4. リハビリテーションの分類
 5. 地域リハビリテーション
 6. リハビリテーションの諸段階
 7. リハビリテーションチーム
 8. 医学的リハビリテーションの流れ

評 価：

単 元 名： 障害の評価

時 数： 10時間

単元目標： 医学的リハビリテーションの評価の目的やICFの各分類での評価法（検査法）の意義や方法について理解する。

- 学習内容：
1. 評価の目的
 2. 心身機能・身体構造の評価（ROM・MMT・アシュワース・協調性検査・感覚検査・高次脳機能検査）
 3. 活動の評価（ADL）
 4. 参加および環境因子の評価（住居・家族・地域・職場）

評 価：

単 元 名： リハビリテーション治療

時 数： 19時間

単元目標： 各療法の内容を理解する。

- 学習内容：
1. 理学療法（定義、運動療法、物理療法、日常生活訓練）
 2. 作業療法（目的、領域）
 3. 言語療法（定義、対象）
 4. 義肢・装具・車いす・自助具（義手と義足、装具、自助具の定義と種類）
 5. リハビリテーション看護

評 価：

学 期： 2学期
月： 9～12月

時間数： 42時間

単 元 名：運動学の基礎

時 数：2時間

単元目標：体の運動の基本的な仕組みについて理解する。

学習内容：1. 力と仕事の原理（力学、仕事、エネルギー）
2. 単一機械構造（槌子、滑車）

評 価：

単 元 名：人体の構造と機能

時 数：2時間

単元目標：関節の種類、各関節の可動域、筋収縮の様式について理解する。

学習内容：1. 関節の機能（種類、運動、可動域）
2. 筋の機能（筋収縮の種類）

評 価：

単 元 名：姿勢と運動のコントロール

時 数：2時間

単元目標：姿勢の安定性に影響する因子について理解する。

学習内容：1. 重心の位置と重心線
2. 姿勢の保持

評 価：

単 元 名：上肢・脊柱・下肢の運動

時 数：4時間

単元目標：上肢・脊柱・下肢の構造・運動・機能について理解する。

学習内容：1. 上肢帯（関節、肩甲上腕リズム）
2. 肘関節と前腕（関節）
3. 手指（関節、手のアーチ、変形）
4. 脊柱（彎曲、連結）
5. 骨盤（腰椎骨盤リズム）
6. 股関節（構造、動き）
7. 膝関節（構造、動き）
8. 足関節及び足部（構造、足のアーチ、変形）

評 価：

単 元 名：正常歩行と異常歩行

時 数：6時間

単元目標：歩行の基本動作（身体各部の動き）とその異常について理解する。

学習内容：1. 正常歩行（歩行周期、重心の移動、身体各部の動き）
2. 異常歩行（構造上、疼痛、神経・筋系による異常）

評 価：

単 元 名：脳血管障害のリハビリテーション

時 数：14時間

単元目標：脳血管障害の医学的管理とリスク管理、理学療法について理解する。

学習内容：1. 概念（分類、症状、合併症）
2. 評価
3. 急性期のリハビリテーション
4. 回復期のリハビリテーション
5. リスク管理

評 価：

単 元 名：脊髄損傷のリハビリテーション

時 数：6時間

単元目標：脊髄損傷の医学的管理とリスク管理、理学療法について理解する。

学習内容：1. 概念（原因・病型、損傷レベル）
2. 症状
3. 合併症
4. 急性期のリハビリテーション
5. 回復期のリハビリテーション
6. リスク管理

評 価：

単 元 名： 脳性麻痺のリハビリテーション
時 数： 6時間
単元目標： 脳性麻痺の医学的管理、理学療法について理解する。
学習内容： 1. 概念（定義、分類）
2. 評価
3. 合併症
4. 理学療法（ボバース法）

評 価：

学 期： 3学期
月： 1～3月
時間数： 24時間

単 元 名： 切断のリハビリテーション
時 数： 3時間
単元目標： 切断の医学的管理、理学療法について理解する。
学習内容： 1. 概念（原因、切断術）
2. リハビリテーション

評 価：

単 元 名： 呼吸器疾患のリハビリテーション
時 数： 3時間
単元目標： 呼吸器疾患の医学的管理、理学療法について理解する。
学習内容： 1. 概念（分類、症状）
2. リハビリテーション

評 価：

単 元 名： 骨関節疾患のリハビリテーション
時 数： 10時間
単元目標： 主な対象疾患、医学的管理、理学療法について理解する。
学習内容： 1. 肩関節周囲炎
2. 腰痛
3. 変形性関節症
4. 大腿骨頸部骨折
5. 末梢神経麻痺

評 価：

単 元 名： 関節リウマチのリハビリテーション
時 数： 3時間
単元目標： 関節リウマチの医学的管理とリスク管理、理学療法について理解する。
学習内容： 1. 概念（診断基準、進行度・機能障害の分類、症状、リスク管理）
2. リハビリテーション

評 価：

単 元 名： 神経疾患のリハビリテーション
時 数： 3時間
単元目標： 主な対象疾患、医学的管理、理学療法について理解する。
学習内容： 1. パーキンソン病
2. 脊髄小脳変性症

評 価：

単 元 名： 心疾患のリハビリテーション
時 数： 2時間
単元目標： 主な対象疾患、医学的管理、理学療法について理解する。
学習内容： 1. 心疾患の概念（評価）
2. リハビリテーション

評 価：

2025(令和7)年度 年間指導計画

学部学年： 高等部専攻科理療科2年
科目： 臨床理療学(臨床入門)
単位数： 3単位
総時数： 105時間
担当者：

【科目の目標】

- ①臨床の基礎について必要な知識を理解するとともに、関連する基礎的な技術を身に付けるようにする。
- ②学習を通して発見した課題に対しあはき師として合理的かつ創造的に解決する力を養うようにする。
- ③臨床実習を通し地域や社会を支えるあはき師を目指して自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

【評価の観点】

あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師となるのに必要な臨床入門に関する知識を修得したかについて、以下の観点から評価する。

- ①学習した内容を理解できたか。
- ②記憶すべき知識を定着できたか。
- ③習得した知識を応用できるか。
- ④適宜臨床実習で活用できるか。

【1学期 4月～7月】

単元名： 関節可動域測定 of 定義

時間数： 15

目標： 関節可動域測定 of 定義と目的を学習し、臨床において応用できるよう理解する。

- (1) 関節可動域測定 of 目的
- (2) 身体 of 基本的肢位
- (3) 主な基本的運動方向
- (4) 測定器具
- (5) 参考可動域

評価：

単元名： 徒手筋力検査法(MMT) of 実際

時間数： 18

目標： (1) MMT of 目的と評価について理解する。

(2) 対象 of 関節の構造、筋 of 起死・停止・神経支配・作用、生体観察について習得する。

学習内容： (1) 徒手筋力検査法 of 目的
(2) 徒手筋力検査法 of 判定基準
(3) 検査上 of 注意

評価：

単元名： 生体観察

時間数： 6

目標： この4月から各単元で学習した知識を組み合わせて、測定器具等を用いて観察し、臨床で応用できるようにする。

学習内容： (1) 関節可動域測定・検査
(2) 徒手筋力検査(MMT)

評価：

【2学期 9～12月】

単元名： 徒手による整形外科的検査 of 実際

時間数： 12

目標： (1) 徒手による整形外科的検査 of 目的について学習し理解する。
(2) 各検査 of 意義や判定、留意事項について学習し修得する

学習内容： (1) 頸肩腕症候群に対する検査
(2) 胸郭出口症候群に対する検査
(3) 腰下肢痛に対する検査
(4) 主な関節 of 痛みに対する理学的検査

評価：

単 元 名：生態観察

時 間 数：12

目 標：この4月から各単元で学習した知識を組み合わせ、測定器具等を用いて観察し、臨床で応用できるようにする。

学習内容：(1) 頸肩腕症候群に対する検査
(2) 胸郭出口症候群に対する検査
(3) 腰下肢痛に対する検査
(4) 主な関節の痛みに対する理学的検査

評 価：

☆単 元 名：主要症状・疾患に対する総合実技実習

時 間 数：18

目 標：本校で作成した「診察導入ガイド」を用いて、この4月から学んだ知識を組み合わせ、問診から症状の鑑別までできるようにする。

学習内容：(1) 頸肩腕症候群に対する検査
(2) 胸郭出口症候群に対する検査
(3) 腰下肢痛に対する検査

評 価：

【3学期 1～3月】

単 元 名：施術に適用できる物理療法の実際

時 間 数：8

目 標：温熱療法・牽引療法を中心に適応症と機器の操作方法、留意事項について理解する。

学習内容：(1) ホットパック
(2) マイクロウェーブ
(3) 赤外線
(4) パラフィン浴
(5) 牽引機

評 価：

単 元 名：目指すべきあん摩マッサージ指圧師、はり師、灸師について

時 間 数：6

目 標：外来臨床での実習が始まった時期に合わせて、患者から求められるあはき師としての資質についてケーススタディーを通して理解する。

学習内容：(1) 期待される施術者像
(2) 施術者のモラル
(3) 施術者のマナー

評 価：

単 元 名：リスク管理について

時 間 数：5

目 標：施術中に起こりうる事故について理解し、その未然防止・事故への対応・実際の過誤について理解する。

学習内容：(1) 事故を防止するために日頃実践する基本事項
(2) 事故対応マニュアルの内容
(3) 物理的・環境的リスク要因
(4) 主な施術過誤とその予防対策

評 価：

単 元 名：緊急蘇生法

時 間 数：5

目 標：事故発生から、意識障害、バイタルサイン、出血の確認、蘇生術、救急隊、医療機関に引き継ぐまでの課程を理解する。

学習内容：(1) 緊急蘇生法の意義
(2) 心肺蘇生法の実際・人工呼吸の方法、心臓マッサージ、人工呼吸と心臓マッサージの組み合わせ、異物が詰まっている時の対処法、止血法の実際

評 価：

2025(令和7)年度 年間指導計画

学部学年： 高等部専攻科理療科2年
科目： 理療基礎実習（マッサージ実技）
単位数： 3単位
総時間： 105時間
担当者：

【科目の目標】

- ① マッサージ施術の基本技術を身につける。
- ② 施術者としての基本的な態度・習慣を身に付ける。
- ③ 臨床実習への導入の段階として、代表的な症状や疾患に対する施術が、評価と理論に基づいて、応用療法とともに、適切に行うことができるようにする。

【評価の観点】

- ① 施術の強さ、位置、角度、リズム
- ② 解剖学的構造の理解
- ③ 医療従事者として適切な態度、姿勢
- ④ 授業への参加意欲

1学期

月： 4～7

単元名： 施術室の管理と清潔保持の実際・身体各部のマッサージ1

時間数： 39

単元目標： 施術室の管理と清潔保持の実際

身体各部のマッサージ施術が、マッサージの法式に従って適切且つ効果的にこなえるようにする。臨床実習で実際に施術できる能力を身に付ける。

- 学習内容： ① 施術室の管理と清潔保持の実際
② マッサージの基本手技と身体各部の施術の実際
③ 上肢のマッサージの実際（前腕部・上腕部・手部・手関節・肘関節・肩関節）
④ 施術部位の解剖、主な疾患

評価：

2学期

月： 9～12

単元名： マッサージの基本手技と身体各部の施術の実際2

時間数： 42

単元の目標： 身体各部のマッサージ施術が、マッサージの法式に従って適切且つ効果的にこなえるようにする。臨床実習で実際に施術できる能力を身に付ける。

- 学習内容： ① マッサージの基本手技と身体各部の施術の実際
② 下肢のマッサージの実際（下腿・大腿・足関節・膝関節・股関節）
③ 体幹のマッサージの実際（腹部・胸部・背部）
④ 頭部・頸部・顔面部のマッサージの実際
⑤ 施術部位の解剖・主な疾患
⑥ 校外行事でのマッサージ施術
⑦ 検査法の実際（関節可動域・整形外科的検査法など）

評価：

3学期

月： 1～3

単元名： マッサージの基本手技と身体各部の施術の実際・臨床応用

時間数： 24

単元の目標： 身体各部のマッサージ施術を、臨床実習で実際に施術できる能力を身に付ける。

- 学習内容： ① 腱鞘炎・五十肩・関節症・神経麻痺・神経痛へのマッサージの臨床応用

評価：

2025(令和7)年度 年間指導計画

学部学年： 高等部専攻科理療科2年
科 目： 理療基礎実習（指圧実技）
単 位 数： 1単位
総 時 数： 35時間
担 当 者：

【評価の観点】

あん摩マッサージ指圧師となるのに必要な手技療法（指圧）について、その基本的技術を修得できたかについて、以下の観点から評価する。

- ①実習を行った内容は理解できた
- ②記憶すべき知識と技術は定着した
- ③学んだ技術は適切に実践できる
- ④習得した技術を応用できる

学 期： 1
月 ： 4～7
時 間 数： 13

単 元 名： 指圧の基本手技
時 数： 4
単元目標： 指圧の基本手技を身につける。
学習内容： 基本手技（押圧の3原則）

単 元 名： 身体各部の施術
時 数： 9
単元目標： 伏臥指圧法、仰臥指圧法、側臥位指圧法、座位指圧法を身につける。・様々な体位に対応する指圧技術を習得する。
学習内容： ①伏臥指圧法
②仰臥指圧法

学 期： 2
月 ： 9～12
時 間 数： 14

単 元 名： 身体各部の施術
時 数： 8
単元目標： 伏臥指圧法、仰臥指圧法、側臥位指圧法、座位指圧法を身につける。・様々な体位に対応する指圧技術を習得する。
学習内容： ③座位指圧法
④側臥位指圧法

単 元 名： その他の手技療法
時 数： 6
単元目標： その他の手技療法を学ぶ
学習内容： ①全身の関節の運動療法
②カイロプラクティック
③関節モビリゼーション

学 期： 3
月 ： 1～3
時 間 数： 8

単 元 名： 全身指圧の施術
時 数： 8
単元目標： 臨床実習で指圧技術をマスターする。
学習内容： 全身指圧の練習を繰り返す。

2025(令和7)年度年間指導計画

学部学年： 高等部専攻科理療科2年
科 目： 理療基礎実習（はり実技）
単 位 数： 4単位
総 時 数： 140時間
担 当 者：

【科目の目標】

- ①鍼施術に必要な資質・能力を体系的・系統的に理解することができる。
- ②鍼施術について他の教科と関連づけ主体的かつ協動的に取り組むことができる。
- ③リスク管理を行いながら、正しく施術する力を養うことができる。

【評価の観点】

- ①各部位に対する適切な鍼施術が行えたか。
- ②各部位への施術に対してリスク管理ができているか。
- ③医療従事者としての適切な態度・姿勢。
- ④授業への参加意欲。
- ⑤臨床実習での適切な鍼施術を行うことができたか。

学期： 1

月： 4～7

時間数： 52

単元名： 1 治療点への刺鍼の実際

時数： 20

単元目標： 頸・肩上部、胸腹部、各関節への刺鍼の達成。

学習内容： 各部の穴への刺鍼と注意事項。募穴への刺鍼と注意事項。その他体表反応点への刺鍼。

単元名： 2 低周波鍼通電の実際

時数： 20

単元目標： 頸・肩上部、胸腹部、上肢、各関節への刺鍼と通電の達成。

学習内容： 各部の筋への刺鍼と注意事項。通電器の安全な操作・手順の確認。

単元名： 3 臨床導入ガイドの指導

時数： 12

単元目標： 各症状に対する病態の鑑別ができる。

学習内容： 頸部・肩部の症状に対する病態把握・鑑別の練習。

学期： 2

月： 9～12

時間数： 56

単元名： 4 一学期の復習

時数： 4

単元目標： 一学期に行った手技を想起することができる。

学習内容： 一学期の継続。

単元名： 5 治療点への刺鍼の実際

時数： 15

単元目標： 背腰部・下肢・各関節・頭部・顔面部への刺鍼の達成。

学習内容： 各部の穴への刺鍼と注意事項。募穴への刺鍼と注意事項。その他体表反応点への刺鍼。坐骨神経への刺鍼。

単元名： 6 低周波鍼通電の実際

時数： 15

単元目標： 背腰部・下肢・各関節・頭部・顔面部への刺鍼の達成。

学習内容： 各部の筋への刺鍼と注意事項。通電器の安全な操作・手順の確認。

単元名： 7 臨床導入ガイドの指導

時数： 12

単元目標： 各症状に対する病態の鑑別ができる

学習内容： 腰部・下肢の症状に対する病態把握・鑑別の練習。

単元名：8 臨床実習

時数：10

単元目標：これまでの学習内容を活かすことができる。

学習内容：臨床室でこれまでの基礎学力を基本に、診察施術までの課程を、実技実習を通して学習する。

学期：3

月：1～3

時間数：32

単元名：9 臨床実習

時数：32

単元目標：これまで学習した診察(問診・検査)、施術の課程を活かすことができる。

学習内容：臨床室でこれまでの基礎学力を基本に、診察施術までの課程を、実技実習を通して学習する。

2025（令和7）年度 年間指導計画

学部学年： 高等部専攻科理療科2年
科目： 理療基礎実習（総合実技）
単位数： 2単位
総時数： 70時間
担当者：

【科目の目標】

- ①あん摩マッサージ指圧、鍼灸に必要な臨床理療の知識を体系的・系統的に理解するとともに、臨床の対象者に対して効果的な理療施術を適切に行えるようにする
- ②理論に基づいた診察を適切に行うことで臨床理療の課題を発見し、適応の判断や治療の有効性・有用性と関連付けながら合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- ③地域や社会を支える鍼灸師、あん摩マッサージ指圧師を目指して自ら学び、効果的な施術に主体的に取り組む態度を養う。

【評価の観点】

- ①施術の強さ、位置、角度、リズム等が適切か。
- ②ツボをきちんととらえているか。
- ③患者の状態に応じた問診・診察・施術が適切に行えるか。
- ④医療従事者としての適切な態度・姿勢を身につけることができたか。
- ⑤授業への参加意欲はどうか。

学 期： 1 学期
月： 4～7 月
時 間 数： 26時間

単 元 名： 全身あん摩施術
時 数： 8時間
単元目標： 全身あん摩施術を決められた時間内で行えるようにする。
学習内容： 全身あん摩（側臥位・伏臥位・座位のあん摩）
評 価：

単 元 名： 全身あん摩施術
時 数： 18時間
単元目標： 代表的な症状や疾患に対する施術を行えるようにする。
学習内容： 全身あん摩（主訴を踏まえた全身あん摩）
評 価：

学 期： 2 学期
月： 9～12 月
時 間 数： 28時間

単 元 名： 施術所における臨床実習前施術実技試験等）
時 数： 16時間
単元目標： 臨床実習を想定して、施術室の準備や患者の体調管理などが円滑に行えるようにする。また、一定の評価基準に基づき、生徒の外来臨床実習への参加時期を決定する。
学習内容： ① 施術室の管理
② 患者の体調管理
③ 全身のあま指施術
④ 模擬患者に対するあん摩施術

評 価：

単 元 名： 臨床実践
時 数： 12時間
単元目標： 評価基準の評価に基づき、生徒個々の状況に配慮しながら臨床実践が円滑に行えるようにする。
学習内容： ① 施術準備・後片付け
② 患者へのあん摩施術
③ 患者接遇
④ カルテ記入
⑤ 臨床室清掃
評 価：

学 期： 3 学期
月： 1 ～ 3 月

単 元 名： 臨床実践
時 数： 16時間

単元目標： 評価基準の評価に基づき、生徒個々の状況に配慮しながら臨床実践が円滑に行えるようにする。

学習内容： ① 施術準備・後片付け
② 患者へのあん摩施術
③ 患者接遇
④ カルテ記入
⑤ 臨床室清掃

評 価：

2025(令和7)年度 年間指導計画

学部学年： 高等部専攻科理療科3年
科 目： 医療と社会（医療と社会）
単 位 数： 2単位
総 時 数： 70時間
担 当 者：

【科目の目標】

- ①医療の歴史を背景として現代社会における理療の位置付け及び医療とのかかわりを明らかにし理療の在り方を考える。
- ②どのような倫理観をもって理療臨床に当たらなければならないかを理解する。
- ③あん摩マッサージ指圧師にかかわる法律と医療の法体系の概要を理解し、業務が適切に実施できるようにする。
- ④医療にまつわるいろいろなトピックスをインターネットなどのITを活用して、情報の収集・知識の整理を図る。

【評価の観点】

- ①学習した内容を理解できたか
- ②記憶すべき知識を定着させたか
- ③学んだ知識を適切に使えるか
- ④習得した知識を応用させられるか

学 期： 1 学期
時 間 数： 26時間

月 ： 4 月
単 元 名： 医学，医療及び理療の歴史
ア 西洋における医学，医療
イ 日本，中国等における医学，医療

時 数： 6 時間

単元目標： 西洋や日本，中国，インド等における医学，医療の歴史を取り扱い，理療とのかかわりを理解する。

現代の医療及び医療制度の現状と当面する課題の概要を理解する。

「地域理療と理療経営」との関連を考慮しながら，理療の現状と課題を具体的に学び，その概要を学習する。

学習内容： アについては，近代医学の発展の歴史を，ギリシャ医学を起点として各時代の特徴と医学に関する主な発見等の事項を中心に学ぶ。

イについては，中国医学の起源及び我が国への伝来，我が国の医学のほとんどが中国伝来のものであることを学習する。また，我が国の医学の発展を，大宝律令の医疾令から各時代の特徴と主な事項を中心に理解し，西洋医学の伝来，明治の医学革命，マッサージの導入，指圧の成立，盲学校における理療及び保健理療教育などについて学ぶ。また，1970年代以降の世界の医学界における鍼への関心の高まり，我が国における鍼灸関係の高等教育機関の成立，世界の代替医療への関心の高まりなどについて学ぶ。さらに，代表的な古代医学の一つであるインドのアーユルベダ医学について，その概要と現状についても学習する。

評 価：

月 ： 5・6 月
単 元 名： 医療制度の現状と課題
ア 医学の分野
イ 医療と社会
ウ 医療従事者
エ 医療機関
オ 医療行政

時 数： 16時間

単元目標： 現代の医療及び医療制度の現状と当面する課題の概要を理解する。

学習内容： アでは，以下の事項を学ぶ。

- ①基礎医学
- ②臨床医学
- ③社会医学

イでは，現代社会が抱えている医療関連の課題とその背景を，以下の事項を中心に学ぶ。

- ①健康と病気

- ②疾病構造の変化と半健康・生活習慣病
- ③プライマリ・ケアとターミナル・ケア
- ④国民医療費の動向
- ⑤高齢社会と介護問題

ウでは、以下の事項を中心に学ぶ。

①医師と歯科医師

②看護職員

③その他の医療従事者

エでは、以下の事項を中心に学ぶ。

①病院及び診療所

②施術所及び助産所

③介護老人保健施設及び介護老人福祉施設

オでは、以下の事項を中心に学ぶ。

①国及び地方自治体の衛生行政

②医療保険制度の概要

③介護サービス行政の概要

評価:

月 : 7月

時数: 4時間

単元名: 理療の現状と課題

ア 現代の東洋医学

イ 理療の概念

ウ 理療の課題

単元目標: 「地域理療と理療経営」との関連を考慮しながら、理療の現状と課題を具体的に学び、その概要を学習する。

学習内容: アについては、鍼灸、あん摩・マッサージ・指圧、欧米における徒手による施術、湯液などについて学ぶ。特に、日本式の鍼は、次のような優れた特徴をもっているため、視覚障害者が、その触圧覚を生かして施術することができるということについて十分に理解する。

①痛くないこと

②刺鍼時に触圧覚を十分に活用することができること

③軽微な刺激による治療であること

④生体の調節力を意図的、積極的に調節する治療であること

⑤未病の徴に対する治療であること

イについては、鍼灸、あん摩・マッサージ・指圧と理療の関係について学ぶ。

ウについては、鍼灸、徒手による施術に対する世界の期待、我が国の鍼灸、あん摩

・マッサージ・指圧が当面している問題と対応策について学ぶ。

評価:

学期: 2学期

時間数: 28時間

月 : 9月

単元名: 理療従事者の倫理

ア 医療と倫理

イ 理療と倫理

時数: 8時間

単元目標: 国民の健康の保持増進及び疾病の治療に寄与する観点から、理療従事者の心構え等について、十分に理解する。その際、「地域理療と理療経営」との関連を考慮して学ぶ。

学習内容: アについては、医の倫理、生命倫理、生命科学の進歩、脳死と臓器移植などについて、ここでまとめて扱う。

イについては、施術者として法的に課されている守秘義務、心構え、施術対象者への思いやり、社会的責任等について扱う。

評価:

月 : 10月

単元名: あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師等に関する法律

ア 法令の沿革

イ 法令の主な内容

時数: 8時間

単元目標: あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師として必要な「あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師等に関する法律」の基本的事項を具体的事例を踏まえながら理解する。

学習内容: アでは、以下の事項について、できるだけ簡略に学ぶ。

①内務省令以前の法の変遷, ② 戦後の法の変遷
イでは, 施術者の身分について, 十分な法的理解の上に立って業務を適切に行うこと
ができるよう, 以下の事項を中心に扱う。

- ①免許
- ②業務
- ③医業類似行為

評 価:

月 : 11・12月
単 元 名: 関係法規の概要
ア 医事関係法規
イ その他の関係法規

時 数: 12時間

単元目標: 理療業務とかかわりの深い医事・薬事・福祉等の関係法規の体系のあらましを理解する。

学習内容: アでは, 以下の事項を中心にできるだけ簡略に取り扱う。

- ①医療法の概要
- ②医師法の概要
- ③理学療法士及び作業療法士法の概要
- ④柔道整復師法の概要

イでは, 薬事法規, 一般衛生法規などの概要を扱う。

評 価:

学 期: 3 学期
時 間 数: 16時間

月 : 1～3 月
単 元 名: あん摩マッサージ指圧師, はり師, きゅう師国家試験直前補習
時 数: 16時間

単元目標: 国家試験に対応できる学力を身につける。

学習内容: 国家試験の傾向を踏まえ, 過去出題問題を中心にドリル形式で多くの問題を解いていく。

評 価:

2025(令和7)年度 年間指導計画

学部学年： 高等部専攻科理療科 3年

科 目： 基礎理療学（理療理論）

単 位 数： 3単位

総 時 数： 105時間

担 当 者：

【科目の目標】

①長い伝統と経験から成り立っている東洋医学の概念や、理療施術の基礎となる科学的治効理論を体系的・系統的に理解するとともに、効果的な理療施術を適切に行うことができる能力を育成する。

②理療施術のもつ意義の重要性や、現代社会における東洋医学の課題を合理的かつ創造的に理解して解決する力を養う。

③地域や社会を支えるあん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゅう師を目指して、主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

【評価の観点】

①記憶すべき知識の定着

②体系的に内容を理解

③知識を主体的に活用

④習得した知識による課題解決

4月～5月

単元名： 鍼灸の概要

時間数： 21時間

単元の目標： 鍼・灸の定義・歴史・特徴等を指導することにより、効果的な理療施術が出来る能力を養う。

内容：

1. 鍼・灸施術の意義と歴史
2. 鍼と鍼管、刺鍼の法式（現行十七手技）
3. 古鍼法（古代九鍼、古代刺法、鍼灸の補瀉）
4. 刺鍼中の手技（現行十七手技）
5. 灸の材料・艾の生成法
6. 艾・線香の成分
7. 良否の鑑別
8. 灸の種類

評価：

6月～7月

単元名： あん摩、マッサージ、指圧の概要

時間数： 18時間

単元の目標： あん摩、マッサージ、指圧の定義・歴史・特徴・違い・基本手技とその生理的作用について理解し、臨床に応用できる能力を養う。

内容：

1. あん摩の意義と歴史
2. マッサージの意義と歴史
3. 指圧の意義と歴史
4. 基本手技
5. 生体に対する作用
6. 古法あん摩・腹診

評価：

9月

単元名： 鍼、灸、あん摩・マッサージ・指圧の臨床応用

時間数： 12時間

単元目標： 治療的作用・刺激量・過誤と副作用・適応症、不適応症、禁忌症について十分学習し、また、実際の治療院などでも学習し、安全で効果的な施術が出来る能力を養う。

内容：

1. 刺激量
2. 治療的作用
3. 適応症、不適応症、禁忌症及び禁忌部位
4. 消毒・滅菌

5. 諸注意

評価：

10月

単元名：鍼、灸、あん摩・マッサージ・指圧の治効理論（作用機序）

時間数：12時間

単元目標：刺激の種類・受容器・感覚神経の伝動経路などの作用機序のメカニズムを理解する。

内容：

1. 感覚の受容器
2. 各感覚の伝導経路
3. 関連痛
4. 自律神経系の関与する反射
5. 鍼鎮痛効果の作用機序

評価：

11月

単元名：鍼、灸、あん摩・マッサージ・指圧の関連学説

時間数：12時間

単元目標：鍼、灸、あん摩・マッサージ・指圧の作用に関連のある学説について学習し、そのメカニズムを理解する。

内容：

1. 恒常性保持機能（緊急反応）
2. サイバネティックス（フィードバック）
3. ストレス学説（交絡抵抗・交絡感作）
4. レイリー現象（血管運動性障害）
5. 人工冬眠療法
6. 圧自律神経反射の学説
7. 大脳皮質内臓器官系の学説（条件反射）
8. 負傷電流
9. エアポケット現象
10. ゲートコントロールの学説

評価：

12月

単元名：鍼灸の組織に及ぼす影響

時間数：6時間

単元目標：研究論文等から、鍼灸の筋、神経、体液等に及ぼす影響を学習し、効果的な理療施術が出来る能力を養う。

内容：

1. 組織に及ぼす影響
2. 体液に及ぼす影響
3. 運動神経・感覚神経・筋に及ぼす影響
4. 自律神経に及ぼす影響

評価：

1月～3月

単元：練習問題

時間数：24時間

単元目標：あん摩・マッサージ・指圧・鍼・灸の国家試験の練習問題を通して、重要な事柄について理解を深める。

評価：

2025（令和7）年度 年間指導計画

学部学年： 高等部専攻科理療科 3 年
科 目： 臨床理療学（理療臨床論 1）
単 位 数： 3単位
総 時 数： 105 時間
担 当 者：

【科目の目標】

- ①現代医学と東洋医学に関する技術を身に付け、効果的な理療施術を適切に行うことができるようにする。
- ②理療施術の適応の判断や治療の有効性と関連付けながら合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- ③地域や社会を支えるあはき師を目指して自ら学び、適切な施術に主体的に取り組む態度を養う。

【評価の観点】

- ①学習した内容を理解できたか。
- ②記憶すべき知識を定着させたか。
- ③学んだ知識を適切に使えるか。
- ④国家試験合格に向けた学習の手がかりをつかむことができたか。

学 期： 1 学期
月 ： 4～7 月
時 間 数： 39時間

単 元 名： 運動器系の主な症状

時 間 数： 39時間

単元目標： 各疾患の病態・診察・治療法・リスク管理等を理解する。

学習内容： ① 肩こり
② 頸肩腕痛
③ 上肢痛
④ 肩関節痛
⑤ 肘関節痛
⑥ 手関節及び手指痛
⑦ 腰痛・腰下肢痛
⑧ 下肢痛
⑨ 股関節痛
⑩ 膝関節痛
⑪ 足部痛

学 期： 2 学期
月 ： 9～12 月
時 間 数： 42時間

単 元 名： 運動器系の主な症状

時 間 数： 39時間

単元目標： 各疾患の病態・診察・治療法・リスク管理等を理解する。

⑫ 筋痛
⑬ 腱痛

評 価：

単 元 名： 精神・神経系の主な症状

時 間 数： 16時間

単元目標： 各疾患の病態・診察・治療法・リスク管理等を理解する。

学習内容： ① 錐体外路症状とパーキンソン病
② 四肢の運動麻痺
③ 顔面麻痺
④ 神経痛
⑤ 頭痛
⑥ 顔面痛
⑦ 不眠症

- ⑧ 不定愁訴
- ⑨ 冷え・のぼせ

評 価:

単 元 名: スポーツ領域の理療施術

時 間 数: 20時間

単元目標: 各疾患の病態・診察・治療・リスク管理等を理解する。

学習内容: ① スポーツ傷害の概要
② 肩のスポーツ障害
③ 肘関節のスポーツ障害
④ 腰部のスポーツ傷害
⑤ 膝周囲や大腿部のスポーツ傷害
⑥ 下腿及び足部のスポーツ傷害
⑦ 運動性無月経

評 価:

学 期: 3 学期

月 : 1～3 月

時 間 数: 48時間

単 元 名: 理療臨床論の総まとめ

時 間 数: 48時間

単元目標: あん摩マッサージ指圧師・鍼師・灸師国家試験の出題傾向をつかむ。

学習内容: ① 過去の国家試験より、症候別・内容別に問題を分け理解する。

評 価:

2025（令和7）年度 年間指導計画

学部学年： 高等部専攻科理療科 3 年
科 目： 臨床理療学（理療臨床論 2）
単 位 数： 3単位
総 時 数： 105時間
担 当 者：

【科目の目標】

- ①現代医学と東洋医学に関する技術を身に付け、効果的な理療施術を適切に行うことができるようにする。
- ②理療施術の適応の判断や治療の有効性と関連付けながら合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- ③地域や社会を支えるあはき師を目指して自ら学び、適切な施術に主体的に取り組む態度を養う。

【評価の観点】

- ①学習した内容を理解できたか。
- ②記憶すべき知識を定着させたか。
- ③学んだ知識を適切に使えるか。
- ④国家試験合格に向けた学習の手がかりをつかむことができたか。

学期： 1 学期
月： 4 ～ 7 月
時間数： 39時間

単元名： 総論

時数： 20時間

単元目標： 理療臨床論が東洋医学と現代医学を関連づけた科目であることを理解する。

学習内容： ① 理療施術の適応と限界
② 施術の記録、リスク管理
③ 評価法
④ 東洋医学理論にに基づく診断・施術

評価：

単元名： 消化器系の主な症状

時数： 19時間

単元目標： 各疾患の病態・診察・治療法・リスク管理等を理解する。

学習内容： ① 食欲不振
② 悪心・嘔吐
③ 腹痛
④ 便秘と下痢
⑤ 痔疾と下血

評価：

学期： 2 学期

月： 9 ～ 1 2 月

時間数： 42時間

単元名： 呼吸器・循環器系の主な症状

時数： 14時間

単元目標： 各疾患の病態・診察・治療法・リスク管理等を理解する。

学習内容： ① 咳と痰
② 呼吸困難（息切れ）
③ 動悸
④ 胸痛
⑤ 高血圧
⑥ 低血圧
⑦ 動脈硬化

評価：

単元名： 耳鼻科・眼科・歯科系の主な症状

時数： 8 時間

単元目標： 各疾患の病態・診察・治療法・リスク管理等を理解する。

学習内容： ① 鼻閉・鼻漏
② めまい
③ 耳鳴と難聴
④ 眼精疲労
⑤ 歯痛
⑥ 顎関節痛

評価：

単元名： 泌尿・生殖器系の主な症状

時数： 8 時間

単元目標： 各疾患の病態・診察・治療法・リスク管理等を理解する。

学習内容： ① 排尿障害
② 勃起障害
③ 月経異常
④ 更年期障害
⑤ 婦人科疾患のその他の症状

評価：

単元名： 皮膚科系の主な症状

時数： 4 時間

単元目標： 各疾患の病態・診察・治療法・リスク管理等を理解する。

学習内容： ① 脱毛症
② かゆみと発疹

評価：

単元名： 全身症状と膠原病・代謝疾患

時数： 8 時間

単元目標： 各疾患の病態・診察・治療法・リスク管理等を理解する。

学習内容： ① 発熱
② 全身疲労と倦怠
③ 肥満
④ 膠原病
⑤ 代謝疾患

評価：

単元名： 小児・高齢者に対する理療施術

時数： 6 時間

単元目標： 各疾患の病態・診察・治療法・リスク管理等を理解する。

学習内容： ① 小児の症状
② 高齢者の特徴
③ 高齢者にみられる主な症状

評価：

学期： 3 学期

月： 1 ～ 3 月

時間数： 24 時間

単元名： 理療臨床論の総まとめ

時数： 24 時間

単元目標： あん摩マッサージ指圧師・鍼師・灸師国家試験の出題傾向をつかむ。

学習内容： ① 過去の国家試験より、症候別・内容別に問題を分け理解する。

評価：

2025(令和7)年度 年間指導計画

学部学年： 高等部専攻科理療科 3 年

科 目： 理療臨床学（臨床概論）

単 位 数： 3単位

総 時 数： 105単位

担 当 者：

【科目の目標】

この科目では患者との対応から実技まで、臨床実習に関わる様々な学習を交えて進める。学習教材は「理療臨床論」および「理療臨床のための心理学」を用いる。

①臨床基礎実習について必要な知識を理解するとともに、関連する基礎的な技術を身に付けるようにする。

②学習を通して発見した課題に対しあはき師として合理的かつ創造的に解決する力を養うようにする。

③臨床実習を通し地域や社会を支えるあはき師を目指して自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

④実態に応じて、模擬試験等を通し国家試験主要科目の習熟度を把握しながら適宜国家試験対策授業を行う。

【評価の観点】

①学習した内容の理解

②知識の定着

③知識の適切な使用

④知識の応用

学 期： 1 学期（4 月～7 月）

時間数： 39時間

【臨概1】

時間数： 26時間

単元名： 臨床の基礎と臨床実習に向けての事前指導

単元目標：

1. あん摩・マッサージ・指圧師、はり師・きゅう師として必要な基本的な清潔保持、態度を身につける。

2. あん摩・マッサージ・指圧師、はり師・きゅう師として、適切な対応について知識と技術を身につける。

学習内容：

1. 衛生面について手指の消毒や身だしなみ等について熟知する。

2. 臨床実習の事前指導として、あん摩・マッサージ・指圧師、はり師・きゅう師としての心得、適切な対応について学習する。

評価：

【臨概2】

時間数： 13時間

単元名： 臨床の基礎と臨床実習に向けての事前指導

学習内容：

1. 心理学を学ぶに当たって

2. 精神分析

3. 交流分析

4. 精神分析と交流分析の臨床応用

5. 適応と適応障害

6. 神経症

7. 心身症

8. 不定愁訴群

評価：

学 期： 2 学期（9 月～12 月）

時間数： 42時間

【臨概1】

時間数：28時間

【臨概2】

時間数：14時間

単元名：臨床の基礎と校外臨床実習

単元目標：

1. 校外臨床実習に向けて、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の就業形態について学習すると共に適切な施術や対応について知識と技術を身に着ける。 い
2. 社会におけるあん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師としての役割を理解し、適切な技術と知識を身につける。 切

学習内容：

1. 校外臨床実習の事前指導として、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の役割について理解を深め、適切な施術が行えるようにする。 に
2. あん摩マッサージ指圧師に関する技術と知識の再確認をし、各症候に対する対処法について学習し、必用に応じて指導する。 つ

評価

学 期：3 学期（1 月～3 月）

時間数：24時間

【臨概1】

時間数：16時間

【臨概2】

時間数：8時間

単元名：あん摩・マッサージ・指圧師、はり師・きゅう師国家試験対策

単元目標：あん摩・マッサージ・指圧師、はり師・きゅう師の国家試験に向けて重要な事柄について理解を深める。

学習内容：模擬試験・国試過去問題・練習問題等を用いて解答・解説する。

2025(令和7)年度 年間指導計画

学部学年： 高等部専攻科理療科 3年
科 目： 地域理療と理療経営（地域理療と理療経営）
単 位 数： 2単位
総 時 数： 70時間
担 当 者：

【科目の目標】

- ①超高齢化を伴いながら人口減少が進む日本社会の課題と社会保障制度の動向について理解を深める。
- ②地域における多職種との連携・協働やチーム医療の大切さを学ぶとともに、地域包括ケアシステムにおける理療業務の意義と役割を自覚する。
- ③施術所の現代的経営の在り方を考える能力を養う。
- ④実態に応じて、模擬試験等を通し国家試験主要科目の習熟度を把握しながら適宜国家試験対策授業を行う。

【評価の観点】

- ①学習した内容を理解できたか。
- ②記憶すべき知識を定着できたか。
- ③学んだ知識を適切に使えるか。
- ④習得した知識を応用させられるか。

【1学期】

月： 4月

単 元 名：地域社会と理療

時 数： 6時間

単元目標： 1. 地域の中での理療（あはき）の役割について考察する。

2. 地域保健・医療について理解する。

3. プライマリケアの思想や代替医療について理解する。

学習内容： 1. 今の社会生活におけるあはき師に対するニーズをディスカッションする。

2. 社会保障としての地域保健・医療について、その考え方と現状を捕らえ、その課題について把握する。

3. 理療の果たす役割について考える。

4. 西洋医学ありきの地域保健・医療体制から、理療、伝承医学等の代替医療も含める体制に移行していることを理解する。

評 価：

月： 5月

単 元 名：少子高齢化社会の現状と課題

単元目標： 1. 少子化・高齢化とはどのようなものか特徴や要因について理解する。

2. 少子高齢社会と介護問題について理解する。

時 数： 6時間

学習内容： 1. 統計資料などをもとにわが国の人口推移を把握し現状の課題点について考える。

2. 少子高齢社会と介護について学習し、その現状と問題点について考える。

評 価：

月： 6月～7月

単 元 名：社会保健制度の体系

単元目標： 1. 社会保障制度の成立と発展について学習する。

2. 医療保険制度について理解し学習する。

時 数： 14時間

学習内容： 1. 医療保険の種類とその区分について学習し理解する。

2. あはき受領委任制度について資料や必要様式等を用いて学習する。

評 価：

【2学期】

月： 9月

単 元 名：日本の社会保障

単元目標： 高齢社会の状況と現代社会の動向、日本の社会保険制度を理解する。

時 数： 8時間

学習内容： 1. 日本における高齢化社会

2. 変化する日本の医療制度
3. 日本における人々の健康観、疾病観について、今求められていることを様々な情報から捕らえる
4. 日本の社会保障、社会保険制度の種類・仕組み

評価:

月 : 10月

単元名: 社会保険制度

単元目標: 医療保険と介護保険制度の仕組みを理解する。

時数: 10時間

学習内容: 1. 医療保険等の仕組みを熟知し、あはき施術と医療保険の関係について具体的なケースを考える。
2. 介護保険制度の仕組みについて、ケアマネジメント・ケアプラン・ケアマネージャー・居宅介護支援事業所・介護支援サービスを中心に整理する。

評価:

月 : 10月～11月

単元名: 介護保険制度と理療

単元目標: 1. 日本の医療制度の現状と課題を理解する。
2. 介護保険制度下でのあはき師の役割と今後の発展について考える力を身につける。

時数: 6時間

学習内容: 1. 医療費増大等の問題点について考える。
2. 介護保険制度の中でのあはきの適応、機能訓練指導員としての役割等についてまとめる。

評価:

月 : 12月

単元名: あはき師の業務

単元目標: あはき師の職場や施術所開設について理解する。

時数: 6時間

学習内容: 1. あはき師の業務や行動範囲、就職場所等について、自らの進路も踏まえた上で考察する。
2. 地域での治療院開業を想定し、個々が考える理想と課題について論議し理解する。

評価:

【3学期】

月 : 1月

単元名: 理療経営の基礎

単元目標: 経営の一般的事項を理解する。

時数: 8時間

学習内容: 1. 経営の一般
2. 運営資金
3. 接客サービス
4. 広告
5. 他との連携の必要性等について理解する。
6. 借り入れ金・機械器具の貸与
7. 障害者雇用に関する各種助成金

学習内容: 1.

評価:

月 : 2月

単元名: 施術所経営の実際

単元目標: 理療経営の現状の分析・考察を行い、施術所開業の経営を計画できる力を身につける。

時数: 8時間

学習内容: 1. 将来の施術所開設に関して設置場所や規模、業務内容、インテリア、各種の補助資金等について整理する。
2. 将来の施術所開業を構想し、計画書を作成する。

評価:

2025(令和7)年度 年間指導計画

学部学年： 高等部専攻科理療科3年

科目： 課題研究（課題研究）

単位数： 2単位

総時数： 70時間

担当者：

【科目の目標】

①臨床実習における症例研究、国家試験対策授業を通して、理療についての専門的な知識、技術などを深化・総合化する。

②理療に関する課題を発見し、はり師、きゅう師、あん摩マッサージ指圧師として解決策を探求し、科学的根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。

③カンファレンス、研究発表会を通して、課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、適切かつ合理的な施術に主体的かつ協同的に取り組む態度を養う。

【評価の観点】

①理療についての専門的で深い知識・技術が総合的に身についている。

②課題に対し科学的根拠に基づいて解決できる。

③自ら新しい知識を取り入れる態度が身についている。

④チームで協同的に課題を解決する態度が身についている。

学 期： 1

月： 4～7

時 間 数： 26

単 元 名： 症例研究

単元目標： カンファレンス等を通して協同的に科学的根拠に基づいた治療を組み立てることができる。

学習内容：

1. POSに基づく臨床実習
2. POMR、SOAPを用いたカルテの記録法
3. 疾患、治療法等について調べ学習
4. カンファレンス
5. 症例報告書の作成準備

評 価：

学 期： 2

月： 9～12

時 間 数： 28

単 元 名： 症例報告会の計画と実施

時 数： 16

単元目標： 症例研究の内容をまとめ、症例報告会で発表し、討議・意見交換ができる。

学習内容：

1. 症例報告書の作成
2. 症例報告会に向けた討議・意見交換
3. 症例報告会の計画・実施
4. 症例報告会の振り返り

評 価：

単 元 名： 国家試験対策

時 数： 12

単元目標： あん摩マッサージ指圧師の国家資格取得に向け、練習問題を用いて必須となる知識の定着度を確認する中で、自らの課題を発見し主体的に解決できる力を養う。

学習内容

1. 国家試験の出題基準、傾向、重要事項確認
2. 国家試験過去問により課題発見
3. 復習

評 価：

学 期 : 3
月 : 1 ~ 3
時 間 数 : 16

単 元 名 : 国家試験対策

時 数 : 16

単元目標 : あん摩マッサージ指圧師の国家資格取得に向け、練習問題を用いて必須となる知識の定着度を確認する中で、自らの課題を発見し主体的に解決できる力を養う。

学習内容

1. 国家試験の出題基準、傾向、重要事項確認
2. 国家試験過去問により課題発見
3. 復習

評 価 :

2025（令和7）年度 年間指導計画

学部学年： 高等部専攻科理療科3年
科 目： 理療臨床実習（理療臨床実習）
単 位 数： 12単位
総 時 数： 420時間
担 当 者：

【科目の目標】

- ①臨床に必要な知識・技術を身につける。
- ②臨床上の課題を発見し、職業倫理を踏まえて合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- ③臨床実習を通して、地域や社会を支えるあん摩マッサージ指圧師を目指して自ら学び、適切かつ合理的な施術に主体的かつ協同的に取り組む態度を養う。

【評価の観点】

- ①衛生
- ②安全
- ③接遇
- ④報告
- ⑤病体把握
- ⑥知識・技術
- ⑦記録（カルテ）

【備考】

臨床実習当日は、上記担当教員のうち1名で指導に当たる。

学 期： 1学期

月 ： 4月～7月

時 間 数： 156時間

単 元 名： 臨床実習の実際

単元目標： ①臨床上の基本的な知識・技術を実践する。
②臨床上の課題を発見し、基本的な知識・技術を活用し、合理的に解決する力を養う。

③臨床実習に主体的かつ協同的に取り組む。

学習内容： ①治療室の衛生管理の実際
②治療器具の管理の実際
③カルテを活用した継続的治療の実際
④患者情報の共有の実際
⑤患者への接遇の実際
⑥基本的な病体把握、治療方針の組み立て
⑦教員の指導の下施術補助
⑧カルテ記入
⑨教員および生徒同士振り返り
⑩校外臨床実習

評 価：

学 期： 2学期

月 ： 9月～12月

単 元 名： 臨床実習の実際

時 間 数： 168時間

単元目標： ①臨床上の応用的な知識・技術を実践する。
②臨床上の課題を発見し、応用的な知識・技術を活用し、合理的かつ創造的に解決する力を養う。

③地域や社会を支えるあん摩マッサージ指圧師を目指して自ら学び続ける態度を養う。

学習内容： ①治療室の衛生管理の実際
②治療器具の管理の実際
③カルテを活用した継続的治療の実際
④患者情報の共有の実際
⑤患者への接遇の実際
⑥具体的な病体把握、応用的な治療方針の組み立て
⑦教員の指導の下施術補助
⑧カルテ記入

- ⑨教員および生徒同士振り返り
- ⑩治療方法の自己学習
- ⑪校外臨床実習

評 価:

学 期: 3学期

月 : 1月～3月

時 間 数: 96時間

単 元 名: 国家試験対策

単元目標: 国家試験に合格する知識を身につける。

学習内容: 国家試験過去問による傾向と対策

評 価: